

2022年度

事業実績報告書

<法人本部>

<障がい者施設>

【北広島リハビリセンター】

北広島リハビリセンター療護部

北広島リハビリセンター診療部

のびのびファイン

【地域サポートセンターみなみ】

障がい福祉サービス事業所みなみ

障がい児通所支援事業所みなみ

障がい者生活支援センターみらい

<高齢者施設>

【北広島地域サポートセンター四恩園】

北広島リハビリセンター特養部四恩園

北広島ショートステイ四恩園

北広島デイサービスセンター四恩園

デイホームさとみ

デイホームかたる

北広島団地地域交流ホームふれて

北広島市みなみ高齢者支援センター

【北広島団地地域サポートセンターともに】

北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園

北広島居宅介護支援事業所四恩園

北広島訪問看護ステーション四恩園

北広島グループホーム四恩園

北広島複合型サービス四恩園

サービス付き高齢者向け住宅しおん

目 次

基本理念	… 1	【高齢者施設関係】	
2022年度主要課題について	… 2	1. 運営管理 (1)職員の状況	… 66
法人役員等名簿 (2023年3月31日現在)	… 4	(2)職員研修状況	… 70
理事会・評議員会・監事会開催状況	… 5	2. 高齢者施設事業実施状況	… 73
経営委員会 (経営会議) 開催状況	… 10	1. 特別養護老人ホーム四恩園	… 73
運営委員会 (幹部会議) 開催状況	… 14	1) 施設サービス利用者状況	… 73
サービス検討委員会 (障がい者施設) 開催状況	… 16	2) 施設サービス行事等実施状況	… 75
サービス検討委員会 (高齢者施設) 開催状況	… 17	3) ボランティア受入状況	… 76
2022年度資金収支決算報告書	… 18	4) 家族ボランティア報告	… 76
【障がい者施設関係】		2. グループホーム四恩園	… 76
1. 運営管理 (1) 職員の状況	… 22	1) サービス利用者状況	… 76
(2) 職員研修実施状況	… 30	2) 行事実績一覧	… 78
(3) ボランティア受入状況	… 32	3. サービス付き高齢者向け住宅しおん	… 78
(4) 面会者状況	… 32	1) 利用者状況	… 78
(5) 施設見学等受入状況	… 32	2) 行事実施状況	… 79
(6) 実習生 (研修生) 受入状況	… 32	3. 高齢者施設月別利用者、稼働率状況	… 80
(7) 2022年度施設行事等実施状況	… 33	1) 北広島リハビリセンター特養部四恩園利用実績	… 80
2-1. 利用者支援状況 (療護部)	… 34	2) 北広島デイサービスセンター四恩園利用者実績	… 81
2-2. 利用者支援状況 (短期入所)	… 39	3) デイホームさとみ利用者実績	… 82
2-3. 食事量形態状況	… 40	4) デイホームかたる利用者実績	… 83
2-4. 院外受診状況表	… 41	5) 北広島グループホーム四恩園利用者実績	… 84
3. 診療状況	… 42	6) 北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園利用者実績	… 85
外来患者月別実績表	… 42	7) 北広島訪問看護ステーション四恩園利用者実績	… 86
理学療法 (消炎鎮痛) 実施状況	… 42	8) 北広島複合型サービス四恩園利用者実績	… 87
言語療法実施状況	… 42	9) サービス付き高齢者向け住宅しおん利用者実績	… 88
4. のびのびファイン	… 43	10) 北広島市みなみ高齢者支援センター利用者実績	… 89
(1) 事業紹介	… 43	11) 北広島居宅介護支援事業所四恩園利用者実績	… 90
(2) 活動内容	… 43	地域交流事業	… 91
(3) 事業実績	… 43	* 地域交流ホームふれて	… 91
(4) 活動の様子	… 45	・来場者数	… 91
5-1. 利用者支援状況 (障がい福祉サービス)	… 46	・イベント実績	… 93
5-2. 利用者支援状況 (障がい児通所支援)	… 50	* 地域サポートセンターともに	… 95
6. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況	… 52	・地域交流スペース利用状況	… 95
7-1. リスクマネジメント報告	55	・イベント報告	… 96
7-2. リスクマネジメント報告 (福祉サービス・障がい児通所)	56	4. 高齢者施設 事業方針・計画・各委員会事業評価	… 98
8. 障がい者施設 事業方針・計画・各委員会事業評価	57	5. 高齢者施設リスクマネジメント結果	… 112

基 本 理 念

施設の信条	< 信 頼 >	< 恕(思いやり) >	< 和 >
-------	---------	-------------	-------

社会福祉法人北海長正会は、「ノーマライゼーションの理念」と「自立支援」を基調とし、施設サービス及び在宅サービスの機能を有効に活用し、お客様本位のサービスの提供により要援護者の「基本的人権」「人間としての尊厳」「自己実現」が保たれ、サービス機能の向上を図り、地域の福祉サービスの拠点として一人一人が生きがいを持ち、心豊かな安心した生活が送れるよう、「生活の質」の充実に努めることを基本理念とします。

基本理念を形骸化させないため、職員は施設の信条と共に次の6項目を実践します。

1. [お客様に喜んでもらえるように]

私たちは、お客様本位のサービス提供を実践し「かかりつけ施設」としての信頼を高め、お客様に喜んでもらえるよう誠心誠意努めます。

1. [お客様の役に立てるように]

私たちは、福祉倫理・知識・技術の修得を怠ること無く、自己啓発に励み、お客様の役に立てるようその向上に努めます。

1. [地域に求められる資源として]

私たちは、サービスが地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるサービスを提供できるようその実践に努めます。

1. [力が出る「ほうれんそう」]

私たちは、お客様の役に立つために、一人一人の力を全体の力とするため報告・連絡・相談を徹底しチームワークの結束に努めます。

1. [地域の資源の活用とつながり]

私たちは、お客様のニーズ充足のために関係機関・職種との連携に努め、地域の資源を活用し必要なサービスの提供に努めます。

1. [信頼は接し方から]

私たちは、「同じ目線の高さ」「さわやかなあいさつと笑み」「声がけ」「聞き手に回る」お客様との日々の接し方が信頼を生むことを知り、その実践に努めます。

2022 年度主要課題について

1. 法人を取り巻く情勢と課題

(1) 各制度の事業計画と第3期アクションプラン

当法人の第3期のアクションプランは国の事業計画年数に合わせるため、今期のみ2022年4月～2023年3月までの2ヶ年とした。内容としては、国が示した各制度事業計画（介護保険施策・障害者福祉施策）や北広島市の各計画に沿い社会情勢や地域の実情を踏まえた計画である。法人としては、①法人事業の経営基盤の安定化、②事業継続のための人材確保と育成、③将来を見据えた施設大規模改修の策定を事業計画の主とした。

ここ数年の経済不況（ウクライナ情勢、物価上昇等）やコロナによる影響はあるが、各制度や社会の動向を見極めながら、法人並びに各事業所が掲げた第3期のアクションプランに沿って事業を進めていかなければならない。

(2) コロナ禍を乗り越えて

2022年8月30日、北広島リハビリセンター療護部でクラスター（集団感染）が発生した。感染者はお客様・職員合わせて23名に及んだ。ゾーニング、感染者・濃厚接触者への適切な感染拡大防止策から幸いにも重篤となる方もなく短期間（14日間）で終息した。10月以降も北広島グループホーム四恩園、北広島複合型サービス四恩園の入居系事業所において感染が発生した。通所系事業所においても相次ぎお客様・職員がコロナウイルスに感染し、感染対策に追われた1年であった。コロナウイルスを高リスク要素として捉え、コロナ情報の共有と発信、感染対策マニュアルに基づく感染拡大防止行動の徹底、ワクチン接種、事業所間の応援体制など法人全体で対応してきた。2023年5月から防止対策は個人や事業所の判断が基本となるがコロナウイルス自体は消滅していない。引き続き油断せず対応していく。

(3) 法人の力が試される感染症や自然災害の対応

災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための事業継続計画（BCP）を2023年度中までに作成することが義務付けられた。コロナ感染を例にとると、感染拡大を最小限に食い止め、当法人サービスを利用されるお客様に最低限のサービス提供を維持していくなど、あらかじめ検討した方策をまとめておくというものである。クラスター感染においても事業継続のための職員確保や衛生関連物資の調達が課題となった。災害については、特に冬季間における停電や雪害を想定し、燃料や食糧などを確保しておかなくてはならない。法人並びに法人委員会組織である感染対策衛生委員会・防災対策委員会が中心となって平時から感染・災害に備え、発生時の対応について検討していく。

2. 法人事業の課題

(1) 財政基盤の安定化に向けて

法人全体として大変厳しい財政状況となった。大きな要因としては、障がい者施設北広島リハビリセンター療護部において目標としていた入所定員数を満たすことが出来なかったこと。加えて、請求システム上の過誤が財務状況に大きく影響した。また、コロナによって障がい者、高齢者施設ともに通所系事業において事業の休止、お客様の利用控えにより収入が減少したことがあげられる。支出においては、暖房、電気等の水道光熱費や食品や物品などの購入費が大きく増加した。

昨今の社会情勢から支出を大幅に抑えることは難しい。ここ数年の課題である人材不足を解消するための決定打も簡単には見つからないだろう。各事業所において新年度に掲げた事業計画、当初予算に沿って、職員が一丸となって取り組んでもらいたい。

（２）障がい者施設の組織体制の見直し

障がい者施設北広島リハビリセンターは組織体制を見直し、事業に基づく新たな体制を敷いた。施設サービス（入所支援）及び在宅サービス（通所支援）の機能をより明確にし、「チームケア」という視点にたってお客様本位のサービス提供をしていくためである。

組織体制と建物の構造において一致しないところはあるが、お客様の声を聴き、そして願を叶えるための支援をチームで考えることが「お客様本位のサービス」に繋がるはずである。施設サービス及び在宅サービスが互いに連携することで組織はより強固なものとなる。

（３）良質なサービス提供に努める

当法人では、５ヶ所のサービス拠点（障がい者・児サービス～２拠点、高齢者サービス～３拠点）で１６事業（障がい者・児サービス～６事業、高齢者サービス～１０事業）のサービスを展開している。法人職員は３７１名（２０２３．３末）である。法人が提供する各サービスが、そしてそこに勤める職員の姿勢が一貫したものとしてあることで、お客様、ご家族、地域住民の皆様にご指示していただけるものである。人材の確保が喫緊の課題ではあるが、法人役職員が力を合わせ、地域の方々が安心して暮らすことが出来る地域づくりに貢献できるよう法人の基本理念、倫理綱領に基づく良質なサービスの提供に努めるものである。

３．２０２２年度決算状況概要

２０２２年度決算における収益状況は当法人の主力財源となる介護保険事業収益が前年度から約３．２％の増加となる一方、障害福祉サービス等事業収益が約４．７％減少したことにより法人全体でのサービス活動収益は対前年度比で約１．３％増加した実績となっている。

この２０２２年度のサービス活動収益には介護職員処遇改善支援や新型コロナウイルス感染症に伴う補助金その他の事業収益として前年度より２１，３７８千円増収したものが含まれており、実質的な事業運営だけの収益比較ではほぼ横ばいの状態で推移している。

当該年度における収益面での特徴としては、入所施設等でのクラスターの発生とそれに伴う同一拠点内での通所系事業の休止や利用控えなどが挙げられる。特に障がい者施設及び高齢者施設で行う通所介護事業では収益の低下が顕著に現れた年度であるといえる。一方で対応するサービス活動費用は前年度から約０．５％、約８，０００千円の増加で推移している。特徴的な所見としては事業費が約４．１％、事務費が約４．６％と大きく増加した結果となっている。今般の混迷するエネルギー情勢により、水道光熱費・燃料費が増加したことが主な要因として挙げられる。また障がい福祉サービス事業において、給付費の請求システム上での誤りから前年度分の過誤請求額を返還する処理が発生し、その返還額を雑損失として１６，３７５千円計上しており、その資金を積立資産の取崩から捻出している。積立資産の取崩に関しては当年度分の給付費返還額として１３，２００千円、経費に係る補填として１２，０００千円、複合型サービスの増室工事分として５，０００千円、総額４６，５００千円並びに職員の退職に係る取崩分１８，２２３千円を計上している。本年度決算として資金収支計算上の当期資金収支差額は１９，２４０千円となり、事業活動計算上の当期活動増減差額は△８，００６千円を計上したことで前期より純資産を３２，８３８千円減少させた。

次年度の財政面においては特に事業収益の低下による人件費率の上昇には注視する必要がある。またこれまで３年間のコロナ禍の中で培ってきた対策を駆使して全体的な稼働率を引き上げ、生産性の向上を目指すと共に抜本的な経費の見直しによる効率的な運用を図りながら、将来を見据えた設備投資や改修等の資金が確保できるよう取り組むことにしたい。

法人役員等名簿

【理事・監事】 < 理事:7名、監事:2名 >

2023年3月31日現在

	役職名	氏名	初就任年月日	今期(第24期)任期	備考
1	理事長	三瓶 徹	2000.10.18	2021.6.24～※	代表権有 2018.8.30理事長就任
2	常務理事	中川 浩一	2016.10.18	2021.6.24～※	
3	理事	中村 琢哉	2010.10.18	2021.6.24～※	
4	理事	石黒 絵里	2010.10.18	2021.6.24～※	
5	理事	對馬 伸泰	2016.10.18	2021.6.24～※	
6	理事	神部 健史	2016.10.18	2021.6.24～※	
7	理事	長澤 邦彦	2019. 6.20	2021.6.24～※	
1	監事	高 畠 徹	2017. 4. 1	2021.6.24～※	
2	監事	前田 泰則	2016.10.18	2021.6.24～※	

※選任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員】 < 評議員: 8名 >

2023年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第10期)任期	備考
1	安宅 鋭治	2010. 4. 1	2021. 6. 24～※	
2	姉崎 重延	2010.10.18	2021. 6. 24～※	
3	小江 久恵	2008. 4. 1	2021. 6. 24～※	
4	河井 芳樹	2017. 4. 1	2021. 6. 24～※	
5	酒井 喜代司	2008. 4. 1	2021. 6. 24～※	
6	富田 政義	2002. 4. 1	2021. 6. 24～※	
7	野村 幸宏	2017. 4. 1	2021. 6. 24～※	
8	吉田 俊文	2010. 4. 1	2021. 6. 24～※	

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【評議員選任解任委員】 < 委員 5名 >

2023年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第2期)任期	備考
1	高 畠 徹	2017. 4. 1	2021.6.24～ ※	法人 監事
2	前田 泰則	2017. 1.12	2021.6.24～ ※	法人 監事
3	市川 茂春	2017. 1.12	2021.6.24～ ※	外部 委員
4	三木 千晶	2017. 1.12	2021.6.24～ ※	外部 委員
5	齊藤 久男	2017. 1.12	2021.6.24～ ※	法人本部事務局

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

【苦情解決第三者委員】 < 障がい者施設:2名、高齢者施設:2名 >

2023年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第12期)任期	備考
1	桂 靖恵	2010. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	障がい者施設担当
2	福原 淑子	2020. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	障がい者施設担当
1	島谷 清張	2018. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	高齢者施設担当
2	藤野 紀代子	2018. 4. 1	2022. 4. 1～2024. 3.31	高齢者施設担当

2022年度 理事会・評議員会・監事会開催状況

<理事会開催状況>

【第201回理事会】

年月日 2022年6月7日(火) 15:30 ~ 17:00

場 所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員6名同席

欠席者 なし

内 容 <決議事項>

1. 2021年度事業実績報告の審議について
2. 2021年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
3. 2021年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
4. 2022年度第67回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 介護職員処遇改善加算等の申請について
4. 北広島市医療的ケア児・者受入促進事業に係る補助金の申請結果について
5. 障がい者支援システムソフトウェアのライセンス更新について
6. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について

【臨時理事会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2022年8月5日付(全理事同意承認年月日・全監事確認年月日)

同意者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事

確認者 高島監事 前田監事

提案者 三瓶理事長

記 録 中川常務理事

内 容 <決議事項>

1. 北広島複合型サービス四恩園短期入所居室増室工事について

【第202回理事会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2022年9月6日付(全理事同意承認年月日・全監事確認年月日)

同意者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事

確認者 高島監事 前田監事

提案者 三瓶理事長

記 録 中川常務理事

内 容 <決議事項>

1. 経理規程の一部改正について
2. 育児休業等に関する規則の一部改正について
3. 介護休業等に関する規則の一部改正について
4. 2022年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
5. 2022年度第68回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 介護職員等ベースアップ等支援加算について
3. 生涯現役地域づくり環境整備事業について
4. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について

【第203回理事会】

年月日 2022年12月6日(火) 15:30 ~ 16:40

場 所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員6名同席

欠席者 なし

内 容 <報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業(令和3年度第一次補正予算分)の申請結果について
4. 高齢者施設介護業務支援ソフトウェアのライセンス更新について
5. 非正規職員等への一時金の支給について
6. 外国人留学生受入に係る経過報告について
7. デイホームさとみの実地指導結果について
8. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について

【第204回理事会】

年月日 2023年3月14日(火) 15:30 ~ 16:40

場 所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事
高島監事 前田監事 他法人事務局員6名同席

欠席者 なし

内 容 <決議事項>

1. 個人情報管理規程の一部改正について
2. ハラスメント防止に関する苦情対応委員会規程の一部改正について
3. 2022年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
4. 2023年度事業計画案の審議について
5. 2023年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
6. 2022年度第69回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 北広島リハビリセンター療護部給付費過誤請求について
4. 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業(令和3年度第一次補正予算分)の申請結果(変更)について
5. 臨時特例交付金支給残額の分配について
6. 令和4年度地域密着型サービス事業者等運営指導について
7. 令和4年度介護保険施設等実地指導結果について
8. 外国人留学生受入に係る経過報告について
9. 2023年度長期勤続職員の表彰について

<評議員会開催状況>

【第67回評議員会】

日 時 2022年6月23日(木) 15:00 ～ 16:30
場 所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席
欠席者 小江評議員
内 容 <決議事項>
1. 2021年度事業実績報告の審議について
2. 2021年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
3. 2021年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
<報告事項>
1. 介護職員処遇改善加算等の申請について
2. 北広島市医療的ケア児・者受入促進事業に係る補助金の申請結果について
3. 障がい者支援システムソフトウェアのライセンス更新について
4. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について

【第68回評議員会】

日 時 2022年9月29日(木) 15:00 ～ 16:10
場 所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席
欠席者 河井評議員 吉田評議員
内 容 <決議事項>
1. 2022年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
<報告事項>
1. 経理規程の一部改正について
2. 育児休業等に関する規則の一部改正について
3. 介護休業等に関する規則の一部改正について
4. 北広島複合型サービス四恩園短期入所居室増室工事について
5. 介護職員等ベースアップ等支援加算について
6. 生涯現役地域づくり環境整備事業について
7. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について

【第69回評議員会】

日 時 2023年3月30日(木) 15:00 ～ 16:10
場 所 地域サポートセンターともに 活動室
出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員
野村評議員 吉田評議員
三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席
欠席者 なし
内 容 <決議事項>
1. 2022年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
2. 2023年度事業計画案の審議について
3. 2023年度法人会計各拠点区分収支予算案の審議について
<報告事項>
1. 個人情報管理規程の一部改正について
2. ハラスメント防止に関する苦情対応委員会規程の一部改正について
3. 北広島リハビリセンター療護部給付費過誤請求について
4. 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業(令和3年度第一次補正予算分)の申請結果(変更)について
5. 臨時特例交付金支給残額の分配について
6. 令和4年度地域密着型サービス事業者等運営指導について
7. 令和4年度介護保険施設等実地指導結果について
8. 外国人留学生受入に係る経過報告について
9. 2023年度長期勤続職員の表彰について

<監事会(法人内部監査等)開催状況>

【第195回監事会(法人内部監査)】

日 時 2022年5月30日(月) 14:00 ~ 16:30
日 時 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席
欠席者 なし
内 容 ① 第201回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2022年1月~3月分)
③ 2021年度事業実績状況
④ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑤ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑥ 2021年度決算状況(計算書類・附属明細書・社会福祉充実残額他)
⑦ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑧ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑩ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑪ 契約関係全般
⑫ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第196回監事会(法人内部監査)】

日 時 2022年8月30日(火) 14:00 ~ 16:20
場 所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席
欠席者 なし
内 容 ① 第202回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2022年4月~6月分)
③ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
④ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑤ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑥ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑦ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑧ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑨ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第197回監事会(法人内部監査)】

日 時 2022年11月30日(水) 14:00 ~ 16:20
場 所 北広島リハビリセンター 会議室
出席者 高島監事 前田監事
立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席
欠席者 若狭施設長(法人事務局員)
内 容 ① 第203回理事会の議案内容確認
② 理事・評議員の職務執行状況(2022年7月~9月分)
③ 運営施設における実地指導の状況
④ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
⑤ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
⑥ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
⑦ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
⑧ 各種証憑書類等の精査及び照合他
⑨ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
⑩ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

【第198回監事会(法人内部監査)】

日 時 2023年3月8日(水) 14:00 ～ 16:30

場 所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 高島監事 前田監事

立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員6名同席

欠席者 なし

- 内 容
- ① 第204回理事会の議案内容確認
 - ② 理事・評議員の職務執行状況(2022年10月～12月分)
 - ③ 2022年度予算補正及び決算見込状況の確認
 - ④ 2023年度事業計画案及び当初予算案の確認
 - ⑤ 運営施設における実地指導の状況
 - ⑥ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
 - ⑦ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
 - ⑧ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
 - ⑨ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
 - ⑩ 各種証憑書類等の精査及び照合他
 - ⑪ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
 - ⑫ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

経営委員会（経営会議）開催状況 2022年度実績

日 時 等	内 容
2022年4月27日（水） 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 幹部会の開催方法について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 2022年度処遇改善加算の支給計画について <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. 職員代表の選任について 3. 介護福祉士資格取得支援制度利用希望職員について 4. 人事について 5. 在籍状況について 6. 3月の実績状況について 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 8. 各サービス事業の動向と課題
2022年5月25日（水） 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 賞与の支給について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 新型コロナウイルスワクチン接種について 6. 2021年度処遇改善加算及び特別処遇改善加算の支給について（実績報告） <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. 人事について 3. 在籍状況について 4. 4月の実績状況について 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 6. 各サービス事業の動向と課題
2022年6月27日（月） 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 新型コロナウイルスワクチン接種について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. サービス検討委員会開催について 3. 参議院選挙不在者投票の実施について 4. 消防署立ち入り検査について 5. 第5回法人合同福祉セミナーの開催について 6. 人事等について 7. 在籍状況について 8. 5月の実績状況について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 10. 各サービス事業の動向と課題

日 時 等	内 容
2022年7月27日(水) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 新型コロナウイルスワクチンの接種(4回目)について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. 北広島市有財産無償貸付契約(旧緑陽小学校跡施設)の更新について 3. 生涯現役地域づくり環境整備事業について 4. 就職ガイダンスの開催について 5. 星槎道都大学介護職員初任者研修について 6. 第5回法人合同福祉セミナーの開催について 7. 人事について 8. 在籍状況について 9. 6月の実績状況について 10. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 11. 各サービス事業の動向と課題
2022年8月25日(木) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 北海道最低賃金の変更に伴う対応について 4. 介護職員処遇改善支援補助金の活用について(2022.10～2023.3) 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について <報告事項> 1. 2022年最低賃金の改定について 2. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 3. 星槎道都大学連携事業について 4. 人事について 5. 在籍状況について 6. 7月の実績状況について 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 8. 各サービス事業の動向と課題
2022年9月26日(月) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 北海道最低賃金の変更に伴う対応について 4. 新型コロナウイルスワクチン接種(医療従事者・高齢者施設等職員等)について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. ストレスチェック実施方法の見直しについて <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. 10月職員定例集会について 3. 第5回法人合同福祉セミナーの開催について 4. 障がい者施設各種委員会委嘱(補充)について 5. 障害福祉分野におけるロボット等導入事業補助金申請について 6. 人事について 7. 在籍状況について 8. 8月の実績状況について 9. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 10. 各サービス事業の動向と課題

日 時 等	内 容
2022年10月27日(木) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 幹部会グループ討議の内容変更について(11月実施分) 4. 医療・社会福祉施設等物価高騰対策支援事業について(障害分・介護分共通) 5. 北海道電力との契約更新について 6. マイナンバーカード取扱いについて 7. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 8. インフルエンザワクチン接種について(11月接種実施) <報告事項> 1. ストレスチェックの実施について 2. 安全祈願祭の実施について 3. 北海道民間社会福祉事業職員共済会による永年勤続者の表彰について 4. 人事について 5. 在籍状況について 6. 9月の実績状況について 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 8. 各サービス事業の動向と課題
2022年11月25日(金) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 賞与支給について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について <報告事項> 1. 年末年始の執行業務(法人)について 2. 第5回法人合同福祉セミナーの開催結果について 3. 人事について 4. 在籍状況について 5. 10月の実績状況について 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 7. 各サービス事業所の動向と課題
2022年12月23日(金) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 2023年度事業方針・事業計画の提出について 4. 2022年度下半期並びに2023年度事業計画ヒアリングについて 5. 「介護事故」定義の見直しについて 6. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について <報告事項> 1. 人事等について 2. 在籍状況について 3. 11月の実績状況について 4. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 5. 各サービス事業の動向と課題
2023年1月25日(水) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 2023年度理事会・評議員会・監事会の開催日程について 4. 第204回理事会・第69回評議員会の開催に向けて 5. 2023年2・3月の主な行事予定について 6. 生涯現役地域づくり環境整備事業について 7. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 8. 新型コロナワクチンの追加接種について <報告事項> 1. 介護のしごと「全国介護の日ポスター・チラシ展」受賞(北海道)について 2. 人事について 3. 在籍状況について 4. 12月の実績状況について 5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 6. 各サービス事業の動向と課題

日 時 等	内 容
2023年2月24日(金) 10:30～12:00 出席者 8名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 各事業ヒアリング(2022年度事業下半期・2023年度事業計画)の実施について 4. 北広島リハビリセンター療護部過誤請求について 5. 介護職員等処遇改善に向けた臨時特例交付金支給残額の分配について 6. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 7. 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業の申請結果について 8. 介護福祉士資格取得支援制度利用応募について <報告事項> 1. 法人各種委員会からの報告について 2. 2023年度長期勤続表彰について 3. 人事について 4. 在籍状況について 5. 1月の実績状況について 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 7. 各サービス事業の動向と課題
2023年3月24日(金) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 1名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 辞令発令(案)について 4. 2023年度法人各種委員会(案)について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. サービス検討委員会の開催について <報告事項> 1. 法人各種委員会からの報告について 2. 個人情報管理規則の一部改正について 3. ハラスメント防止に関する苦情対応委員会規程の一部改正について 4. 辞令等の交付日時について 5. 2023年度経営会議・幹部会議開催日時について 6. 北海道身障協調査研究委員会の取組について 7. 全国身障新型コロナウイルス感染症発生施設・事業所への見舞金助成について 8. 人事について 9. 在籍状況について 10. 2月の実績状況について 11. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況 12. 各サービス事業の動向と課題

運営委員会（幹部会議）開催状況 2022年度実績

日 時 等	内 容
2022年4月28日（木） 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 幹部会の開催方法について（グループ討議についての説明） 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 4. 介護職員等処遇改善加算の支給計画について 5. 職員代表の選任について 6. 介護福祉士資格取得支援制度利用希望職員について
2022年5月27日（金） 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「理念や倫理綱領の周知について」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 賞与の支給について 3. 自己啓発面接者研修の開催について（人材育成システム推進委員会） 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 新型コロナウイルスワクチン接種について 6. 2021年度処遇改善加算及び特定処遇改善加算の支給について
2022年6月29日（水） 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 1名	<内容> ・グループ討議 「建物・設備や外構（駐車場・庭等）の美化について」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新型コロナウイルスワクチン接種について 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 4. 新型コロナウイルス感染状況について 5. サービス検討委員会開催について 6. 参議院議員不在者投票について 7. 消防署立ち入り検査について 8. 第5回法人合同福祉セミナーの開催について
2022年7月29日（金） 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 「事業計画進捗状況・収支状況分析（第1四半期）」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 管理職研修並びに新規採用職員研修について 3. 新型コロナウイルスワクチン接種について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 北広島市有財産無償貸付契約（旧緑陽小学校跡施設）の更新について 6. 生涯現役地域づくり環境整備事業について 7. 就職ガイダンスの開催について 8. 星槎道都大学介護職員初任者研修について 9. 第5回法人合同福祉セミナーの開催について
2022年8月26日（金） 10:00～11:30 出席者 17名 欠席者 1名	<内容> ・グループ討議 「予算と収支状況の安定化について」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新規採用職員研修並びに階層別研修について 3. 新型コロナウイルスワクチン接種について（医療従事者・高齢者施設等職員枠） 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 2022年最低賃金の改定について 6. 介護職員処遇改善支援補助金の活用について（2022.10～2023.3）
2022年9月27日（火） 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「人材育成（OJT）の具体的な取り組みについて」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新規採用職員研修並びに階層別研修について 3. 北海道最低賃金の変更に伴う対応について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. ストレスチェック実施方法の見直しについて

日 時 等	内 容
2022年10月28日(金) 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 「事業計画進捗状況・収支状況分析(第2四半期)」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新規採用職員研修並びに階層別研修について(サービス向上推進委員会) 3. 幹部会グループ討議の内容変更について(11月「個人情報の管理について」) 4. 医療・社会福祉施設等物価高騰対策支援事業について 5. 北海道電力との契約更新について 6. マイナンバーカードについて 7. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 8. インフルエンザワクチンについて 9. ストレスチェック(WEB方式による)の実施について
2022年11月29日(火) 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「個人情報の管理についての課題について」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 賞与の支給について 3. 新規採用職員研修並びに階層別研修について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. ストレスチェック(WEB方式による)の実施について 6. 年末年始の執行業務(法人)について 7. 第5回法人合同福祉セミナーの開催結果について
2022年12月27日(火) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 1名	<内容> ・グループ討議 「障がい者の権利について(知的障害者の不妊処置問題を受けて)」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 2023年度事業方針・事業計画の提出について 3. 新規採用職員研修並びに階層別研修等について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について
2023年1月27日(金) 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「法人プロジェクト委員会進捗状況について」 「事業計画進捗状況・収支状況分析(第3四半期)」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 2023年度予算要望書の提出について 3. 2023年2～3月の主な行事予定について 4. 生涯現役地域づくり環境整備事業について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. 新型コロナワクチンの追加接種について 7. 法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年2月27日(月) 9:30～11:00 出席者 18名 欠席者 0名	<内容> ・グループ討議 「チームケアで心掛けていくことについて」 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 各事業ヒアリング(2022年度事業下半期・2023年度事業計画)の開催について 3. 介護職員等処遇改善に向けた臨時特例交付金支給残額の分配について 4. 北広島リハビリセンター療護部過誤請求について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業の申請結果について 7. 2023年度長期勤続表彰について 8. 法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について
2023年3月28日(火) 9:30～11:00 出席者 17名 欠席者 1名	<内容> ・グループ討議 「ムリ・ムダ・ムラの排除の取組について」 1. 人事発令(案)について 2. 2023年度法人各種委員会(案)について 3. 個人情報管理規則の一部改正について 4. ハラスメント防止に関する苦情対応委員会規程の一部改正について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. 法人各種委員会からの進捗状況と周知事項について

サービス検討委員会（障がい者施設）開催状況 2022年度実績

日 時	議 題
第12回サービス検討委員会 2022年4月27日（水） 13:55～15:05 ※新型コロナウイルス感染防止 対策により8名で開催 外部委員 4名（1名欠席） 職員 4名	<議題> - 各事業の実績状況について - 北広島リハビリセンター療護部 - 北広島リハビリセンター診療部 - のびのびファイン - 障がい児通所支援事業所みなみ - 障がい福祉サービス事業所みなみ - 障がい者生活支援センターみらい - 障がい者施設共通事項 - 新型コロナウイルス感染症の対応について - 次回委員会の開催予定について
第13回サービス検討委員会 2022年7月27日（水） 14:00～14:40 ※新型コロナウイルス感染防止 対策により10名で開催 外部委員 4名（1名欠席） 職員 6名	<議題> - 各事業の実績状況について - 北広島リハビリセンター療護部 - 北広島リハビリセンター診療部 - のびのびファイン - 障がい児通所支援事業所みなみ - 障がい福祉サービス事業所みなみ - 障がい者生活支援センターみらい - 障がい者施設共通事項 - 新型コロナウイルス感染症の対応について - 次回委員会の開催予定について
第14回サービス検討委員会 2022年10月28日（水） 14:00～15:00 ※新型コロナウイルス感染防止 対策により10名で開催 外部委員 5名 職員 5名	<議題> - 各事業の実績状況について - 北広島リハビリセンター療護部 - 北広島リハビリセンター診療部 - のびのびファイン - 障がい児通所支援事業所みなみ - 障がい福祉サービス事業所みなみ - 障がい者生活支援センターみらい - 障がい者施設共通事項 - 新型コロナウイルス感染症の対応について - 次回委員会の開催予定について
第15回サービス検討委員会 2023年1月25日（水） ※新型コロナウイルス感染防止 対策により9名で開催 外部委員 4名（1名欠席） 職員 5名	<議題> - 各事業の実績状況について - 北広島リハビリセンター療護部 - 北広島リハビリセンター診療部 - のびのびファイン - 障がい児通所支援事業所みなみ - 障がい福祉サービス事業所みなみ - 障がい者生活支援センターみらい - 障がい者施設共通事項 - 新型コロナウイルス感染症の対応について - 次回委員会の開催予定について

サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況 2022年度

日 時	議 題
第 8 7 回サービス検討委員会 2022年4月21日(木) 場所 地域サポートセンターともに 参加者 8名 欠席 5名	<議題> 1. 各事業の実績状況、苦情事故等報告について 1) 特別養護老人ホーム・短期入所 2) デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる 3) みなみ高齢者支援センター 4) 居宅介護支援事業所 5) グループホーム 6) 複合型サービス 7) ホームヘルプサービス 8) 訪問看護 9) サービス付き高齢者向け住宅 10) 地域交流事業 2. 新型コロナウイルス感染症の対応について 3. 外部委員からの意見 4. 特養入所待機状況、入居判定結果 5. 次回委員会の開催予定について
第 8 8 回サービス検討委員会 2022年7月21日(木) 場所 地域サポートセンターともに 参加者 11名 欠席 2名	<議題> 1. 各事業の実績状況、苦情事故等報告について 1) 特別養護老人ホーム・短期入所 2) デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる 3) みなみ高齢者支援センター 4) 居宅介護支援事業所 5) グループホーム 6) 複合型サービス 7) ホームヘルプサービス 8) 訪問看護 9) サービス付き高齢者向け住宅 10) 地域交流事業 2. 新型コロナウイルス感染症の対応について 3. 外部委員からの意見 4. 特養入所待機状況、入居判定結果 5. 次回委員会の開催予定について
第 8 9 回サービス検討委員会 2022年10月27日(木) 14:00~15:30 場所 地域サポートセンターともに 参加者 11名 欠席 2名	<議題> 1. 各事業の実績状況、苦情事故等報告について 1) 特別養護老人ホーム・短期入所 2) デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる 3) みなみ高齢者支援センター 4) 居宅介護支援事業所 5) グループホーム 6) 複合型サービス 7) ホームヘルプサービス 8) 訪問看護 9) サービス付き高齢者向け住宅 10) 地域交流事業 2. 新型コロナウイルス感染症の対応について 3. 外部委員からの意見 4. 特養入所待機状況、入居判定結果 5. 次回委員会の開催予定について
第 9 0 回サービス検討委員会 2023年1月19日(木) 場所 地域サポートセンターともに 参加者 9名 欠席 3名	<議題> 1. 各事業の実績状況、苦情事故等報告について 1) 特別養護老人ホーム・短期入所 2) デイサービスセンター四恩園、デイホームさとみ、デイホームかたる 3) みなみ高齢者支援センター 4) 居宅介護支援事業所 5) グループホーム 6) 複合型サービス 7) ホームヘルプサービス 8) 訪問看護 9) サービス付き高齢者向け住宅 10) 地域交流事業 2. 新型コロナウイルス感染症の対応について 3. 外部委員からの意見 4. 特養入所待機状況、入居判定結果 5. 次回委員会の開催予定について

2022年度資金収支決算報告書
(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

No1

<法人本部・障がい者施設>

(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	法人本部	療養部	のびのびフライン	診療部	小計①	備考
事業活動による収入	介護保険事業収入			33,480,543		33,480,543	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入		406,596,616			406,596,616	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
	老人福祉事業収入						サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入				13,340,599	13,340,599	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	5,766,752	6,498,749	414,303	2,250,000	14,929,804	北広島市委託事業費
	研修事業収入						介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入	1,552,238				1,552,238	法人及び施設設備等、寄附物品
	受取利息配当金収入	64	217	18	31	330	預金利息
	その他の収入	148,280	5,343,363	30,000	754,320	6,275,963	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計①	7,467,334	418,438,945	33,924,864	16,344,950	476,176,093	
人件費支出	役員報酬支出	7,975,575				7,975,575	職員給与、諸手当
	職員給料支出	5,797,020	170,684,919	21,137,084	1,663,638	199,282,661	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	1,375,500	39,045,881	4,451,485	830,250	45,703,116	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	4,033,958	64,504,456	1,173,118	4,562,364	74,273,896	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出						派遣職員委託費
	退職給付支出	44,500	12,745,343	44,500		12,834,343	退職共済掛金
	法定福利費支出	1,902,527	38,520,854	4,264,975	758,102	45,446,458	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	21,129,080	325,501,453	31,071,162	7,814,354	385,516,049	
	給食費支出		22,291,543			22,291,543	利用者給食材料
	介護用品費支出		1,406,612			1,406,612	利用者直接処遇用介護用品購入費
事業費支出	医薬品費支出				1,270,469	1,270,469	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出				642,546	642,546	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出		623,736	1,738		625,474	利用者健診費
	医療費支出						利用者医療機関診療費
	被服費支出		2,144,219			2,144,219	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出		708,669			708,669	利用者行事、レクリエーション等関係諸経費他
	日用品費支出						利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出		18,815,246	593,500	395,684	19,804,430	電気・ガス・水道料
	燃料費支出		20,112,070	635,118	423,412	21,170,600	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出		1,665,410	119,124	37,236	1,821,770	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
事業活動による支出	保険料支出						利用者損害保険料
	賃借料支出		2,388,870			2,388,870	利用者処遇用具・備品等リース料
	葬祭費支出						利用者葬祭費
	車輛費支出		2,345,514	76,922	31,194	2,453,630	車輛燃料費、車輛検査費等
	業務委託費支出						サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出		60,000	50,000		110,000	職員紹介謝礼
	検査費支出				1,097,909	1,097,909	診療用検査費
	雑支出		121,456		45,111	166,567	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	0	72,683,345	1,476,402	3,943,561	78,103,308	
	福利厚生費支出	308,615	2,169,621	78,319	53,820	2,610,375	職員検診、福利事業諸費他
事務費支出	職員被服費支出		800,602	60,302	712	861,616	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	81,200	141,464	6,700		229,364	旅費、日当、外勤手当
	研修研究費支出	48,500	39,500			88,000	研修会参加費
	事務消耗品費支出	2,072,286	1,319,358	166,346	89,407	3,647,397	事務用品購入費
	印刷製本費支出	1,093,620	245,463			1,339,083	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出	117,693				117,693	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	20,404				20,404	重油、灯油代
	修繕費支出	110,000	2,832,859	1,340		2,944,199	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	42,525	1,102,167	14,526	10,714	1,169,932	電話・FAX・切手・各種送達費
	会議費支出						会議用茶菓子・食糧費
事業活動資金収支差額③(①-②)	広報費支出	583,481	331,476			914,957	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	3,692,700	3,410,136	51,520	133,346	7,287,702	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	114,181	114,826	252,775	3,630	485,412	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	367,899	695,886	158,356	8,105	1,230,246	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	330,000	729,641	492,360	222,504	1,774,505	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出						土地及び建物等借入費
	租税公課支出	241,255	174,566		206,126	621,947	印紙、自動車税他
	保守料支出		4,203,278	6,404	257,270	4,466,952	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	236,000	165,000	30,000		431,000	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	136,000	244,500	9,000	120,000	509,500	各種団体加盟会費・負担金
その他の活動	雑支出	2,322,039	207,434	46,413	146,866	2,722,752	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	11,918,398	18,927,777	1,374,361	1,252,500	33,473,036	
	利用者負担軽減額						介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	74,794	210,316		2,124	287,234	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出		16,290,796			16,290,796	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額						利用者負担金徴収不能額
	事業活動資金収支差額③(①-②)	△ 25,654,938	△ 15,174,742	2,939	3,332,411	△ 37,494,330	
施設整備等	施設整備等補助金収入		1,937,000			1,937,000	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入						建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入						建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入						
	施設整備等収入 計④	0	1,937,000	0	0	1,937,000	
	設備資金借入金元金償還支出		5,520,000			5,520,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出	1,206,610	1,946,200	271,700		3,424,510	固定資産新規取得額
	固定資産売却・廃棄支出						固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出		1,866,005		99,252	1,965,257	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計⑤	1,206,610	9,332,205	271,700	99,252	10,909,767	
施設整備等資金収支差額④(④-⑤)	施設整備等資金収支差額④(④-⑤)	△ 1,206,610	△ 7,395,205	△ 271,700	△ 99,252	△ 8,972,767	
	長期運営資金借入金収入						退職共済出資金、各種積立金取崩額
	積立資産取崩収入	2,800,000	27,194,834			29,994,834	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入	10,300,000				10,300,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
	拠点区分間繰入金収入	26,100,000	22,300,000	2,000,000		50,400,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による収入						長期預り金収入(入居者数金)
	その他の活動収入 計⑦	39,200,000	49,494,834	2,000,000	0	90,694,834	
	長期運営資金借入金元金償還支出	7,528,000				7,528,000	退職共済出資金、各種積立金償還額
	積立資産支出	3,690,140	5,938,505	931,320	119,460	10,679,425	退職共済出資金、各種積立金償還額
	事業区分間繰入金支出				1,500,000	1,500,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による支出	拠点区分間繰入金支出	2,800,000	16,500,000			19,300,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による支出				42,660	42,660	
	その他の活動支出 計⑧	14,018,140	22,438,505	931,320	1,662,120	39,050,085	
	その他の活動資金収支差額⑧(⑦-⑧)	25,181,860	27,056,329	1,068,680	△ 1,662,120	51,644,749	
	当期資金収支差額合計⑨(③+④+⑧)	△ 1,679,688	4,486,382	799,919	1,571,039	5,177,652	
	前期末支払資金残高⑩	8,081,853	62,631,938	△ 6,436,884	4,752,564	69,029,471	
	当期末支払資金残高⑪(⑩+⑨)	6,402,165	67,118,320	△ 5,636,965	6,323,603	74,207,123	

2022 年度 資金収支決算報告書

(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

No2

<法人本部・障がい者施設>

(単位 円)

拠点区分		障がい福祉サービス	障がい児通所支援	生活支援	小 計 ②	合 計(①+②)	備 考
収支区分及び科目							
事業活動による収入	介護保険事業収入				0	33,480,543	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入	92,140,338	23,231,733	45,809,770	161,181,841	567,778,457	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
	老人福祉事業収入				0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入				0	13,340,599	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	1,507,340	2,824,255	244,560	4,576,155	19,505,959	北広島市委託事業費
	研修事業収入				0	0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入				0	1,552,238	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	29	25	26	80	410	預金利息
	その他の収入	400,422	1,682,469		2,082,891	8,358,854	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①	94,048,129	27,738,482	46,054,356	167,840,967	644,017,060	
事業活動による支出	役員報酬支出				0	7,975,575	職員給与、諸手当
	職員給料支出	32,094,619	10,676,003	23,458,503	66,229,125	265,511,786	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	7,413,865	2,148,815	5,432,100	14,994,780	60,697,896	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	27,206,576	3,159,395	1,963,000	32,328,971	106,602,867	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出				0	0	派遣職員委託費
	退職給付支出	222,500	44,500	133,500	400,500	13,234,843	退職共済掛金
	法定福利費支出	9,164,980	2,054,394	4,942,482	16,161,856	61,608,314	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	76,102,540	18,083,107	35,929,585	130,115,232	515,631,281	
	給食費支出	2,664,306			2,664,306	24,955,849	利用者給食材料
	介護用品費支出				0	1,406,612	利用者直接処遇介護用品購入費
事業活動による支出	医薬品費支出				0	1,270,469	診療用医薬品購入費
	診療・療養等材料費支出				0	642,546	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	68,717	31,467		100,184	725,658	利用者健診費
	医療費支出				0	0	利用者医療機関診療費
	被服費支出				0	2,144,219	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出	341,998	69,956		411,954	1,120,623	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
	日用品費支出				0	0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	5,437,355	1,553,522	776,798	7,767,675	27,572,105	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	1,514,389	432,679	216,353	2,163,421	23,334,021	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出	608,043	102,310	36,618	746,971	2,568,741	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
事業活動による支出	保険料支出		2,700		2,700	2,700	利用者損害保険料
	賃借料支出	1,888,152		910,737	2,798,889	5,187,759	利用者処遇用具・備品等リース料
	葬祭費支出				0	0	利用者葬祭費
	車輦費支出	3,224,350	1,042,624	206,207	4,473,181	6,926,811	車輦燃料費、車輦検査費等
	業務委託費支出				0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出	30,000			30,000	140,000	職員紹介謝礼
	検査費支出				0	1,097,909	診療用検査費
	雑支出	50,000	816,753	5,184	871,937	1,038,504	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	15,827,310	4,052,011	2,151,897	22,031,218	100,134,526	
	福利厚生費支出	569,359	177,137	134,246	880,742	3,491,117	職員検診、福利事業諸費他
事業活動による支出	職員被服費支出	264,415	32,219		296,634	1,158,250	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	6,580	4,100	75,940	86,620	315,984	旅費、日当、外動手当
	研修研究費支出		26,200	69,000	95,200	183,200	研修会参加費
	事務消耗品費支出	209,976	44,298	54,528	308,802	3,956,199	事務用品購入費
	印刷製本費支出	208,615		158,810	367,425	1,706,508	印刷物作成費、製本費
	水道光熱費支出				0	117,693	電気・ガス・水道料
	燃料費支出				0	20,404	重油、灯油代
	修繕費支出	651,304	2,200		653,504	3,597,703	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	466,088	116,445	872,182	1,454,715	2,624,647	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出				0	0	会議用茶菓子・食糧費
事業活動による支出	広報費支出				0	914,957	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	794,809	122,431	61,214	978,454	8,266,156	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
	手数料支出	234,494	78,034	9,708	322,236	807,648	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	364,545	84,165	111,364	560,074	1,790,320	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	762,122	61,895	477,617	1,301,634	3,076,139	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出				0	0	土地及び建物等借入金
	租税公課支出	10,908	75,501		86,409	708,356	印紙、自動車税他
	保守料支出	770,704	194,304	97,152	1,065,160	5,529,112	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	35,000			35,000	466,000	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出	6,000			6,000	515,500	各種団体加盟会費・負担金
事業活動による支出	雑支出	105,516		420	105,936	2,828,688	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	5,460,435	1,018,929	2,122,181	8,601,545	42,074,581	
	利用者負担軽減額				0	0	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出	623,637	253,476	5,945	883,058	1,170,292	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出	84,180			84,180	16,374,976	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額				0	0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②	98,098,102	23,407,523	40,209,608	161,715,233	675,385,656	
	事業活動資金収支差額 ③ (①-②)	△ 4,049,973	4,330,959	5,844,748	6,125,734	△ 31,368,596	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入				0	1,937,000	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入				0	0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入				0	0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入	330,000			330,000	330,000	
	施設整備等収入 計 ④	330,000	0	0	330,000	2,267,000	
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	5,623,200	2,296,800		7,920,000	13,440,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出	16,800			16,800	3,441,310	固定資産新規取得額
	固定資産売却・廃棄支出				0	0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	337,459	79,404	277,908	694,771	2,660,028	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤	5,977,459	2,376,204	277,908	8,631,571	19,541,338	
	施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)	△ 5,647,459	△ 2,376,204	△ 277,908	△ 8,301,571	△ 17,274,338	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入				0	0	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入	1,500,000			1,500,000	11,800,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
	拠点区分間繰入金収入	9,800,000			9,800,000	60,200,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による収入				0	0	長期預り金収入(入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦	11,300,000	0	0	11,300,000	101,994,834	
その他の活動による支出	積立資産支出	1,242,300	427,080	881,700	2,551,080	10,079,080	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出				0	1,500,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
	拠点区分間繰入金支出		2,600,000	3,200,000	5,800,000	25,100,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
	その他の活動による支出				0	42,660	
	その他の活動支出 計 ⑧	1,242,300	3,027,080	4,081,700	8,351,080	47,401,165	
	その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)	10,057,700	△ 3,027,080	△ 4,081,700	2,948,920	54,593,669	
	当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)	360,268	△ 1,072,325	1,485,140	773,083	5,950,735	
	前期末支払資金残高 ⑪	△ 9,437,772	3,153,808	8,429,009	2,145,045	71,174,516	
	当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)	△ 9,077,504	2,081,483	9,914,149	2,918,128	77,125,251	

2022年度 資金収支決算報告書
(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

No3

<高齢者施設>

(単位 円)

収支区分及び科目		特養部	デイサービス	デイホーム さつみ	デイホーム かたる	ホームヘルプ	複合型 サービス	グループホーム	小 計 ①	備 考
事業活動による収入	介護保険事業収入	237,936,374	71,637,163	13,311,046	62,617,569	44,448,194	79,786,903	91,274,477	601,011,726	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入					28,525,240			28,525,240	生活介護・自立訓練・人支援・居宅介護給付費
	老人福祉事業収入								0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入								0	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入	2,430,878	667,917	220,520	738,179	1,121,054	948,449	1,511,404	7,638,401	街灯補助金他
	研修事業収入								0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入		500,000		1,750,000			200,000	2,450,000	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入	586	159	83	69	114	221	73	1,305	預金利息
	その他の収入	679,271			17,395	82,862		179,430	958,958	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①	241,047,109	72,805,239	13,531,649	65,123,212	74,177,464	80,735,573	93,165,384	640,585,630	
事業活動による支出	職員給料支出	65,050,589	25,554,218	2,691,372	28,377,589	14,536,587	25,553,195	24,183,999	185,947,549	職員給与、諸手当
	職員賞与支出	13,915,495	5,484,547	512,287	6,583,400	2,985,200	5,373,400	4,665,050	39,519,379	職員期末手当
	非常勤職員給与支出	50,741,884	19,591,993	7,268,506	7,732,823	36,817,473	24,329,208	31,059,962	177,541,849	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出								0	派遣職員委託費
	退職給付支出	4,202,408	269,590		1,475,310	917,610	44,500	2,103,630	9,013,048	退職共済掛金
	法定福利費支出	17,488,984	6,240,561	548,384	6,063,674	6,289,937	6,894,567	7,039,859	50,565,966	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A	151,399,360	57,140,909	11,020,549	50,232,796	61,546,807	62,194,870	69,052,500	462,587,791	
	給食費支出	22,165,997	3,768,163	448,208	4,147,391		3,405,109	6,507,637	40,442,505	利用者給食材料
	介護用品費支出	3,637,451	73,634	20,773	34,808	3,520	41,382	141,240	3,952,808	利用者直接処遇用介護用品購入費
	医薬品費支出								0	診療用医薬品購入費
事業活動による支出	診療・療養等材料費支出								0	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出	726,449	8,704	3,884	12,989	18,953	23,808	14,416	809,203	利用者健診費
	医療費支出								0	利用者医療機関診療費
	被服費支出	1,648,574	183,179		84,315		224,840		2,140,908	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出	251,842	388,453	26,991	312,134	48,432	121,065	142,960	1,291,877	利用者行事、レクリエーション等関係諸経費他
	日用品費支出								0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出	10,191,305	4,361,703	338,185	4,080,411	2,228,931	3,357,876	4,100,843	28,659,254	電気・ガス・水道料
	燃料費支出	8,630,160	3,698,640	352,429	2,551,765	918,558	1,224,709	1,530,883	18,907,144	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出	2,335,971	292,252	146,047	344,737		284,999	519,709	3,923,715	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
	保険料支出				2,700				2,700	利用者損害保険料
事業活動による支出	賃借料支出	323,755							323,755	利用者処遇用具・備品等リース料
	葬祭費支出								0	利用者葬祭費
	車輦費支出	2,144,173	1,708,313	290,257	1,679,891	305,855	764,030		6,892,519	車輦燃料費、車輦検査費等
	管理費返還支出								0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出	30,000							30,000	介護職員初任者研修事業講師料
	雑支出	420,330	69,682	1,411	37,234				528,657	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B	52,506,007	14,552,723	1,628,185	13,288,375	3,524,249	9,447,818	12,957,688	107,905,045	
	福利厚生費支出	1,201,162	302,970	93,400	173,692	465,641	442,644	521,776	3,201,285	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出	324,715	40,854		16,632				382,201	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出	8,000		2,000		3,000		15,000	28,000	旅費、日当、外勤手当
事業活動による支出	研修研究費支出	37,900	5,000	72,960	21,440	54,980	77,560	201,500	471,340	研修参加費
	事務消耗品費支出	1,062,419	79,547	7,892	66,857	47,512	60,837	38,869	1,363,933	事務用品購入費
	印刷製本費支出	318,883	109,134	36,049	102,128	106,160	124,556	109,401	906,311	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出								0	電気・ガス・水道料
	燃料費支出								0	重油、灯油代
	修繕費支出	2,833,363		65,181	809,411		74,206	55,440	3,837,601	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出	1,320,944	171,186	206,187	475,999	568,027	281,530	244,450	3,268,283	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出								0	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出	257,655	43,230	11,583	191,372	50,952	40,931	55,594	651,317	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出	8,722,568		157,140	199,980			422,202	9,501,890	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
事業活動による支出	手数料支出	584,229	2,200	2,975	8,185	37,285	80,730	74,722	790,326	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出	338,629	233,673	53,161	208,189	156,925	170,384	63,267	1,224,228	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出	866,617	1,007,524		170,406	318,345	327,044	242,288	2,932,224	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出								0	土地及び建物等賃借料
	租税公課支出	69,433	27,966		6,312	90,144	58,200		252,055	印紙、自動車税他
	保守料支出	1,571,555	619,781	6,600	276,100	272,910	336,380	416,350	3,499,676	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出	285,500	60,000	25,000	70,000	50,850	125,000	90,000	706,350	慶弔費、創設記念費等
	諸金費支出	129,300	43,300	7,500	49,300			54,000	283,400	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出	516,088	3,020	10,314	54,774	15,471	3,000	158,342	761,009	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C	20,448,920	2,749,385	757,942	2,900,777	2,238,202	2,203,002	2,763,201	34,061,429	
事業活動による支出	利用者負担軽減額	154,134	14,468	87,140					255,742	介護保険施設負担軽減額
	支払利息支出	46,464	15,563	1,792	3,234	39,760	91,849	237,733	436,395	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出								0	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額								0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②	224,554,885	74,473,048	13,495,608	66,425,182	67,349,018	73,937,539	85,011,122	605,246,402	
	事業活動資金収支差額 ③ (①-②)	16,492,224	△ 1,667,809	36,041	△ 1,301,970	6,828,446	6,798,034	8,154,262	35,339,228	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入								0	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入								0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入								0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入		55,000			11,000			66,000	
	施設整備等収入 計 ④	0	55,000	0	0	11,000	0	0	66,000	
	設備資金借入金元金償還支出					657,700	1,550,100	4,089,600	6,297,400	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出	197,780			1,749,242	445,500	5,280,000		7,672,522	固定資産新規取得額
	固定資産売却・廃棄支出								0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,037,235	661,429	119,195	220,848	199,635	122,874	122,874	3,484,090	パソコン・施設設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤	2,235,015	661,429	119,195	1,970,090	1,302,835	6,952,974	4,212,474	17,454,012	
施設整備等による支出	施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)	△ 2,235,015	△ 606,429	△ 119,195	△ 1,970,090	△ 1,291,835	△ 6,952,974	△ 4,212,474	△ 17,388,012	
	積立資産取崩収入	22,814,898	180,590		1,386,180	878,220	10,000,000	1,924,200	37,184,088	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入								0	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金収入								0	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による収入								0	長期預り金収入 (入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦	22,814,898	180,590	0	1,386,180	878,220	10,000,000	1,924,200	37,184,088	
	積立資産支出	2,407,020	1,146,710	142,860	1,211,880	610,620	6,076,460	977,580	12,573,130	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出								0	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金支出	28,700,000				2,000,000	2,000,000	2,400,000	35,100,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による支出								0	
その他の活動による支出	その他の活動支出 計 ⑧	31,107,020	1,146,710	142,860	1,211,880	2,610,620	8,076,460	3,377,580	47,673,130	
	その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)	△ 8,292,122	△ 966,120	△ 142,860	174,300	△ 1,732,400	1,923,540	△ 1,453,380	△ 10,489,042	
	当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)	5,965,087	△ 3,240,358	△ 226,014	△ 3,097,760	3,804,211	1,768,600	2,488,408	7,462,174	
	前期末支払資金残高 ⑪	74,833,554	45,581,551	5,522,407	9,232,871	42,015,078	15,471,816	12,947,556	205,604,833	
	当期末支払資金残高 ⑫ (⑪+⑩)	80,798,641	42,341,193	5,296,393	6,135,111	45,819,289	17,240,416	15,435,964	213,067,007	

2022年度 資金収支決算報告書
(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

No4

＜高齢者施設＞

(単位 円)

収支区分及び科目		拠点区分	居宅介護支援	訪問看護	高齢者支援センター	サ高住しおん	初任者研修	小 計 ②	合 計	備 考
事業活動による収入	介護保険事業収入		60,898,930	14,461,629	49,396,227			124,756,786	725,768,512	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
	障害福祉サービス事業収入							0	28,525,240	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費
	老人福祉事業収入		384,660			55,799,795		56,184,455	56,184,455	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
	医療事業収入			9,783,946				9,783,946	9,783,946	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
	その他の事業収入		149,000	184,594	309,761			643,355	8,281,756	街灯料助成金他
	研修事業収入							0	0	介護職員初任者研修事業受講料
	経常経費寄附金収入							0	2,450,000	法人及び施設寄附金、寄附物品
	受取利息配当金収入		141	38	84	47		310	1,615	預金利息
	その他の収入		679,496		73,500	558,620		1,311,616	2,270,574	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
	事業活動収入 計 ①		62,112,227	24,430,207	49,779,572	56,358,462	0	192,680,468	833,266,098	
人件費支出	職員給料支出		24,691,850	8,578,528	28,388,427	13,335,334		74,994,139	260,941,688	職員給与、諸手当
	職員賞与支出		5,346,450	1,859,250	5,928,950	2,932,250		16,066,900	55,586,279	職員期末手当
	非常勤職員給与支出		2,480,204	3,799,682	1,111,920	11,928,235		19,300,041	196,841,890	臨時職員等賃金
	派遣職員費支出							0	0	派遣職員委託費
	退職給付支出		89,000	44,500	44,500	3,191,800		3,369,800	12,382,848	退職共済掛金
	法定福利費支出		5,171,591	2,211,094	5,497,469	3,426,420		16,306,574	66,872,540	社会保険料事業主負担額
	人件費 小計 A		37,759,095	16,493,054	40,971,266	34,814,039	0	130,037,454	592,625,245	
	給食費支出					10,058,146		10,058,146	50,500,651	利用者給食材料
	介護用品費支出			25,179				25,179	3,977,987	利用者直接処通用介護用品購入費
	医薬品費支出							0	0	診療用医薬品購入費
事業費支出	診療・療養等材料費支出							0	0	診療用消耗品等購入費
	保健衛生費支出			82,210				82,210	891,413	利用者健診費
	医療費支出							0	0	利用者医療機関診療費
	被服費支出							0	2,140,908	利用者衣類・寝具等購入費
	教養娯楽費支出					339,666		339,666	1,631,543	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
	日用品費支出							0	0	利用者現物給付日用品
	水道光熱費支出		1,485,916	742,953	240,000	4,229,534		6,698,403	35,357,657	電気・ガス・水道料
	燃料費支出		612,352	306,172		1,530,883		2,449,407	21,356,551	重油、灯油代
	消耗器具備品費支出			1,805		36,670		38,475	3,962,190	利用者直接処通用消耗品、備品購入費
	保険料支出							0	2,700	利用者損害保険料
事業活動による支出	賃借料支出							0	323,755	利用者処通用器具・備品等リース料
	燃料費支出							0	0	利用者葬費
	車庫費支出				172,052	145,824		317,876	7,210,395	車輛燃料費、車輛検査費等
	管理費返還支出							0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
	諸謝金支出			50,000		30,000		80,000	110,000	介護職員初任者研修事業講師料
	雑支出		339,048			2,827		341,875	870,532	その他の事業費支出
	事業費支出 小計 B		2,437,316	1,208,319	412,052	16,373,550	0	20,431,237	128,336,282	
	福利厚生費支出		125,854	277,439	90,729	439,964		933,986	4,135,271	職員検診、福利事業諸費他
	職員被服費支出							0	382,201	職員貸与制服、作業衣等購入費
	旅費交通費支出				3,540			3,540	31,540	旅費、日当、外勤手当
事務費支出	研修研究費支出		167,460		169,520	15,060		352,040	823,380	研修会参加費
	事務消耗品費支出		145,175	26,349	517,751	60,590		749,865	2,113,798	事務用品購入費
	印刷製本費支出		247,067	58,084	421,965	122,448		849,564	1,755,875	印刷物作成費・製本費
	水道光熱費支出							0	0	電気・ガス・水道料
	燃料費支出							0	0	重油、灯油代
	修繕費支出		80,644	46,200	194,787	385,539		707,177	4,544,771	建物・器具備品等修理費
	通信運搬費支出		326,418	171,315	837,924	244,450		1,580,107	4,848,390	電話・FAX・切手・各種発送費
	会議費支出				17,569			17,569	17,569	会議用茶菓子・食糧費
	広報費支出		182,120	7,722	20,086	19,305		229,233	880,550	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
	業務委託費支出				199,980	589,402		789,382	10,291,272	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
その他の活動	手数料支出		5,665	1,705	23,770	99,099		130,239	920,565	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
	保険料支出		212,848	28,189	109,264	57,911		408,212	1,632,440	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
	賃借料支出		194,672	113,556	288,750	90,242		687,220	3,619,444	器具備品等リース料
	土地・建物賃借料支出				784,800			784,800		土地及び建物等賃借料
	租税公課支出		135,216	1,908	39,486	1,309,179		1,485,789	1,737,844	印紙、自動車税他
	保守料支出		222,640	96,470	213,400	409,750		942,260	4,441,936	建物及び各種機器等保守・点検料
	渉外費支出				10,000	30,000		40,000	746,350	慶弔費、創設記念費等
	諸会費支出		4,600		30,000	5,000		39,600	323,000	各種団体加盟会費・負担金
	雑支出		3,300	2,200	15,390			20,890	781,899	その他の事務費支出
	事務費支出 小計 C		2,053,679	831,137	3,988,711	3,877,939	0	10,751,466	44,812,895	
その他の活動	利用者負担軽減額							0	255,742	介護保険施設負担金軽減額
	支払利息支出		473,995	9,630		485,885		969,510	1,405,905	借入金利息、リース債務利息
	その他の支出							0	0	利用者等外給食費他
	流動資産評価減等による資金減少額							0	0	利用者負担金徴収不能額
	事業活動支出 計 ②		42,724,085	18,542,140	45,372,029	55,551,413	0	162,189,667	767,436,069	
	事業活動資金収支差額 ③ (①-②)		19,388,142	5,888,067	4,407,543	807,049	0	30,490,801	65,830,029	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入							0	0	建物新築、改修等補助金
	施設整備等寄附金収入							0	0	建物新築、改修等寄附金
	施設整備借入金収入							0	0	建物新築、改修等資金借入金
	固定資産売却収入							0	66,000	
	施設整備等収入 計 ④		0	0	0	0	0	0	66,000	
	設備資金借入金元金償還支出		8,041,600	106,900		8,430,100		16,580,600	22,878,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
	固定資産取得支出							0	7,672,522	固定資産新規取得額
	固定資産売却・廃棄支出							0	0	固定資産廃棄処分額
	ファイナンス・リース債務の返済支出		607,042	189,410		52,659		849,111	4,333,201	パソコン他設備機器リース元金返済
	施設整備等支出 計 ⑤		8,648,642	298,310	0	8,482,759	0	17,429,711	34,883,723	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)	施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)		△ 8,648,642	△ 298,310	0	△ 8,482,759	0	△ 17,429,711	△ 34,817,723	
	積立資産取崩収入				3,500,000	2,544,180		6,044,180	43,228,268	退職共済出資金、各種積立金取崩額
	事業区分間繰入金収入							0	0	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金収入					2,000,000		2,000,000	2,000,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による収入					640,000		640,000	640,000	長期預り金収入 (入居者敷金)
	その他の活動収入 計 ⑦		0	0	3,500,000	5,184,180	0	8,684,180	45,868,268	
	積立資産支出		1,006,620	335,075	1,183,835	462,000		2,987,530	15,560,660	退職共済出資金、各種積立金積立額
	事業区分間繰入金支出		3,200,000	400,000	6,700,000			10,300,000	10,300,000	事業区分間の資金繰入額 (内部取引)
	拠点区分間繰入金支出		2,000,000					2,000,000	37,100,000	拠点区分間の資金繰入額 (内部取引)
	その他の活動による支出					630,000		630,000	630,000	
その他の活動	その他の活動支出 計 ⑧		6,206,620	735,075	7,883,835	1,092,000	0	15,917,530	63,590,660	
	その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)		△ 6,206,620	△ 735,075	△ 4,383,835	4,092,180	0	△ 7,233,350	△ 17,722,392	
	当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		4,532,880	4,854,682	23,708	△ 3,583,530	0	5,827,740	13,289,914	
	前期末支払資金残高 ⑪		4,325,176	8,084,803	4,369,865	△ 17,921,092	253,912	△ 887,336	204,717,497	
	当期末支払資金残高 ⑫ (⑪+⑩)		8,858,056	12,939,485	4,393,573	△ 21,504,622	253,912	4,940,404	218,007,411	
	施設整備等資金収支差額 ⑬ (③-⑥)							0	0	
	その他の活動資金収支差額 ⑭ (⑦-⑧)							0	0	
	施設整備等資金収支差額 ⑮ (④-⑤)							0	0	
	その他の活動資金収支差額 ⑯ (⑦-⑧)							0	0	
	施設整備等資金収支差額 ⑰ (④-⑤)							0	0	

1. 障がい者施設 運営管理

(I) 職員の状況

ア. 職員の配置状況

北広島リハビリセンター職員配置一覧

2023年3月31日現在

療 護 部 (生活介護・入所支援) ≪総務課・会計課・入所支援課(入所支援係)≫										
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
施設長	齊藤 久男									
サービス管理責任者	西尾 恵史(兼)									
	澤田 勇樹(兼)									
	佐藤 尚文(兼)									
生活相談員		佐藤 光								
理学療法士	新井田 渉									
作業療法士	通 厚周									
言語聴覚士		濱本 さなえ								
機能訓練指導員		田村 美夏			福良 賢博					
医師										野馬 伸泰 長澤 邦彦
看護師(准を含む)		高津 多美子	茂原 義樹			佐藤 恵子			矢田 敏子	
		谷口 亜子(見出国)							宮原 美穂子	
									瀬川 真知子	
看護助手									田村 秀子	
介護職員		佐藤 宏美							野呂 千文	
介護係(3 名)	橋本 圭司	中出 江美子		吉田 静		奈良 敏子			渡辺 祐三子	
	神 将大	知里 寿子		藤藤 綾子					江 郁子	
	川守田 敏明	徳重 恵理							吉村 麻衣	
		鎌田 裕恵							久々江 成美	
		内馬場 恵子							渡邊 由美子	
		芝崎 里美							小倉 尚菜	
		岸 葵								
		鷹巣 杏奈								
		松岡 真友								
		杉田 美保								
介護職員	澤田 勇樹									
介護係(4 名)		落合 里沙								
	長内 隆三郎	石川 江美子		金野 美由紀					小林 智代	
	米田 賢大	伊藤 文子							中村 有紀	
	前野 遼	加藤 優子							松山 美衣	
		千葉 彩佳							澤田 由紀子	
		笠原 晴香							豊原 美里	
		大脇 里菜							佐藤 知子	
		宇佐美 菜奈							村井 小優梨	
		清山 愛花							崎 美菜穂	
ケアサポーター									杉山 優子	
									寺岡 みどり	
									齊藤 美枝子	
									築地原 とみ子	
									野崎 洋子	
									大西 美紀	
									新堂 和子	
									村井 小優梨	
									桂 弘子	
(管理)栄養士		木戸 和美								
調理師(員)	水留 直樹	平川 隆				大関 幸江		鈴木 留美子	田中 郁美	
	能藤 一夫	油谷 明奈							細川 和子	
		湯川 未奈								
事務員	山本 祐三	中田 花奈美	芝田 光正						阿部 市美(見出国)	
	佐藤 尚文	榎又 早紀(見出国)								
	前川 晃	清水 順子								
施設管理員	山下 誠一郎									
	菊池 士									
	小山 俊之(見出国)									
管理当直									佐藤 義樹	
									矢田 秀幸	
									半田 友勝	
合 計	18	30	2	3	1	3	0	1	3	29
【兼務】	7	48		5		4		1		32

のびのびファイン (のびのびファイン・いきいきライフ・わくわくファイト) ≪通所支援課・通所支援係≫										
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管理者	谷口 勝也									
理学療法士	原田 知起									
作業療法士	若生 大輝									
機能訓練指導員	谷口 勝也									
介護職員	岩本 剛太	水田 みずき							時田 蒼乃	
生活相談員	石川 大樹									
看護師		今 綾								
運転技術員	石川 大樹	高津 多美子				佐藤 恵子			瀬川 真知子	
合 計	5	2	0	0	0	0	0	0	0	1
【兼務】	5	7		0		0		0		1

診 療 部										
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
理学療法士	通 厚周									
言語聴覚士		濱本 さなえ								
医師										野馬 伸泰 長澤 邦彦
看護師						佐藤 恵子				
事務員						菊池 さとみ				
合 計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
【兼務】	2	1		0		1		0		0

北広島リハビリセンター合計人数

	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
合 計	23	33	2	3	1	4	0	1	3	30	2
総合計	102										

(I) 職員の状況

ア. 職員の配置状況

【宅支援事業】多機能型複合施設 地域サポートセンターみなみ職員配置一 2023年3月31日現在

機・生・兼務 長澤 邦彦 兼務

障がい福祉サービス事業所みなみ (機能訓練・生活介護) <障がい地域支援課・通所支援係>											
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
管理者		渡邊 由佳									
サービス管理責任者		若狭 悠美 渡邊 由佳									
生活相談員	西野 正彦										
理学療法士	長瀬 雅子										
作業療法士	三上 浩志	谷 陽希									
機能訓練指導員	佐久間 健一							上杉 美智子			
医師		及川 雅紀博					小川 利樹				長澤 邦彦
看護師 (准含む)		中川 明日香 五十嵐 さゆり			田中 美津 田中 翔沙都		遠藤 国昭			齊田 幸子 細川 朋子 坂庭 優美 堀 智美 新宮 久恵 山道 祐子	
介護職員											
ケアサポーター	小山 俊之(療→出向)								堀田 俊一 大橋 義明	阿部 千衣子	
調理師(員)	西田 龍彦									藤原 真澄 土田 重子	
事務員										阿部 由美(み出向)	
施設管理員	小山 俊之(療→出向)										
合 計	6	5	0	3	0	0	1	1	2	10	0
【兼務】	5	11	3		0		2		12		0

障がい児通所支援事業所みなみ (児童発達支援・放課後等デイ) <障がい地域支援課・地域支援係>											
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
管理者		小俣 東美									
児童発達支援管理責任者		小俣 東美									
理学療法士									水上 八行		
作業療法士		谷 陽希									
医師		及川 雅紀博									長澤 邦彦
看護師 (准含む)		谷口 朋子(療→出向)								細川 朋子	
保育士		吉井 恵									
介護職員		三宅 康代								山道 祐子 柳引 麗 池田 葉音 岡島 希空 柴田 利那	
ケアサポーター (インターンシップ)											
合 計	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0
【兼務】	7	4	0		0		0		5		0

地域生活交流事業 <障がい地域支援課・地域支援係>											
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
喫茶スタッフ										細川 和子	
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
【兼務】	0		0		0		0		1		0

障がい者生活支援センターみらい (北広島市地域生活支援委託事業) <障がい地域支援課・相談支援係>											
	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
管理者	柏 滋	若狭 悠美 高橋 直子 林 智絵 河西 恵美子 小南 知里 島田 成美 吉井 恵	(地域サポートセンターみなみ施設長)								
相談支援専門員											
生活相談員								吉田 和子			
ピアカウンセラー									高橋 諭	村木 朝子 伊藤 優子 若本 真弓	
合 計	1	6	0	0	0	0	0	1	1	3	0
【兼務】	2	7	0		0		1		4		0

地域サポートセンターみなみ合計人数

	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
合 計	7	15	0	3	0	0	1	2	4	18	0
総合計	22										
	50										

障がい者施設合計人数

	正職員A		正職員B		再雇用職員		嘱託職員		パート職員		その他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
合 計	30	48	2	6	1	4	1	3	3	48	2
総合計	78										
	8										
	5										
	4										
	51										
	2										
	148										

イ. 職員の異動状況

2023年 3月31日現在

区 分	2022. 4. 1付 職員数	2022年度 中途採用	2022年度 退 職	2023. 3. 31 現在数
正職員A	78	2	2	78
正職員B	9	2	3	8
再雇用職員	5	0	0	5
嘱託職員	4	0	0	4
パート職員	57	4	10	51
その他	2	0	0	2
合計	155	8	15	148

ウ. 役付職員の状況

2023年 3月31日現在

北広島リハビリセンター		地域サポートセンターみなみ	
役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
療 護 部 施 設 長	齊 藤 久 男	地域サポートセンターみなみ 施設長	若 狹 聡 美
院 長 (嘱 託 医)	對 馬 伸 泰	通 所 支 援 課 長	渡 邊 由 佳
総 務 課 長	山 本 拓 二	相 談 支 援 係 長	高 橋 直 子
庶 務 係 長	佐 藤 尚 文	相 談 支 援 係 長	柏 滋
給 食 係 長	木 戸 和 美	通 所 支 援 係 主 任	西 野 正 展
給 食 係 主 任	水 留 直 樹	地 域 支 援 係 主 任	小 俣 東 美
経 理 係 長	前 川 忍		
経 理 係 長	清 水 順 子		
入 所 支 援 課 長	新 井 田 渉		
入 所 支 援 係 長	西 尾 恵 史		
入 所 支 援 係 長	佐 藤 宏 美		
入 所 支 援 係 長	落 合 里 沙		
入 所 支 援 係 主 任	高 津 多 美 子		
入 所 支 援 係 主 任	濱 元 さ な え		
入 所 支 援 係 主 任	横 井 圭 司		
入 所 支 援 係 主 任	長 内 隆 二 郎		
通 所 支 援 課 長	谷 口 勝 也		
通 所 支 援 係 主 任	今 綾		

エ. 国家資格取得者

2023年 3月31日現在

	療護部	診療部	のびのびファイ	障がい福祉サービス事業所 みなみ	障がい児通所支援事業所 みなみ	障がい者生活支援センター みらい
社会福祉士	3		1	2		7
精神保健福祉士						3
介護福祉士	34		2	6		1
介護支援専門員	7		1	2		3
理学療法士	2		2	1	1	
作業療法士			1	1		
言語療法士		1				
柔道整復師	1			1		
看護師	6			4		
准看護師	1					
保育士	7		1		2	
管理栄養士	1					
栄養士	2					
調理師	8			1		
認知症介護基礎研修			2			
実務者研修	8		1	2		
ヘルパー 1 級	1				1	
ヘルパー 2 級・初任者研修	13			3	2	3
合計	64	1	8	17	3	14

オ. ①年齢状況 <北広島リハビリセンター>

2023年3月31日現在

<施設長>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0

<介護員・生活相談員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	1
60～69歳	0	0	1	0	2
50～59歳	10	2	0	0	3
40～49歳	4	1	0	0	4
30～39歳	7	0	0	0	4
18～29歳	10	0	0	0	2
合計	31	3	1	0	16

<サービス管理責任者>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	1	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0

<ケアサポーター>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	4
60～69歳	0	0	0	0	2
50～59歳	0	0	0	0	2
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	8

<医師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	1
50～59歳	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	1
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2

<栄養士・調理師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	1	1	1
50～59歳	2	0	0	0	0
40～49歳	1	0	0	0	0
30～39歳	2	0	0	0	0
18～29歳	1	0	0	0	0
合計	6	0	1	1	1

<看護師・看護助手>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	4
60～69歳	0	0	1	0	0
50～59歳	1	0	0	0	0
40～49歳	0	1	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	0	4

<事務員・施設管理>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	1	0	0
50～59歳	3	1	0	0	1
40～49歳	2	0	0	0	0
30～39歳	3	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	8	1	1	0	1

<理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	1	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0
40～49歳	5	0	0	0	0
30～39歳	2	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	7	0	1	0	0

<管理当直>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	3
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3

オ. ②年齢状況 <地域サポートセンターみなみ>

2023年3月31日現在

<施設長>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0

<ケアサポーター>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	2
60～69歳	0	0	0	0	1
50～59歳	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3

<サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	0	0
40～49歳	1	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0

<相談支援専門員・ピアカウンセラー等>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	1
60～69歳	0	0	0	0	2
50～59歳	1	0	0	0	1
40～49歳	3	0	0	0	0
30～39歳	1	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	0	4

<看護師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	1	1
40～49歳	0	0	0	0	1
30～39歳	1	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	2

<栄養士・調理師・喫茶>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	2
50～59歳	0	1	0	0	1
40～49歳	1	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	3

<理学療法士・作業療法士・機能訓練指導員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	1	1
50～59歳	0	0	0	0	0
40～49歳	2	0	0	0	0
30～39歳	1	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	1	1

<事務員・施設管理>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0
50～59歳	1	0	0	0	1
40～49歳	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0
18～29歳	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	1

<介護員・保育士・生活相談員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
70歳以上	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	1	1
50～59歳	3	0	0	0	2
40～49歳	1	1	0	0	0
30～39歳	2	1	0	0	1
18～29歳	1	0	0	0	4
合計	7	2	0	1	8

カ. ①勤続年数 <北広島リハビリセンター>

2023年3月31日現在

<施設長>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	0
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	1	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0

<介護員・生活相談員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	9	1	1	0	5
5年未満	1	0	0	0	0
10年未満	9	2	0	0	6
20年未満	8	0	0	0	5
30年未満	2	0	0	0	0
30年以上	2	0	0	0	0
合計	31	3	1	0	16

<サービス管理責任者>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	0
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	1	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0

<ケアサポーター>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	1
5年未満	0	0	0	0	1
10年未満	0	2	0	0	5
20年未満	0	1	0	0	1
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	0	3	0	0	8

<医師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	2
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2

<栄養士・調理師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	1	0	0	0	0
5年未満	1	0	1	0	0
10年未満	1	0	0	1	0
20年未満	3	0	0	0	1
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	6	0	1	1	1

<看護師・看護助手>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	1	1	1	0	0
5年未満	0	0	0	0	3
10年未満	0	0	0	0	1
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	0	4

<事務員・施設管理>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	1	0	0
5年未満	0	0	0	0	0
10年未満	2	1	0	0	1
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	3	0	0	0	0
30年以上	2	0	0	0	0
合計	8	1	1	0	1

<理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	1	0	0
5年未満	2	0	0	0	0
10年未満	1	0	0	0	0
20年未満	3	0	0	0	0
30年未満	1	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	7	0	1	0	0

<管理当直>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	1
5年未満	0	0	0	0	2
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3

カ. ②勤続年数 <地域サポートセンターみなみ>

2023年3月31日現在

<施設長>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	0
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	1	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0

<ケアサポーター>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	1
10年未満	0	0	0	0	2
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3

<サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	0
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	1	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	0	0

<相談支援専門員・ピアカウンセラー等>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	1	0	0	0	1
5年未満	0	0	0	0	1
10年未満	2	0	0	0	0
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	1	0	0	0	2
30年以上	0	0	0	0	0
合計	5	0	0	0	4

<看護師>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	2	0	0	1	0
5年未満	0	0	0	0	2
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	2

<栄養士・調理師・喫茶>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	1
10年未満	0	1	0	0	2
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	0	3

<理学療法士・作業療法士・機能訓練指導員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	1	0	0	0	0
10年未満	1	0	0	1	1
20年未満	1	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	3	0	0	1	1

<事務員・施設管理>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	0	0	0	0	0
5年未満	0	0	0	0	1
10年未満	0	0	0	0	0
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	0	0	0	0	0
30年以上	1	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	1

<介護員・保育士・生活相談員>

年代	正職A	正職B	再雇用	嘱託	パート・その他
3年未満	2	2	0	0	6
5年未満	2	0	0	1	1
10年未満	2	0	0	0	1
20年未満	0	0	0	0	0
30年未満	1	0	0	0	0
30年以上	0	0	0	0	0
合計	7	2	0	1	8

キ. ①居住地 <北広島リハビリセンター>

居住地	正職員 A	正職員 B	再雇用	嘱託職員	パート職員・その他
北広島市	16	5	3	1	28
札幌市	20	0	1	0	5
恵庭市	8	0	0	0	0
江別市	7	0	0	0	1
千歳市	2	0	0	0	1
その他	3	0	1	0	0
合計	56	5	5	1	35

キ. ②居住地 <地域サポートセンターみなみ>

居住地	正職員 A	正職員 B	再雇用	嘱託職員	パート職員・その他
北広島市	7	2	0	3	13
札幌市	12	1	0	0	6
恵庭市	0	0	0	0	1
江別市	2	0	0	0	1
千歳市	1	0	0		1
その他	0	0	0	0	0
合計	22	3	0	3	22

1. 運営管理

(2) 職員研修実施状況

ア. ① 各種研修会参加の状況 (道内)

2022年度

年 月 日	開 催 地	研 修 会 名 称	参 加 人 数 ・ 氏 名
2022 4/22	オンライン	令和4年度サビ管・児発管研修等ファシリテーター研修	林
6/27	札幌市	安全運転管理者・副安全管理者講習	西野
6/28	オンライン	北広島市自立支援協議会	石川
7/5	通所介護事業所 かたる	共生型通所介護 業務提携 (研修)	
9/9	北広島市	地域における居住支援体制を築き・支援者の輪を広げるセミナー	島田
10/3	オンライン	北広島市自立支援協議会	石川
10/15	通所介護事業 所	共生型通所介護 業務提携 (研修)	
10/18	オンライン	障がい者虐待防止研修会	茂原・三次
10/21	オンライン	次世代につなぐ重たい経営戦略	石川、吉井、三次
11/1~22	録画配信	令和4年度身体障害者福祉施設職員研修会	全職員対象
11/1~30	オンライン	摂食嚥下リハビリテーション分野「初心者研修eラーニング」	木戸
11/26	オンライン	障がい者虐待防止研修会	河西
2021 11/25~26	オンライン	令和4年度相談支援従事者研修 (現任研修) 中期	小南
12/17	オンライン	病気や障がいのあるこどものきょうだい支援	石川、吉井、三次
12/19~20	オンライン	令和4年度相談支援従事者研修 (現任研修) 中期	島田
1/15	オンライン	職員がエンパワーされる職場作り	石川、吉井、三次
1/19~20	東京都	地域生活支援推進研究会	河西
1/19~20	オンライン	2022年度北海道児童発達支援管理責任者実践研修	石川
1/25	オンライン	LIFE関連加算研修	三上
2023 1/25~2/21	録画配信	令和4年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	米田
1/27~2/28	オンデマンド配信	令和4年度障がい者虐待防止マネージャー研修会	新井田・西尾・渡邊
1/29	オンライン	療育・発達支援のポイント	石川、吉井、三次
1/31	オンライン	令和4年度相談支援従事者研修 (現任研修) 後期	小南
2/4	オンライン	在宅酸素療法とモニタリング	石川、吉井、三次
2/4	オンライン	共に学び、生きる共生社会コンファレンス	若狭、島田
2/18	オンライン	グリーフケアとスピリチュアルケア	石川、吉井、三次
3/1	オンライン	令和4年度相談支援従事者研修 (現任研修) 後期	島田
3/6	オンライン	「いけプロ」SNS編	石川
3/7~31	オンデマンド配信	全国身障協「第35回経営セミナー」	障がい者施設役職者
3/11	オンライン	小児患者に対する呼吸理学療法	石川
3/17	オンライン	道央地区緩和ケアネットワーク研究会	河西
3/23	オンライン	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	高橋
延べ44名 一部全職員対象オンデマンド研修あり			

ア. ② 各種研修会参加の状況 (道外)

2022年度

年 月 日	開 催 地	研 修 会 名 称	参 加 人 数 ・ 氏 名
2022 11/21~22	東京都	全国身障協第10回職員スキルアップ研修会	齊藤

イ. 施設内研修実施状況 (課内研修)

2022年度

担 当	実 施 日	研 修 内 容	参 加 人 数
入所支援課	2022. 5. 20	業務打ち合わせ(相談)	4 名
	2022. 6. 6	ケース検討(相談)	4 名
	2022. 6. 8	ケース検討 (相談)	4 名
	2022. 6. 17	蜂窩織炎について(看護)	4 名
	2022. 6. 22	腰痛予防のために(訓練)	4 名
	2022. 7. 8	カテーテル処方対応について(相談)	4 名
	2022. 7. 19	膀胱炎について(看護)	5 名
	2022. 8. 3	スキルス胃癌(看護)	5 名
	2022. 8. 10	行事対応について(相談)	4 名
	2022. 8. 30	新型コロナウイルス感染対策について(相談)	4 名
	2022. 9. 13	骨粗鬆症について(看護)	4 名
	2022.10. 3	新規受入れ対策について(相談)	4 名
	2022.10. 7	業務打ち合わせ(相談)	4 名
	2022.10. 17	褥瘡について(看護)	4 名
	2022.11.16	ケアガイドラインと具体的な支援場面について (食事)	3 名
	2022.11.30	毛嚢炎について(看護)	5 名
	2022.12.14	カスタマーハラスメントについて(訓練)	4 名
	2022.12.20	白癬について(看護)	6 名
	2023. 1. 6	心因性疼痛(看護)	6 名
	2022. 2. 15	湿疹・痒み・痛みについて(看護)	4 名
	2023. 3. 7	新規受入れ対策・外出、外泊、面会などについて(相談)	4 名
	2023. 3. 15	ケア会議実施日程調整(相談)	5 名
	2023. 3. 20	下剤、排便について(看護)	6 名
障がい地域支援課	2022. 4. 8	ケース会議(全員のケア、ポジショニングの確認)4～7各月1回	15 名
	2022. 7. 8	外出レク時のケアについて	5 名
	2022. 9. 21	ケア方法研修	12 名
	2022. 9. 26	ケア方法研修	12 名
	2023. 3. 8	ケース会議(全員のケア、ポジショニングの確認)	5 名
通所支援課	2022. 8. 24	認知症基礎研修	6 名
	2022.10.17	基本理念・倫理綱領研修	6 名
	2022.12.16	ケアによる権利擁護	8 名
職員研修会		【 職員研修会 】	
	2023. 3. 29	1. 次年度事業計画	37 名
		①北海長正会法人本部	
		②北広島リハビリセンター拠点・診療部	
		③北広島リハビリセンター療護部	
		④のびのびファイン	
		⑤地域サポートセンターみなみ拠点 障がい者生活支援センター みらい	
		⑥障がい福祉サービス事業所 みなみ	
施設職員研修会		虐待防止研修会	
	2022.11.1 ～12.9	身障協ケアガイドライン解説動画視聴研修 施設内のクラスター発生に伴い集合研修およびグループワークは中止 ①「ケアガイドラインの意義と基本的視点、個別支援の実現とサービス提供体制」 ②「食事」「入浴」「排泄」 「権利擁護・差別解消・虐待防止」 ③	74 名

(3) ボランティア受け入れ状況 (ボランティア数)

2022年度

リハビリセンター	種 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
全体レク	夏 祭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	盆 踊 り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年忘れ会食会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	繕い物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車椅子清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2022年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため外部ボランティアの受け入れを行いませんでした。

地域サポートセンターみなみ	種 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計
全体レク	運 動 会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏 祭 り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年忘れ会食会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2022年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため外部ボランティアの受け入れを行いませんでした。

(4) 面会者状況 (北広島リハビリセンター)

2022年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	82	53	47	32	52	22	64	49	59	42	47	55	604
1 日 平 均	2.7	1.7	1.6	1.0	1.7	0.7	2.1	1.6	1.9	1.4	1.7	1.8	8.3

(5) 施設見学等受け入れ状況

2022年度

北広島リハビリセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見 学 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域サポートセンターみなみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見 学 者 数	4	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17

※2022年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため団体の受け入れを行っておりません。

(6) 実習生(研修生)受け入れ状況

2022年度

学 校 名	期 間	人 数	配 置 部 署
鹿 光 学 習 セ ン タ ー	2022 5/18	1	入 所 支 援 課
鹿 光 学 習 セ ン タ ー	2023 2/8	1	入 所 支 援 課
鹿光学習センター(介護実務者)	2022 5/1 ~ 5/20	2	障 が い 地 域 支 援 課
星槎道都大学(社会福祉士)	5/23 ~ 6/24	1	障 が い 地 域 支 援 課
藤女子大学(社会福祉士)	5/30 ~ 6/27	2	障 が い 地 域 支 援 課
星槎道都大学(社会福祉士)	7/11 ~ 8/12	1	障 が い 地 域 支 援 課
星槎道都大学(保育士)	8/1 ~ 8/16	1	障 が い 地 域 支 援 課
鹿光学習センター(介護実務者)	8/31 ~ 9/6	5	障 が い 地 域 支 援 課
藤女子大学(社会福祉士)	9/1 ~ 9/2	2	障 が い 地 域 支 援 課
大原学園(社会福祉士)	9/26 ~ 2023 1/24	1	障 が い 地 域 支 援 課
藤女子大学(社会福祉士)	10/1 ~ 10/31	2	障 が い 地 域 支 援 課
鹿光学習センター(介護実務者)	11/28 ~ 11/30	3	障 が い 地 域 支 援 課
星槎道都大学(保育士)	2023 1/16 ~ 1/24	1	障 が い 地 域 支 援 課
計		23	

(7) 2022年度施設行事等実施状況

月	日	曜日	行事名	参加人数
				利用者
5	17	火	お花見週間（みなみ）	40
	18	水	お花見（センター）	60
6	8	水	センター防火総合訓練	
	8	水	みなみ防火総合訓練	
6	27	月	運動会週間（みなみ）	140
7	11	月	ジンギスカン（みなみ）	80
8	3	水	夏祭り（センター）	75
8	25	木	縁日（みなみ）	30
9	1	木	収穫祭（みなみ）	5
	26	月	紅葉見学（みなみ）	40
10	12	水	みなみ防火総合訓練	45
	19	水	ハロウィン（センター）	45
11	9	水	センター防火総合訓練	
12	17	土	クリスマス会食会（みなみ）	30
	21	水	年忘れ会食会（センター）	75
1	18	水	お祝い御膳（みなみ）	30
2	3	金	豆まき（みなみ）	30
	15	水	バレンタインデー（センター）	60
3	3	金	ひなまつり（みなみ）	30

2-1 利用者支援状況

【療護部】

(1) 定員

2023年3月31日現在

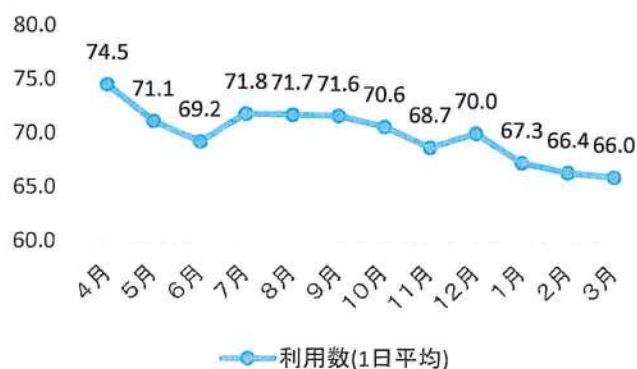
	生活介護	入所支援
定員	80	80

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

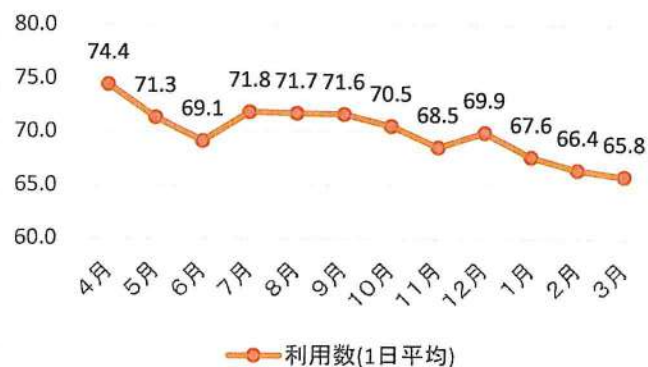
2022年度

月	生活介護（定員80名）		入所支援（定員80名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	74.5	22	74.4	30
5月	71.1	23	71.3	31
6月	69.2	22	69.1	30
7月	71.8	23	71.8	31
8月	71.7	23	71.7	31
9月	71.6	22	71.6	30
10月	70.6	23	70.5	31
11月	68.7	22	68.5	30
12月	70.0	23	69.9	31
1月	67.3	23	67.6	31
2月	66.4	20	66.4	28
3月	66.0	23	65.8	31
平均	69.9	22.4	69.9	30.4

生活介護利用状況



入所支援利用状況



*利用状況においては、長期的に治療を要するお客様の退所や入院者数の増加および入院期間の延長により、利用者数は第4四半期の1月以降は特に減少を認めた。また、介護職員の人材不足により、新規入所相談はあるものの受け入れが停滞した。

日中活動・施設入所支援状況年間比較

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
生活介護	69.9			
施設入所支援	69.9			

*定員80名に対して今年度利用者数平均は69.9名であり、稼働率は87.3%であった。上記同様に今年度は、介護職員確保が困難のため、新規利用相談はあったものの利用に繋がらなかった。

(3) 入 所 経 路 【施設入所支援対象者】

【療護部】

2022年度

	在宅より	病院より	他施設より	合 計
施設入所支援	0	1	0	1

*上記同様に。今年度、新型コロナウイルスの感染拡大と施設体制(職員不足)が整わず、新規受入れが停滞した。入所された1名は一度長期療養目的で退所されたが、後に治療の必要性低くなり再入所となった。

(4) 退 所 理 由 【施設入所支援対象者】

2022年度

	施設移行				在宅	医療機関	死亡退所	合 計
	授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施設入所支援	0	0	0	0	0	6	2	8

*肺炎や脳血管疾患の再発等により長期的な治療を要し退所。また、その入院中に全身状態不良となり死亡退所となった。

(5)-1 性別年齢別状況

2023年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					生活介護	施設入所
男 性	生活介護	48歳 1ヶ月	84歳 0ヶ月	64歳 9ヶ月	64歳 7ヶ月	64歳6ヶ月
	施設入所	48歳 1ヶ月	84歳 0ヶ月	64歳 7ヶ月		
女 性	生活介護	28歳 4ヶ月	82歳 9ヶ月	64歳 4ヶ月		
	施設入所	28歳 4ヶ月	82歳 9ヶ月	64歳 4ヶ月		

*今年度の性別年齢別状況として、昨年度と比較し男女ともに平均年齢が増加した。

(5)-2 性別年齢別状況

2023年3月31日現在

年齢範囲 (歳)		18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合 計
		ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男 性	生活介護	0	0	0	0	0	1	6	9	8	9	10	3	2	48
	施設入所	0	0	0	0	0	1	6	9	8	9	9	3	2	47
女 性	生活介護	0	1	0	0	1	0	1	4	4	4	6	2	1	24
	施設入所	0	1	0	0	1	0	1	4	4	4	6	2	1	24
合 計	生活介護	0	1	0	0	1	1	7	13	12	13	16	5	3	72
	施設入所	0	1	0	0	1	1	7	13	12	13	15	5	3	71

*今年度も昨年度同様に50代後半から70代前半が大半を占めている。

(6)-1 性別在所期間別状況

2023年3月31日現在

	最低在所	最高在所	平均在所	男女平均在所期間
男性	1年 3ヶ月	43年 3ヶ月	11年 0ヶ月	11年 8ヶ月
女性	1年 8ヶ月	35年11ヶ月	12年 8ヶ月	

0ヶ月・・・2022年3月入所

*平均在所が男女で10年以上であり、男性の最高所在では43年以上となっている。

(6)-2 性別在所期間別状況

【療護部】

2023年3月31日現在

期間範囲(年)	0 }	0.5 }	1 }	3 }	5 }	10 }	15 }	20 }	30 }	合計
	0.5 年未満	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	20 年未満	30 年未満		
男 性	0	0	14	6	7	9	4	1	6	47
女 性	0	0	7	0	5	4	2	4	2	24
合計	0	0	21	6	12	13	6	5	8	71

*性別在所期間別状況は10年未満が70%以上を占めている。

(7) 障害状況

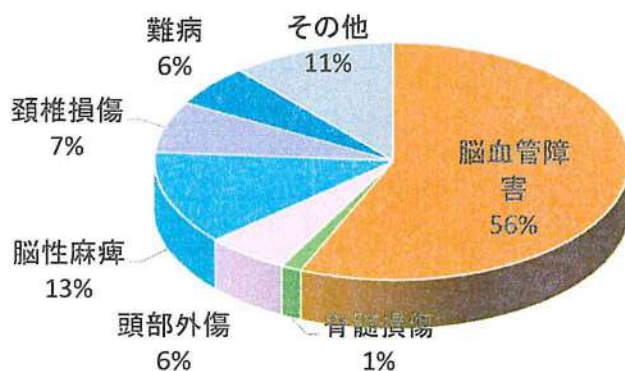
2023年3月31日現在

		脳血管障害	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男 性	生活介護	29	0	3	4	5	2	5	48
	施設入所	28	0	3	4	5	2	5	47
女 性	生活介護	12	1	1	5	0	2	3	24
	施設入所	12	1	1	5	0	2	3	24
合 計	生活介護	41	1	4	9	5	4	8	72
	施設入所	40	1	4	9	5	4	8	71

難病内訳 : 進行性筋ジストロフィー症 1名 : 脊髄小脳変性症 1名
 : 遠位型ミオパチー 1名 : もやもや病 1名

*脳血管障害による運動麻痺を呈したお客様が半数以上(56%)を占めている。

障害状況(施設入所 合計)



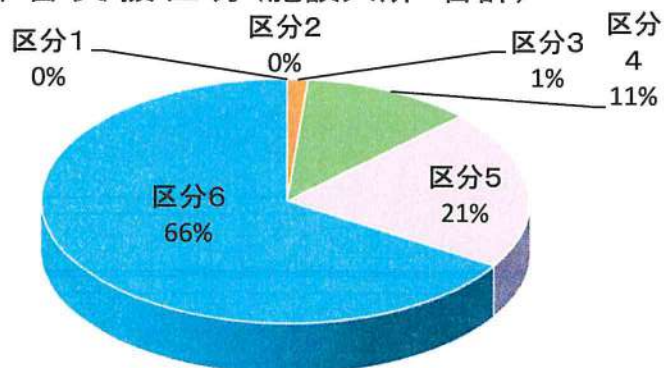
(8) 障害支援区分

【療護部】

2023年3月31日現在

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男 性	生活介護	0	0	1	6	10	31	5.5
	施設入所	0	0	1	5	10	31	5.5
女 性	生活介護	0	0	0	3	5	16	5.6
	施設入所	0	0	0	3	5	16	5.6
合 計	生活介護	0	0	1	9	15	47	5.5
	施設入所	0	0	1	8	15	47	5.5

障害支援区分(施設入所 合計)



*今年度の平均区分は5.5であり、区分5以上が85%以上を占めている。昨年度は区分5.4であり、重度化が示唆される。

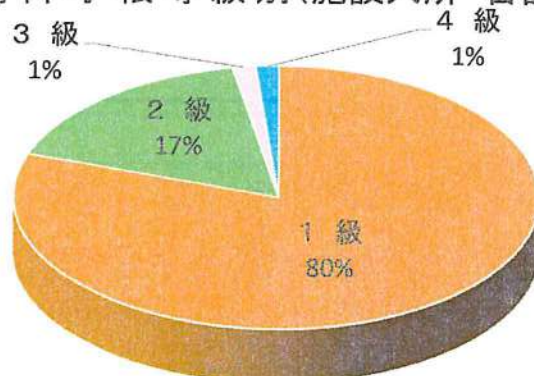
(9) 身障手帳等級別

2023年3月31日現在

	1 級	2 級	3 級	4 級
男性	35	10	1	1
女性	22	2	0	0
合計	57	12	1	1

※生活介護 男性1名 1級

身障手帳等級別(施設入所 合計)



*前年度同様に今年度も1級が大半を占めている(80%以上)。

【療護部】

(10) 出身地域別(施設入所)

2023年3月31日現在

道 央	札幌市	東 区	4	道 南	後 志 総 合 振 興 局	3
		西 区	4		渡 島 総 合 振 興 局	1
		南 区	3		檜 山 振 興 局	0
		北 区	3		胆 振 振 興 局	3
		中 央 区	1		日 高 振 興 局	0
		厚 別 区	5	道 東	十 勝 総 合 振 興 局	0
		白 石 区	5		釧 路 総 合 振 興 局	1
		手 稲 区	5		根 室 振 興 局	0
		清 田 区	5		オホーツク総合振興局	1
		豊 平 区	3		上 川 総 合 振 興 局	1
	石 狩 振興局	北 広 島 市	12	道 北	宗 谷 総 合 振 興 局	1
		江 別 市	0		留 萌 振 興 局	0
		千 歳 市	2	そ の 他 の 地 域		0
		恵 庭 市	5	合 計		71
		石 狩 市	1	* 札幌市と石狩振興局等の道央エリアで80%を占め、その他全道各地からご利用いただいている。		
		当 別 町	0			
		新 篠 津 村	0			
	空 知 総 合 振 興 局		2			

(11) 身 体 お よ び 認 知 状 況 (施設入所支援)

2022年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
区分	人数	自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
区分1	0											
区分2	0											
区分3	1			1				1				
区分4	8			8				3	1	2		2
区分5	15			11	4			2		9		4
区分6	47			11	16	20		5	5	20	10	6
合計	71			31	20	20		11	6	31	11	12
%	100			44	28	28		15	9	44	15	17
合計	71			71				71				

*前年度と比較し、障害による自立度の低下は認められないが、認知機能低下が数名認められる。今後の日中活動において認知機能の低下予防、レクリエーション活動に力を注ぎ、精神活動の賦活を図ることが求められる。

<参考>

障 害 自 立 度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認 知 症 自 立 度	I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

【療護部】

(12) 医療的ケア(実人数、複数回答)

2022年3月31日現在

ケ ア 内 容		経管栄養	喀痰吸引	間歇的導尿	ストーマ処置	カテーテル	排便・浣腸	褥瘡	疼痛の管理	皮下注射	血糖測定
人 数	生活介護	9	3	2	5	6	10	2	2	3	2
	施設入所	9	3	2	5	6	10	2	2	3	2

*前年度と比較し、各種医療的ケアにおける実人数の変化は認めないが、今後は高齢化より食欲不振に伴う栄養状態の悪化や痩せ（皮膚のたわみも含む）、また認知機能低下による同一姿勢時間の延長により、圧迫・剪断力・湿潤を回避できず褥瘡予備軍が増える可能性が考えられる。

2-2 短期入所利用者支援状況 【ショートステイ】

2022年度

月	障 害 支 援 区 分						延利用日数	実利用者数
	1	2	3	4	5	6		
4	0	0	0	29	8	17	54	1.8
5	0	0	0	30	6	17	53	1.7
6	0	0	0	31	12	18	61	2.0
7	0	0	0	27	10	18	55	1.8
8	0	0	0	27	6	17	50	1.6
9	0	0	0	24	4	6	34	1.1
10	0	0	0	19	8	11	38	1.2
11	0	0	0	26	7	17	50	1.7
12	0	0	0	24	7	15	46	1.5
1	0	0	0	26	10	17	53	1.7
2	0	0	0	24	8	10	42	1.5
3	0	0	0	26	12	20	62	2.0
計	0	0	0	284	97	180	598	1.6

* 8月末から9月中旬にかけて当施設内における新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ショートステイのご利用を制限させていただいていた。そのため9月と10月は延利用者数と一日平均は減少している。

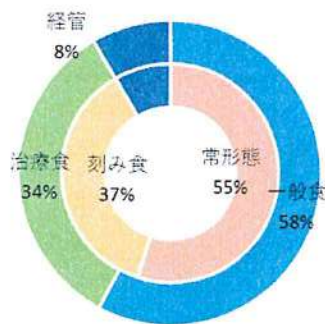
短期入所支援状況年間比較

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
施設入所支援(延利用日数)	598			
施設入所支援(実利用者数)	1.6			

*次年度から年度ごとの推移比較予定。

2-3 食事量形態状況

(1)食種・形態



在籍 71 人		
食種	一般食	41 人
	治療食 糖尿病 肝臓病 等	24 人
	経管	6 人
形態	常形態	39 人
	刻み食 刻み・ペースト食等	26 人
	経管	6 人

(2)食事摂取基準

一般食

エネルギー	1650	kcal
たんぱく質	62～83	g
脂質	37～55	g
炭水化物	206～268	g

(3)イベント食

行事食 / 食べ物記念日			
4 月	27 日	セレクトメニュー	9 月 15 日 ひじきの日
	20 日	発芽野菜の日	10 月 25 日 世界パスタデー
5 月	17 日	世界高血圧デー	10 月 31 日 スウィーツデー ハロウィン
	18 日	スウィーツデー お花見	11 月 12 日 菰の日
	23 日	春の味覚弁当	12 月 21 日 会食会
6 月	1 日	開所記念日	12 月 22 日 冬至
	29 日	パフェの日	1 月 20 日 血栓予防の日
7 月	13 日	ジンギスカン	2 月 8 日 寄せ鍋
	28 日	世界肝炎デー	2 月 16 日 寒天の日
8 月	3 日	夏祭り	3 月 14 日 スウィーツデー ホワイトデー
	3 日	八丁味噌の日	3 月 31 日 山菜の日
他 季節行時 : 土用の丑・敬老の日・クリスマス・お正月・七草・節分・ひな祭り 等			

(4)週間予定献立表-抜粋

	11/6(日)	11/7(月)	11/8(火)	11/9(水)	11/10(木)	11/11(金)	11/12(土)	
朝食	ご飯 味噌汁(なす) 菜わかめの佃煮 大根甘酢 うり漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(もやし) 白菜ピーナッツ和え すき焼風味 豚漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(ほうれん草) 細切り昆布の炒め煮 たら筆造り たいみそ 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(南瓜) 鮎豆 味のり 胡瓜塩漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁(豆腐・葱) 大根の金平 じゃこ佃煮 山海漬 牛乳 or ヤクルト	ご飯 味噌汁 (えのき・にら) わらびの炒め煮 身欠昆布 大根味噌漬 牛乳 or ヤクルト	[A] あんぱん バターロール 白玉焼 ツナの和え物 コービー(手づくり) 牛乳 or ヤクルト	[B] ご飯 味噌汁 白玉焼 ツナの和え物 漬物 牛乳 or ヤクルト
昼食	お入居後は毎週月曜に「お入居」の献立を公開する「お入居」の献立を公開しています。毎週月曜に「お入居」の献立を公開しています。毎週月曜に「お入居」の献立を公開しています。				[A] イチゴジャムパン ライ麦パン コンソメスープ ビーフシチュー 海藻サラダ	ご飯 味噌汁(小松菜) 鮭のマヨネーズ焼き エリンギの金平 コールスローサラダ	ご飯 味噌汁(じゃが芋) えび団子 レバニラ炒め いんげんと白米のナムル	
	ご飯 味噌汁(モロヘイヤ) 豚ジンギスカン 鶏とツカメの煮物 豆腐の塩昆布和え	えびカツ丼 味噌汁 (ふのり・大根) 鶏とツカメの煮物 長芋のおかかサラダ	ご飯 三平汁 味噌おでん 薩摩豆腐 胡瓜の甘酢生薬和え	ご飯 もやしのスープ 豚汁 えびしゅうまい レタスのサラダ	[B] ご飯 コンソメスープ ビーフシチュー やまうど金平 海藻サラダ	お入居後は毎週月曜に「お入居」の献立を公開する「お入居」の献立を公開しています。毎週月曜に「お入居」の献立を公開しています。毎週月曜に「お入居」の献立を公開しています。		
デザート	キウイフルーツ	りんご	パイナップル	牛乳寒(みかん)	梨	オレンジ	柿	
夕食	ご飯 味噌汁(薩摩芋) たらふくニエール カレー風味ソース 冬瓜のそぼろ煮 ほうれん草の 胡麻マヨ和え	ご飯 味噌汁(キャベツ) そいの南部焼き ふきの油炒め トマトサラダ しらすのせ	ご飯 味噌汁(菜花) 白菜とひき肉の 重ね煮 里芋しら煮 ひじきとごぼうの しそマヨ風味	ご飯 味噌汁(白菜) すり身揚 蕪の煮物 なめたけおろし	ご飯 味噌汁(里芋・葱) カレーの野菜あんかけ 豆豉炒め かぶのわさび酢和え	ご飯 味噌汁 (切干大根・貝割) 豚肉ソテー おろし添え 卵の袋煮 人参のサラダ	ご飯 お吸いもの 魚の西京漬焼 白菜の煮物 こんにやくとセロリの和え物	

2-4 院外受診状況表

(療 護 部)

院外受診件数

月	2022年度												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
計	39	24	22	30	25	26	36	20	19	23	23	22	309
職員付き添い数	31	19	19	28	21	18	33	17	16	23	18	19	262

*加齢による眼症状や転倒による事故などでの新規受診がみられた。また1人で複数の病院を受診される方も増えてきている。

救急搬送件数

月	2022年度												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
計	1	2	2	0	2	1	3	0	0	2	0	1	14

*救急搬送先科目と原因疾患において、呼吸器科 6名（肺炎4名うち誤嚥性肺炎1名、喘息1名）、泌尿器科3名、整形外科1名（骨折）、脳神経外科3名（脳出血、てんかん発作等）、内科1名（蜂窩織炎）であった。

【行事写真】

お花見



ジンギスカンパーティー



夏祭り①



夏祭り②



ハロウィン



年忘れ会食会



3. 診 療 状 況

【診療部】

外 来 患 者 月 別 実 績 表

2022年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年度1日平均
診 療 日 数	9	8	8	9	9	9	8	9	8	8	6	7	98	77.2
延 患 者 数	686	635	597	672	638	646	667	657	660	609	496	605	7,568	
月 1 日 平 均	76.2	79.4	74.6	74.7	70.9	71.8	83.4	73.0	82.5	76.1	82.7	86.4		

- ・患者数の減少（6、1、3月）職員 1ヶ月平均14名のところ3～4名減。療護部利用者様(年間) 入院1～4名。
- ・コロナ感染のため訓練中止（8月30日～9月16日）
- ・Dr. 不在のため休診あり。（2月）

物 理 療 法（消炎鎮痛）実 施 状 況

2022年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実 施 数	9	8	8	9	7	4	8	9	8	8	6	7	91	23.7
延 人 数	220	199	193	208	147	87	201	197	199	210	125	174	2,160	

*8月下旬に新型コロナウイルス感染拡大防止及び9月にクラスター発生によりお客様の行動制限のため物理療法の実施数が減少。昨年度と比べて1日平均4人程度減少。

言 語 療 法 実 施 状 況

2022年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実 施 数	3.5	3.5	3.5	4	2.5	1.5	3.5	4	3.5	3.5	2.5	3	39	13.9
延 人 数	50	49	51	55	34	18	48	54	50	49	37	40	535	

*物理療法同様に8月下旬～9月感染拡大防止及びクラスター発生によりお客様の行動制限のため言語療法の実施数が減少。昨年度と比べて実人数は著変なし。

4. のびのびファイン

(1) 事業紹介

事業所名	対象者	特 徴
地域密着型通所介護 のびのびファイン	介護1～5	リハビリを通して自宅でその人らしい生活を継続できるよう支援します
介護予防通所介護相当サービス のびのびファイン	要支援1・2 事業対象者	お身体に合ったリハビリや運動を提供し、機能向上・維持を目的としたサービスです。
通所サービスC のびのびファイン	要支援1・2 事業対象者	生活動作を中心にリハビリを行う6ヶ月間（全24回）の短期集中型リハビリです。

(2) 活動内容

のびのびファイン(地域密着型通所介護＋介護予防通所介護相当サービス)

定員:午前18名 午後18名

【スケジュール】

午前	午後	内 容
9:00	13:00	お迎え
9:25	13:30	サービス利用開始 血圧測定・体調確認
9:40	13:40	準備体操・口腔体操
9:50	13:50	個別リハビリ マシントレーニング レクリエーション他
12:10	16:10	整理体操
12:30	16:35	サービス利用終了・お送り

(3) 事業実績

1) 地域密着型通所介護

I) 利用状況（定員数：36名/日※介護要望通所介護相当サービスを含む）（2023年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	7.7	7.1	6.9	5.9	5.6	5.3	6	6.2	5.2	5.9	6.2	6.9
実利用者	21	23	24	23	23	22	22	21	20	21	21	25
延利用者	138	125	136	136	124	59	121	124	111	100	105	135
登録者	24	24	25	25	25	26	23	22	22	21	22	25

(単位：人)



- ・介護予防通所介護相当サービスと一体型運営しており登録者数は、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・9月は施設内でコロナ感染症が発生し1週間程事業を休止した為利用者数が減少しました。

Ⅱ) 利用者構成

性別	要介護区分					計
	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	
男性	6	6	2	1	0	15
女性	8	2	0	0	0	10
計	14	8	2	1	0	25

(単位：人)

要介護区分



Ⅲ) 地域別利用状況

地区	東部地区	西の里地区	大曲地区	西部地区	北広島団地地区	計
人数	7	1	3	1	13	25

(単位：人)

地域別利用状況



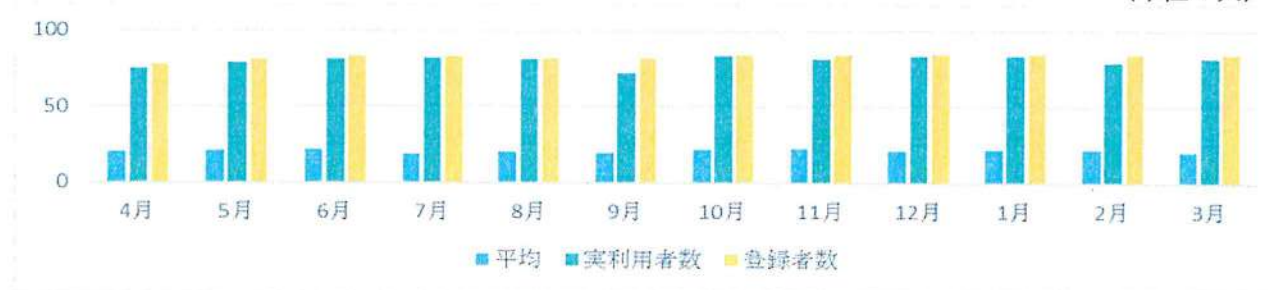
- ・北広島団地地区のお客様が半数以上を占めており地域に根差したサービスを提供しています。

2) 介護予防通所介護相当サービス

Ⅰ) 利用状況 (定員数：36名/日 ※地域密着型通所介護を含む) (2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	20.1	21	21.4	18.5	20.3	19.1	22	22.1	20.5	21.8	21.8	20.1
実利用者	75	79	84	82	81	72	83	81	83	83	79	82
延利用者	337	336	364	316	325	153	349	355	350	327	327	342
登録者	78	81	83	83	82	82	84	84	85	85	85	85

(単位：人)



- ・地域密着型通所介護同様に9月は利用者数が減少しています。北広島団地地区を中心に登録者数は増加傾向です。

Ⅱ) 利用者構成

性別	要支援区分			計
	事業対象者	要支援 1	要支援 2	
男性	3	10	7	20
女性	10	34	21	65
計	13	44	28	85

(単位：人)

要支援区分



- ・区分変更により要介護への移行や回数の増回が多く見られました。

Ⅲ) 地域別利用状況

地区	東部地区	西の里地区	大曲地区	西部地区	北広島団地地区	計
人数	15	16	4	9	41	85

(単位：人)

地域別利用状況



- ・北広島団地地区のお客様が半数以上を占めており地域に根差したサービスを提供しています。

3) 総合事業通所型サービスC

I) 利用状況 (開催日: 1回/週 定員数: 3名)

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日平均	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	1	1
延利用者	7	6	7	6	8	3	4	8	7	4	3	5
登録者	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	1	1

(単位: 人)

・短期集中型(6ヶ月間)の事業ですが、長期的な利用を希望する利用者が多く、登録者数の増加には至りませんでした。

(4) 活動の様子



・個別リハビリや集団体操、レクリエーション活動を楽しんで頂いています。

5-1 利 用 者 支 援 状 況

【障がい福祉サービス】

(1) 定 員 (及び登録者数)

2023年3月31日現在

	機能訓練 () 内は登録数	生活介護 () 内は登録数	共 生 通 所
定 員	6 (1)	34 (67)	(14)

※一年間を通して在籍者数に大きな変動はなく、介護保険対象となり生活介護が終了となっても共生通所に移行し継続利用ケースが多い。機能訓練の利用希望は減少傾向、共生通所の登録者数が増加傾向にある。生活介護と共生通所の

(2) 利用実績状況

月	機能訓練 (定員6名)	生活介護 (定員34名)	共生通所	日中活動合計 (定員40名)	
	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実利用数(1日平均)	実支援日数
4 月	0.8	24.5	2.2	27.5	23
5 月	0.6	21.7	1.9	24.2	23
6 月	0.9	23.6	1.8	26.3	24
7 月	0.8	23.8	1.7	26.3	23
8 月	0.8	22.0	1.9	24.9	24
9 月	0.8	21.3	2.1	24.2	23
10 月	1.0	20.0	1.9	22.9	23
11 月	0.3	21.0	2.4	23.7	23
12 月	0.4	19.0	2.0	21.4	24
1 月	0.3	24.8	3.3	24.0	23
2 月	0.3	23.2	3.3	26.6	21
3 月	0.3	21.0	2.7	24.0	24
平 均	0.6	22.2	2.3	24.7	23.2

※コロナ感染症の影響を受け、年間を通し利用自粛をされる方が多く実利用者数は減少傾向となった。
年明けより感染者数も減少傾向となったことも受け、利用再開となる方も多く実利用者数は増加傾向となっている。

(3) -1 性 別 年 齢 別 状 況

		最 低 年 齢	最 高 年 齢	平 均 年 齢	男女平均年齢
男 性	機 能 訓 練	65.11	65.11	65.11	65.11
	生 活 介 護	19.8	84.9	51.5	50.8
	共 生 通 所	63.7	76.2	68.18	68.61
女 性	機 能 訓 練	-	-	-	
	生 活 介 護	18.7	80.1	49.9	
	共 生 通 所	67.4	85.1	69.22	

※18歳から85歳（共生型）まで幅広い年齢層の利用がある。

(3) -2 性 別 年 齢 別 状 況

年 齢 範 囲 (歳)		15 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～ 64	65 ～ 69	70 ～ 74	75 ～ 79	80 ～ 84	合 計
男 性	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	生 活 介 護	4	1	1	3	2	5	4	6	1	1	3	3	1	35
	共 生 通 所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	1	0	8
女 性	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生 活 介 護	3	2	2	4	2	5	1	2	3	3	1	1	3	32
	共 生 通 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	6
合 計	機 能 訓 練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	生 活 介 護	3	2	2	4	2	5	1	2	4	7	3	2	3	67
	共 生 通 所	4	0	4	0	3	4	6	4	2	1	3	4	1	14

※共生通所の在籍者は増加しているが、若年層の利用も増加傾向にあり前年度と比較し平均年齢に大きな変化はない
18歳から85歳まで幅広い年齢層からの利用がある。

(4) 障 害 状 況

2023年3月31日現在

	脳血管障害	脳性麻痺	脊髄損傷	頭部外傷	精 神	難 病	その他	手帳なし	合 計
機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	0	1
生活介護	16	13	7	3	1	10	13	3	66
共生通所	10	1	0	0	3	1	1	0	16

※重複での障がいあり

難 病 内 訳：遠位型ミオパチー

多 発 性 硬 化 症

筋緊張性ジストロフィー

CFC症候群

球脊髄性筋委縮症

先天性無痛症 等

※難病の方や身体障害者手帳の保有なく、精神疾患、知的障害の利用者様が増加傾向にあり、多様な障害状況となっ

(5) 障 害 支 援 区 分 ・ 要 介 護 度

	非 該 当	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均 区 分
機能訓練	1	0	0	0	0	0	0	
生活介護		0	1	16	13	9	28	4.8
合 計	1	0	1	16	13	9	28	4.8

※ 機能訓練については障害区分認定が無いため、一次判定（コンピューター判定）結果を記載

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
共生通所	4	4	4	2	0	2.3

※昨年度よりも平均区分は高くなっており、重度心身障害者の新規利用者の増加や区分変更による重度化が見られて

(6) 出 身 地 域 別

	北広島市	恵庭市	札幌市	江別市	その他市町村	
合 計	50	11	13	2	6	82

※約40%の利用者様が、市外からの利用となっており、広範囲に送迎を行っている。

(7)身 体 お よ び 認 知 状 況

		障害自立度					認知症自立度					
区分	人数	自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	3	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2
区分 3	18	0	10	8	0	0	1	1	0	0	0	15
区分 4	17	0	8	8	1	0	3	2	0	0	0	11
区分 5	10	0	0	7	2	1	1	2	0	0	0	7
区分 6	29	0	0	4	7	18	0	2	0	0	0	8
合計	77	0	18	30	10	19	5	8	0	0	0	43
%		0	23	39	13	25	6	10	0	0	0	56
合計			77					56				

(8)医療的ケア(実人数、複数回答)

ケ ア 内 容		経管栄養	喀痰吸引	間歇的導尿	ストーマ処置	カテーテル	排便・浣腸	褥瘡	疼痛の管理	皮下注射	血糖測定
人 数	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	12	11	4	0	8	5	3	0	1	1
	共生通所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	

※重複あり

※医療的ケアを必要とする利用者様が増加しており、ニーズも高い状況にある。特に最近では若年層からのニーズが高い傾向。

(9) レクリエーション実施状況

2023年3月31日現在

レクリエーション種目	実 施 月	内 容
調 理 活 動	5、6、9、10	ババロア、ゼリー、プリン、マロンケーキ
外 出 レ ク	5～10	お花見、恵庭道の駅、マオイの丘、ツタヤ江別、 ニーウンベツ、ボールパークドライブ、紅葉見学
運 動 会	6	玉渡し、紅白リレー、紐引き、借り物競争、棒サッ カー、玉入れ
夏祭り	8	射的、魚釣り、ヨーヨー釣り、ベビークステラ、 かき氷、綿あめ
年 忘 れ 会 食 会	12	ビンゴ、カラオケ、V0手品、V0ダンス、職員出し物
グループ活動等	通 年	生産活動、ほのぼのクラブ、出店（ふれてフェス 等）、地域学会見学

(10) 地域生活支援事業 ～ 日中一時支援

登録者数 13名（うち日中一時のみ利用 12名・生活介護併用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	108	94	101	87	91	98	96	103	82	92	91	114	1157
実利用人数	12	11	12	11	12	12	11	12	12	11	12	12	140

※ほのぼ児童デイ利用者の入浴による利用やリハビリ目的による利用となっている。

【レクリエーション風景】



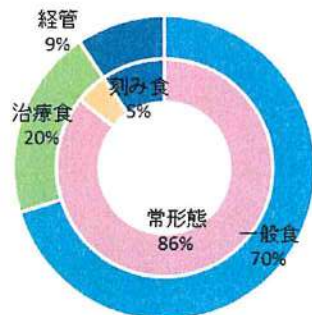
【夏祭り（8月）】



日々のアクティビティ（例）

(11) 食事提供状況

(1) 食種・形態



在籍（食事なし除く） 84 人		
食種	一般食	59 人
	治療食 糖尿病 肝臓病 等	17 人
	経管	8 人
形態	常形態	72 人
	刻み食 刻み・ペースト食等	4 人
	経管	8 人

(2) 食事摂取基準

一般食

エネルギー	1650	kcal
たんぱく質	62～83	g
脂質	37～55	g
炭水化物	206～268	g

(3) イベント食

行事食 / 食べ物記念日				
4 月	1 日	開所記念日	10 月	コロナ禍行事による集客無し
	20 日	発芽野菜の日		
5 月	17 日	世界高血圧デー	11 月	12 日 菰の日
6 月	29 日	パフェの日	12 月	17 日 会食会
7 月	16 日	ジンギスカン	1 月	18 日 お祝い御膳
	28 日	世界肝炎デー		日
8 月	3 日	八丁味噌の日	2 月	3 日 節分
				日
9 月		コロナ禍行事による集客無し	3 月	3 日 ひな祭り

(4) 週間予定献立表^{一抜粋}

2022年 11月 12月 週間予定献立表 地域サポートセンター みなみ						
	11月28日(月)	11月29日(火)	11月30日(水)	12月1日(木)	12月2日(金)	12月3日(土)
昼食	ご飯 味噌汁(岩のり) 豆腐ステーキ 南瓜の煮物 玉ねぎとハムのサラダ *ドレッシング	ご飯 生姜汁 ほっけの味噌煮 じゃが芋の金平 キムチ和え	ご飯 味噌汁(はんぺん・葉大根) タンドリーチキン 筍とワカメの煮物 豆腐の塩昆布和え	【A】 ラブラブサンド ピーナッツ ごまパン コンソメスープ スパニッシュオムレツ 野菜サラダ	【A】 麻婆ラーメン みかんと春菊のサラダ 【B】 ご飯 中華スープ マーボー豆腐 じゃが芋と竹輪の炒め物 みかんと春菊のサラダ	ご飯 味噌汁(えのき) 鯖みりん焼 さつまいもの煮物 なめこの白だし和え
				【B】 ご飯 コンソメスープ スパニッシュオムレツ エノキのバターソテー 野菜サラダ		
おやつ	フルーツカクテル	オレンジ	りんご	パイ	黒蜜寒天	バナナ

5-2 利用者支援状況

【障がい児通所支援】

(1) 定員（及び登録者数）

2023年3月31日現在

	児童発達支援登録数	放課後等デイサービス登録数
定員（5名）	2	22

※定員5名に対する登録者数は横ばい。高校卒業による終了者が複数（5名）控えている状況。

(2) 利用実績状況

月	児童発達・放課後デイ	
	実利用数（1日平均）	実支援日数
4月	4.2	21
5月	4.4	23
6月	4.6	24
7月	5.1	23
8月	4.7	24
9月	4.5	23
10月	4.7	23
11月	4.5	23
12月	4.2	24
1月	4.2	23
2月	4.3	21
3月	4.7	24
平均	4.5	23.0

※今年度は、コロナの影響もありキャンセルする方が多かった。又、体調不良による長期入院者も複数発生し、実利用数5.0を超える月は1回のみ。

(3) 性別年齢別状況

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					児童発達	放課後デイ
男児	児童発達	6歳2ヶ月			5歳6ヶ月	6歳6ヶ月
	放課後デイ	8歳6ヶ月	18歳11ヶ月	14歳2ヶ月		
女児	児童発達	6歳10ヶ月				
	放課後デイ	10歳10ヶ月	17歳11ヶ月	15歳8ヶ月		

※高校卒業（18歳）まで利用する方がほとんど。今年度は卒業生予定者が多くなっている。

(4) 医療的ケア

ケア内容		胃ろう	経鼻	SC	エアウェイ管理	酸素	呼吸器	導尿	嚥下時座薬挿入	排便管理	気管管理
人数	児童発達	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	放課後デイ	7	0	3	0	2	0	1	7	2	0

※一人の利用者で複数のケア実施あり

※医療ケアの実施に関しては各家庭での状況（方法）に合わせる様努めている。

(5) 障害状況

		脳障がい	遺伝性疾患	てんかん	先天性	脊髄疾患	代謝疾患	側弯症	染色体異常	発達障がい	その他
人数	児童発達	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	放課後デイ	12	2	7	4	2	1	3	1	1	1

※重複障害あり

(6) 出身地域別

		北広島市	札幌市	恵庭市	江別市	千歳市	由仁町	...	...	...	...
人数	児童発達	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
	放課後デイ	15	1	1	1	3	1	0	0	0	

レクリエーション種目		内 容
季節の製作	通 年	桜、春の草花スタンプ、てんとう虫、あじさい、星、七夕飾り（短冊）、いちご、魚、カボチャ、どんぐり、やっこさん、バレンタイン、おばけハローウィン、クリスマスベル他
季節の行事	通 年	水遊び、雪遊び、畑作り（種まき、水まき、収穫）、七夕、書初め、豆まきお祭りごっこ、ハローウィン衣装、ひな祭り、卒業をお祝いする会
外出レク	通 年	桜花見、星槎道都大学の夏祭り、ドライブ（市役所テラス）、ブルーインパルス見学、ふれてまつり、ともに学芸会、発達支援センター見学
調理レク	通 年	アイスクリーム、
日々の活動	通 年	散歩、スノーズレン、ブランコ、誕生会、絵本、トランプ、ベタンク、ボウリング、カラオケぬりえ、脳トレ、パズル、シャボン玉、ハンモック、卓球、キャッチボール、じゃんけん大会他

※季節の行事は季節感を重視し、毎月、週単位で行っています。感染対策の為、今年度の調理レクは夏休みに感染リスクの少ないメニューで1度実施しました。

【レクリエーション風景】



【センターへ花見（5月）】



【卒業のお祝い（3月）】



【夏まつり（8月）】



【野菜の収穫（9月）】

6. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況

(1) 月別相談件数

2022年度

*同一利用者に関わる相談は一日1件で集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	668	674	769	720	738	736	625	689	732	703	710	743	8,507

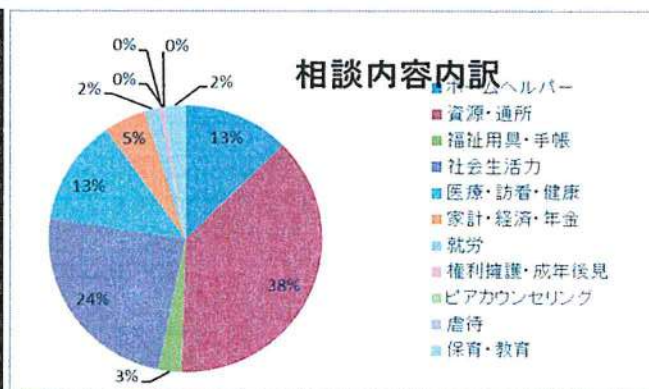


(2) 内容別・形態別・障害別・地域別相談件数 (2022年度)

*受けた回数をそのまま集計している。(内容が重複している相談は除く)

① 相談内容内訳

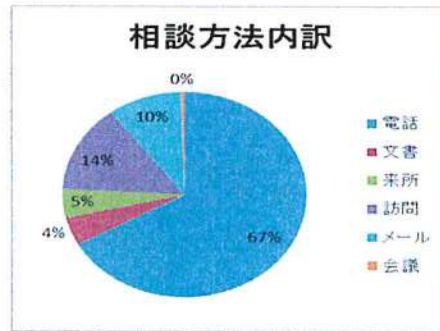
相談内容内訳	()内は前年度人数
ホームヘルパー	1,534 (1,635)
資源・通所	4,606 (4,561)
福祉用具・手帳	332 (348)
社会生活力	2,975 (3,027)
医療・訪看・健康	1,560 (1,652)
家計・経済・年金	611 (683)
就労	216 (129)
権利擁護・成年後見	55 (40)
ピアカウンセリング	11 (24)
虐待	11 (4)
保育・教育	306 (116)
合計	12,217 (12,219)



総相談件数は昨年度に12,000件を超え、横ばい。昨年比増の内訳として、「資源・通所」、「就労」、「権利擁護」、「虐待」、「保育・教育」が上げられる。通所先や就労事業所、グループホーム等への調整が増えた事、成年後見利用者の継続的な支援、障がい児支援において、要保護児童に関する相談、会議が増えた事、学校等教育機関との連携も増加している事が影響。又、精神障がい、発達障がいの方で気持ちの不安定さから、繰り返しの相談が傾向としてあり、「社会生活力」件数も横ばい状態となっている。

② 相談方法内訳

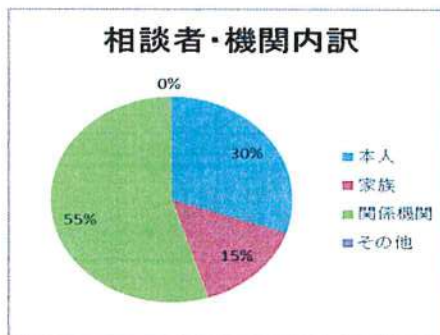
相談方法内訳 ()内は前年度人数	
電 話	9,222 (9,269)
文 書	606 (598)
来 所	617 (576)
訪 問	1,920 (1,707)
メ ー ル	1,368 (870)
会 議	66 (41)
合 計	13,799 (13,061)



コロナ感染症の流行期間に控えていた訪問の希望が増えた事により、訪問件数は大幅に増加(昨年1,707件)。来所相談も若干増となった。会議は対面だけでなく、オンライン形式も取り入れたことにより開催しやすさもあり増加傾向。連絡方法にLINE(メールに含む)を取り入れ、徐々に登録者が増加、結果メール相談件数も大幅増(昨年840件)となった。

③相談者・機関内訳

相談者・機関内訳 ()内は前年度人数	
本 人	4,312 (4,318)
家 族	2,121 (1,973)
関係機関	7,809 (7,304)
そ の 他	18 (25)
合 計	14,260 (13,620)



本人からの相談は横ばい傾向だが、複雑な生活課題を抱えるケースが増え、関わる機関も複数かつ多様になっている。又、障がい児支援に関しては家族や関係者とのやり取りも多く、結果、家族、関係機関からの相談が大幅に増加している。

(3)-1 相談数・相談実人数・新規相談数の比較

2022年度

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
相 談 件 数	7,690	7,237	7,503	7,868	8,050	8,507
相 談 実 人 数	405	429	439	426	425	437
新規相談件数	78	65	44	41	33	49

新規相談件数は昨年度より増加。(のべ)相談件数は前年度に引き続き今年度も過去最高となった。実人数はほぼ横ばいであるが、相談者一人当たりの相談頻度が増える傾向が続いている他、長期的な相談支援になるケースが増加傾向。

(3)-2 相談実人数詳細

2022年度

	身 体	重 心	知 的	精 神	発 達	その他	実 人 数
障 が い 者 (2021年度)	75 (70)	9 (10)	118 (119)	91 (81)	18 (14)	14 (14)	325 (308)
障 が い 児 (2021年度)	11 (12)	5 (6)	41 (42)	0 (0)	54 (57)	0 (0)	111 (117)
計	86 (82)	14 (16)	159 (161)	91 (81)	72 (71)	14 (14)	436 (425)

全体の実人数は横ばい。精神障がい者の増加、発達障がい者は微増。就労事業所等の通所系サービス、グループホーム入居の調整、精神面の不安定さによる生活相談等が多い。

(4)-1 ピアカウンセラー活動内容

2022年度

日 (曜日)	講和内容	学校名 (参加人数)
7月1日(金)	肢体障がいについて	北広島市立北の台小学校5年(68名)
8月30日(火)	"	北広島市立大曲東小学校4年(81名)
9月8日(木)	"	ふれてミニ講座
12月13日(火)	"	2022年度社会福祉法人北海長正会新規採用職員研修
9月9日(金)	聴覚障がい・手話体験	北広島市立西部小学校5年(33名)
9月21日(水)	"	北広島市立大曲小学校4年(72名)
9月22日(木)	"	ともにミニ講座
10月12日(水)	"	北広島市立東部中学校3年(40名)
11月2日(水)	"	北広島市立西の里小学校5年(62名)
11月15日(火)	"	北広島市立西の里小学校5年(62名)
2月20日(月)	"	北広島市立西の里中学校1年(62名)

(4)-2 こころの交流会実施状況 単位：人

2022年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	3	7	5	4	7	6	6	2	3	4	2	10	59

昨年度に続き、オンライン開催の他、集合での開催も行った。継続的な参加者も出て来ている中、参加者同士の交流も生まれている。

(4)-3 発達障がい者当事者会 ボンコツクラブ 単位：人

2022年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	2	5	5	4	0	4	1	0	2	0	0	0	23

当事者の自主的な運営の為、みらい相談員はファシリテーター的な役割で関わっている。当事者会でオンラインでの話し合いも出来るようになった事、新規参加者がいない事から1月以降は定期開催を行わず、新規参加者の参加時や不定期でレクレーション、イベントでの開催を行う事としている。

(5) 計画相談件数 (サービス等利用計画作成数)

2022年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	15	15	22	17	15	47	29	15	21	22	20	24	262	715
	継続	48	34	39	37	35	48	28	42	41	32	27	42	453	
障害児相談支援	新規	6	11	18	9	13	8	4	8	20	4	3	24	128	227
	継続	12	7	7	7	2	17	22	7	7	3	2	6	99	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別	小計	21	26	40	26	28	55	33	23	41	26	23	48	390	
継続月別	小計	60	41	46	44	37	65	50	49	48	35	29	48	552	
月別	合計	81	67	86	70	65	120	83	72	89	61	52	96	942	

計画作成総数については前年度とほぼ変わらない。上記の作成月以外にも必要に応じて介入し、より良いサービス提供がなされるよう対応している。成人、児童ともにそれぞれの利用しているサービス内容に基づき定期的なモニタリングを実施し状況把握をする事により、新たな課題や介入が必要な事案が判明し、しかるべきサポートにつなげるケースも増えている。

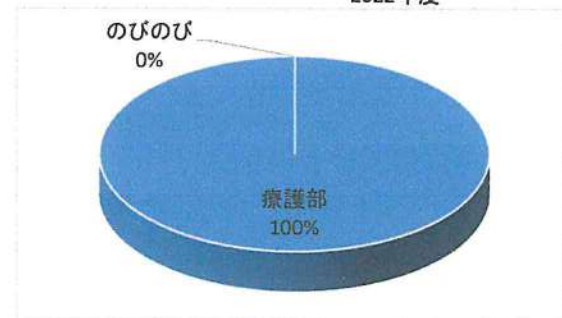
7-1. リスクマネジメント報告

～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

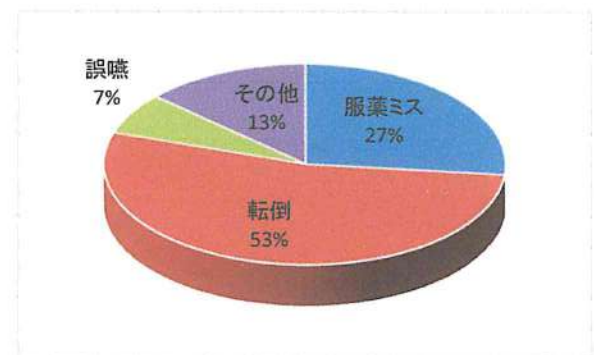
療 護 部	33 件	#DIV/0!
の び の び	0 件	0.0%
計	33 件	100.0%

2022年度



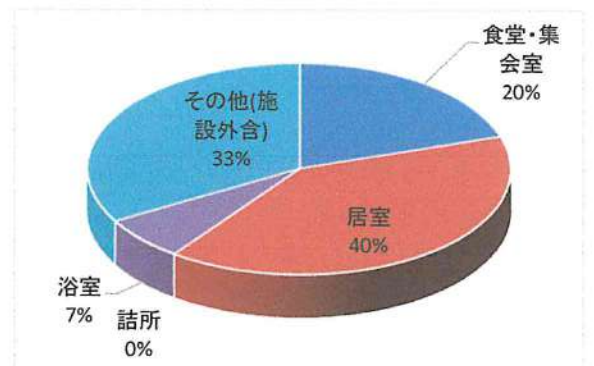
(2) リスク内容

服 薬 ミ ス	4 件	26.7%
転 倒	8 件	53.3%
誤 嚥	1 件	6.7%
そ の 他	2 件	13.3%
計	15 件	100.0%



(3) 発生場所

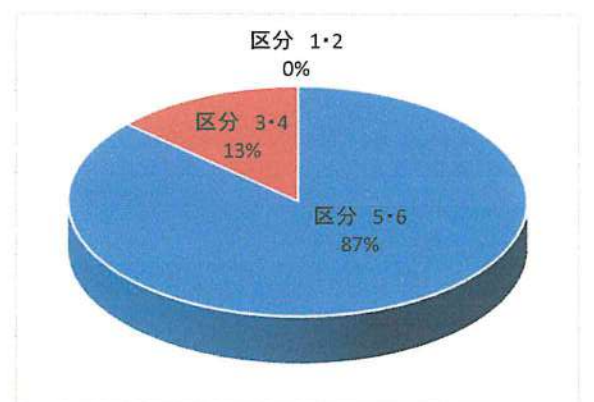
食 堂 ・ 集 会 室	3 件	20.0%
居 室	6 件	40.0%
詰 所	0 件	0.0%
浴 室	1 件	6.7%
その他(施設外含)	5 件	33.3%
計	15 件	100.0%



その他に発生場所不明2件を含む

(4) 対象者障害区分

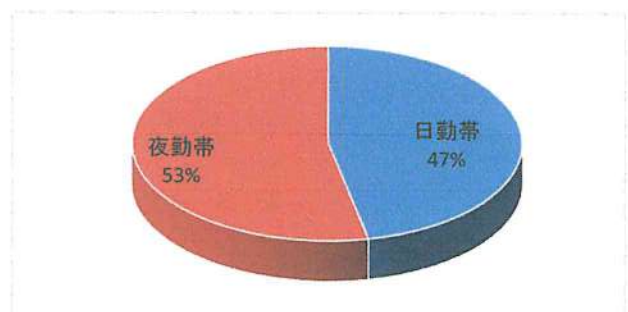
区 分 5 ・ 6	13 件	86.7%
区 分 3 ・ 4	2 件	13.3%
区 分 1 ・ 2	0 件	0.0%
計	15 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日 勤 帯	7 件	46.7%
夜 勤 帯	8 件	53.3%
計	15 件	100.0%

時間帯不明1名



7-2 リスクマネジメント報告（障がい福祉サービス・障がい児通所）

～ 事故・ニアミス報告より ～

(1) リスク報告件数

福祉サービス	18 件	78.3%
児 童	4 件	21.7%
計	22 件	100.0%

2022年度



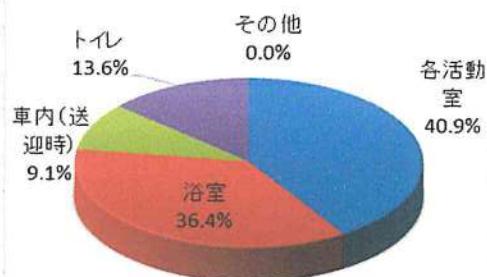
(2) リスク内容

服薬ミス	2 件	9.1%
転 倒	9 件	40.9%
破 損	2 件	9.1%
そ の 他	9 件	40.9%
計	22 件	100.0%



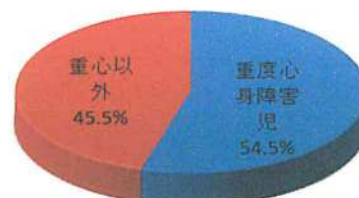
(3) 発生場所

各活動室	9 件	40.9%
浴 室	8 件	36.4%
車内（送迎時）	2 件	9.1%
ト イ レ	3 件	13.6%
その他	0 件	0.0%
計	22 件	100.0%



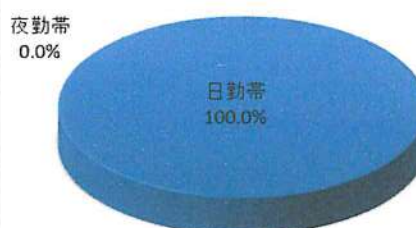
(4) 対象者障害区分

重度心身障害児	12 件	54.5%
重 心 以 外	10 件	45.5%
計	22 件	100.0%



(5) 発生時間帯

日 勤 帯	22 件	100.0%
夜 勤 帯	0 件	0.0%
計	22 件	100.0%



様式1

2022年度 療護部（入所支援課）事業総括

主管 入所支援課

事業方針	
昨年は新型コロナウイルス感染症対策に伴い、利用者の生活全般に行動制限をベースとした生活支援が中心となった。今年度はこれまで培った感染知識と経験等により、新型コロナウイルスが猛威を振るっている中でも楽しみのある「新しい生活様式」を確立する。 また、今年度より直接処遇職員を「入所支援課」に統合し、お客様一人一人が心豊かで快適な生活が出来るよう、お客様の意思及び人格を尊重した個別支援計画を作成し、チームケア・チームアプローチによりサービスの質の向上を目指す。 現在取り組みを進めている「グランドデザイン」を確実に実践できるよう、当法人の基本理念・倫理綱領に基づき、職員が一丸となって取り組んでいくことを当施設の基本方針とする。	
重点事業項目	
1. 「生活の質の向上」に向けての取り組み	＊組織体制の見直しにより、個別支援計画をベースに他職種協働によるチームを組んで支援を提供する。（チームケアの強化）
2. 感染症防止対策の取り組み	＊新型コロナウイルス等の感染症については、施設にウイルスを持ち込まないため、日々の職員の健康管理の徹底を図る。また、利用者の健康観察を行い、医療との連携を図り感染症対策を徹底する。 ＊コロナ禍の様々な制限の中で、日中のプログラムや行事において「どうすればいいのか」という視点を強化し実践する。
3. 利用者の健康管理の強化	＊日々の健康管理により、高齢化・重篤化するお客様が安心して施設生活を継続することができるよう生活プログラムを強化する。
4. 安定した施設運営に向けての対策	＊安定した運営のためには、支援体制の安定化が不可欠である。このため、人材確保と人材育成を強化する。また、シフト体制の見直しを実現し、職員の環境改善に努める。
5. グランドデザインへの取り組み	＊2027年度（令和9年度）以降の施設全体改修を目指し、より詳細な改修計画を作成する ＊A・I・C T等を積極的に活用し、業務の効率化や職員の負担軽減を図る。
【上半期評価】	
お客様の高齢化、障害の重度化が進む中、外部医療機関への受診や緊急対応を迫られるケースが増えているが、個別支援計画に基づきチームで情報共有を図りながら、医療対応と生活のフォローアップ支援の事が出来た。8月末にクラスター発生したが、ソーニングとガウンデュークの徹底を図り、同法人内事業所の広域を隔てながら2週間経過後に発生した。外部からの感染が疑われそれ以降密閉空間に努めている。お客様体調不良の早期発見、治療に努め、早めの受診や入院調整を図り重症化を予防する事が出来た。感染予防のため口腔内環境改善に努め、誤嚥性肺炎での直接的な入院者はなし。支援体制の安定化は図れず、既存職員内で勤務調整を行い何とか支援することが出来たが、十分な人材育成には至らなかった。ロボット等支援事業国庫補助内示あり。	【最終評価】 お客様の生活の質の向上においては、リハビリスタッフも生活場での姿勢や動作の評価・練習・環境調整等の機会が増え、また他職種チーム間での情報共有・協働は十分とは言えないが徐々に図れている。感染に関しては下半期コロナ陽性者が職員7名確認されたが、お客様の感染は0名で持ち込まないことができた。施設内行事や日中活動はコロナ禍で制限下ではあったが予定通り実施することができた。お客様の健康管理に関しては、看護部を中心とした早期発見・早期治療やSTによる誤嚥性肺炎予防や口腔ケアの重要性等啓発ポスター作成し職員へ周知。安定した施設運営は、職員の人材確保が難しく新規お客様獲得の受け入れが停滞した。グランドデザインの取り組みとして、ロボット等支援事業国庫補助が決定し、見守りロボットと移乗介助ロボットが3月初旬～下旬に納品。まだ数日間ではあるが、介護職員の業務負担の軽減が図れている。

様式1

2022年度 診療部 事業総括

主管 管理者

事業方針	
昨年度、診療部は更生部廃止に伴う診療対象者の減少などもあり、これまでの診療体制を見直し新たな体制に移行している。当然、診療報酬は減収となり厳しい運営状況が続いているが、障がい者施設に併設する診療機能という特徴を最大限に生かしながら、安定した運営の実現に向け、当法人の基本理念・倫理綱領に基づき取り組みたい。 また、新型コロナウイルスは予断を許さない状況が続いている。このため引き続き感染防止を第一に利用者の健康管理に努め、感染発生時には障がい者施設、高齢者施設の各拠点と連携を取りながら初動の対応を的確に実施していきたい。 なお、新型コロナウイルスのワクチン接種については今後も継続が予想される。時間と人員が限られる中、利用者はもちろん、職員の感染防止のため速やかに実施できる体制が取れるよう取り組んでいく。また、感染拡大の防止の観点からも日々の利用者の体調変化に留意する。	
重点項目	
1. 健康管理への取り組み	＊施設（地域）で生活されているお客様が安心して生活を送れるよう日々の変化に留意し、健康管理に努める。
2. 外来リハビリテーションの取り組み	＊入所利用者に対して物理療法による消炎鎮痛やSTが口腔ケアの管理及び疾患別リハビリテーション実施し、疼痛緩和や可能な限り長く経口摂取を継続出来る事、言語的・非言語的コミュニケーション能力の維持・向上を図れるよう支援する。 ＊地域密着型通所介護及び北広島市日常生活支援総合事業を利用するお客様の健康管理の支援体制を整備する。
3. 感染症防止対策の取り組み	＊重度障がい者や高齢者においては感染リスクが高まることを踏まえ、感染防止対策委員会と連携して感染予防に努める。また、感染症が発生した場合の対策など、感染対策マニュアルの見直しを進める。 ＊迅速なワクチン接種が可能になるよう、環境を整備する。
【最終評価】	
施設で生活されているお客様の健康管理については、特に感染症対策に重点が置かれたことから、お客様はもとより職員自身も健康管理についての意識が浸透されてきている。 新型コロナウイルス感染症対策については、感染拡大防止ガイドラインに添って、日々、お客様の体調の変化（発熱、熱発時の対応等）に注視してきたが、療養部において8月から9月にかけてクラスターが発生した。しかし、初動の対応、さらに各部署の支援体制の強化などにより拡大を抑制できたことは研修などの成果と考えられる。 事業収入については、お客様の減員により減少傾向は続いているため本来の診療報酬は減少したが、コロナワクチン接種の予防接種による医療報酬及び助成などにより計画値を達成している。	

2022年度 総務課 事業総括

主管 総務課

事業方針	
総務課の役割は窓口業務、請求業務、給与資金、各種手続等の労務管理の他、医事業務、施設管理、給食業務と多岐に渡る。それぞれがお客様、職員の為を考え行動していく事が大切になる。制度改定等が事業を継続していく上で、大きな影響を受けることを念頭に置き、日頃より情報を収集し各事業が、健全かつ安定した事業運営が行えるように側面的な支援を行っていく。また、慢性化している人材不足を解消できるように人材確保を行うとともに、職員が辞めない環境づくりを進める。	
重点事業項目	
<庶務係> ◇庶務係は施設の入り口として謙虚に努め、利用者、ご家族、職員、外部のお客様に対し生活を含めた全般をサポートする役目を担っているということを念頭におき、信頼される庶務係（事務室）となるよう業務展開していく。 ◇庶務係は利用者、職員に対し継続的なサービス提供や福利厚生の実施をはかれるような情報や企画の提供に努める。また、様々な情報が集約される部署であるため、情報管理を徹底し利用者、職員共に安心できる頼られる体制を維持していく。 <施設業務係> ◇施設管理部門 ◇建物、設備の管理及び維持に努める。 ◇車両管理及び除排雪行。 ◇光熱水費及び燃料費の効率的な使用と使用量の低減化を図る。 - 医療事務部門 ◇外来患者対応業務等を速やかにミスなく行う。 ◇保険請求業務のチェックを行い、算定漏れや査定・返戻減らす。 <給食係> ◇“食”をとおして「お客様によるこんでる」食事提供に取り組む。 ◇集団給食をとりまく制約要因を精査し、取捨選択する事で余力を生み出せるよう努める。 ◇「お客様本位のサービス」を行うための組織（給食係）体制を強化する。 ・1年を通じてあたる目標設定を各職員それぞれで行い実施する事で自身のスキル向上を図るとともに、直接的又は間接的なサービスにつながるよう努める。	
【上半期評価】	【最終評価】
庶務係：上半期、事業計画通りに達成するとはできたと 思う。ただ10月より最低賃金、処遇改善等の変更があり、職員に説明をするため準備を進めていたが、丁度コロナで対面での説明が出来なく急遽、ペーパーでの説明に切り替えた。完全ではないにせよ最低賃金情報提供はできたと思う。今後も不足の事態も想定されるため臨機応変に対応していきたい。 施設業務係：施設・外気温に対して、暖房温度の上げ下げ入切など、今後も臨機応変にやっていく。 ・業務・レポート請求、予防接種業務で細かいミスがあったので注意する。 給食係：上半期計画について大抵は取り組めたが経過途中である為、到達点をあげられるよう引き続き取り組む。	庶務係：今年度は電子申請を取り入れたことが大きく多少気持ちに余裕ができた。こういったITの活用で業務をスリム化できたため、今後もITを活用した場合、何が出来るのか情報収集を継続していく。もう一つは、脱請求により法人に多大な損害を出し大変申し訳ありませんでした。決して油断してはいたわけではなく、庶務係全体として以前より情報共有もとれ、まとまっていると感じております。ただ、ミスに気づかなければ損害を出す可能性がありまして、庶務として再度信頼されるようにしっかりと取り組んでまいります。 施設業務係：施設へ改修工事が先送りになっているので、ワックスがけ等その都度対応していく。 ・医事→Dr、関係部署との連絡確認を密にできた。コロナワクチン接種も滞りなく行えた。 給食係：変化が多く軌道修正も必要だったが、次年度への足がかりとなる取り組みができた為、「大変良し」と評価したい。

2022年度 会計課事業総括

主管 会計課

事業方針	
事業の廃止とコロナ禍による業績低迷からやや回復傾向をみせた前年度を踏まえ、2022年度は更なる業績回復の発展に重点が置かれる年と考えます。経理が本来担う役割とは何なのか、金銭管理や物品管理などのルーティンワークはもとより、法人の目標達成のための経営資源の有効活用や各部門の情報をまとめ、数値化など経営陣が意思決定をするにあたり必要な情報を提供することであり、経営戦略をできる強い財務基盤を高めることが重要と考えます。	
重点項目	
1) 決算までのプラン設定 2) キャッシュフローの見える化 3) 財務の健全化 4) 求められるスキルと正確でスピーディーな会計業務 5) 経営状況の把握と提供	
【上半期評価】	【最終評価】
想定外な事象や付余曲折があった中、無事に決算を終えた事は会計課職員に感謝しかない。勤務拠点が別の一方業務の改善は十分ではなかった。勤務拠点が別の為、相互理解の把握の難しさがあり、業務内容などで気づけないことがあったと思う。	コロナ禍で取り組みが遅れが生じた業務もあり、取り戻すことが容易ではなかったが、計画は最低限遂行出来た。上半期と下半期で財務状況が急変し資金繰りなど対応に苦慮した年度でありました。

2022年度 のびのびファイン事業総括

主管 通所支援課

専 業 方 針	OJTの取り組みについて、職員1名が長期休暇の環境で、若い職員一人一人が様々な業務や課題に取り組み課題を解決し成功体験を経験し成長していると評価します。	も継続して次世代を担う人材育成に努めていきたい。
のびのびファインは、「リハビリ特化型のデイサービス」としてお客様一人一人のニーズを把握し、ニーズに合わせたアセスメント（個別機能・支援計画書）を作成し、医療・介護・福祉の各専門職がチームケアを行い、エビデンスに基づいた、専門性の高いサービスを提供することで、お客様が可能な限り安心・安全に住み慣れた地域での生活が継続できるような支援をする。 職員一人一人がスキルアップを図り、日々向上心を持って業務に取り組むことによりお客様の心身機能や生活状況を把握・理解し、お客様に寄り添い適切な支援を行う。 スタッフ全員が法人の基本理念を念頭に置き、日々の関わりの中で信頼関係を構築し、生活に楽しみや喜びを提供できる「かかりつけ施設」を目指す。 高齢者支援センターや居宅支援事業所等と情報交換・共有を行い、地域における当事業所の役割を把握し、「地域に求められる事業所」として、「のびのびファイン」だからこそ行えるサービスの提供を行う。	OJTの取り組みについて、職員1名が長期休暇の環境で、若い職員一人一人が様々な業務や課題に取り組み課題を解決し成功体験を経験し成長していると評価します。 施設資源を活用したサービスについて、施設敷地内の四季折々の自然を散策活動や歩行練習でお客様に発信、体験して貰う事ができ好評を得ています。 上半期は8・9月に15日間の事業休止もあり、計画数値に届きませんでした。下半期に向けて課題や反省を活かし事業展開していきたいです。	も継続して次世代を担う人材育成に努めていきたい。

重 点 事 業 項 目

1. 感染症予防対策を徹底し、継続して利用できるサービスの提供
 - ①施設内及び送迎車両においても基本的な感染予防対策の徹底に取り組む
 - ②各支援センターや居宅事業所とも情報共有し連携を図る
 - ③感染防止対策として、仮に入所施設内で感染が発生しても、安心して通所利用が継続できるよう、緊急時に通所支援と入所支援を分割化できるシステムを構築する
2. お客様のニーズに合わせたオンラインワンサードサービスの提供
 - ①各専門職がチームとして、お客様に係りニーズに応え、専門的な質の高いサービスを提供する
 - ②地域の研修会や講習会に積極的に参加し、地域にとって必要な資源となり得るよう取り組む
 - ③OJTを活用し、経験や成功体験を積み重ねお客様や職員間でも信頼される人材育成に取り組む
3. 施設資源を活用したサービスの取り組み（大規模改修計画に付帯して）
 - ①ICT活用に向けた情報収集と準備
 - ②施設敷地内内歩道を整備し、校庭木や自然を地域の皆様に発信し、自然と健康促進を掛け合わせた魅力ある新サービスへの取り組みの検討

【上半期評価】	【最終評価】
今年度から地域密着型通所介護と介護予防通所介護相当サービスの一体型事業として展開しています。一体型で事業展開する事により、お客様の介護度の区分変更による体系移行等もスムーズに対応でき、在籍数の変動も最小限に抑える事が出来ています。 感染症対策について、職員のコロナ陽性者は出ましたがお客様や職員に感染拡大する事なく経過しました。事業所内や送迎車両における消毒や換気の徹底が出来たと評価します。しかし、入所施設での感染症発生時の共有スペースや動線の分離が十分に出来なく、課題として検討し次年度には環境を整備して感染症に強い事業所にして行きたい。 お客様のニーズに合わせたサービスについて、お客様との関わりの中から、各専門職で情報共有しプログラム立案から実践までチームとして取り組む事ができ、お客様の満足度アンケートも高い評価を頂き、法人の基本理念でもある地域に根付いたサービスを提供出来ていると評価します。	今年度から一体型事業としてサービスを展開した事により、お客様の介護度の区分変更があってもご希望であれば、継続して当事業所を利用する事ができ、ご本人様・ご家族からも喜ばれた。また、事業所の地域活動の参加も増えて来ており、来年度以降も支援センターと連携し地域貢献して行きたい。 介護予防事業は計画数値をクリアできたが、地域密着事業では計画数値に届く事ができなかった。原因として、お客様の長期入院やコロナ禍による利用控えが考えられる。来年度はリハビリを通してお客様の健康管理や転倒等の事故を防ぐような取り組みを強化して行きたい。 専門的な質の高いサービスを提供するにあたり、今年度は、定期的に事業所内での勉強会や研修を実施する事ができた。来年度以降も計画的に勉強会・研修会を実施する他に外部やZOOMでの研修にも積極的に参加して行きたい。 人材育成の取り組みでは、各職員に様々な業務経験をし、職員一人一人の質のベースアップに繋がったと思う。来年度

2022年度 障がい福祉サービス事業所みなみ事業総括

主管 障がい地域支援課

事業方針	
法人基本理念に基づき地域で暮らすどのような障がいのある方にも、その人らしく生き生きとした生活を送ることができるよう、感染症への不安を抱える利用者様やご家族へ安心して利用して頂くことに努めていく。利用者様、ご家族が何を必要としみなみが何を求めているのかを考え、変化するニーズを敏感に捉えつつ柔軟なサービス提供を行っていく。 感染症と対峙しながらの日常生活の中 各専門職に提供することとみなみを利用し、多様な日中活動や生涯活動を通じて提供する中で、訪問販売や理美容の利用、各種制度申請、幅広い年齢層が関わる事で生まれる学びや成長があったり、支援や補装具作成など、在宅生活での困り感の解消を行い、地域生活を支える資源としてみなみ独自の魅力、強みについてPRし、認知度を高めたい。 日常的に職員間の情報共有やチームワーク意識を大切に、質の高いケアの提供、各職種の専門性を生かし、一体的な支援を行っていく。	
重点事業項目	
1) 感染予防に努めながら、ニーズの変化に対応し質の高いサービスを提供する ・感染予防に対する知識を高め、予防対策を徹底する事で安心して利用して頂く体制作りを行う。 ・研修を通し、権利擁護、虐待防止への知識を深め、サービスの質の向上を図る。 2) 地域資源の一つとしてみなみ独自の魅力の発信を強化していく ・みなみ独自の魅力をSNSやパンフレット等多様なツールを活用し、地域や関係機関へのアピールを進める。 3) 支援力の向上、チームで一体感を持った支援体制を作っていく ・個々に合わせたケア方法について、職員間（スタッフ会議、ケア会議）で活発な意見交換の機会を作る。 ・会議の場や日頃の『ほうれんそう』の重要性を意識し、多職種連携の強化を図る。	
【上半期評価】	【最終評価】
上半期、ベストの稼働率は69%であり、目標値である78%には届かない結果となった。要因としては、利用者様やご家族のコロナ感染、併用他事業所のコロナ感染による欠席や利用自粛、また転居や就業先移りによる終了者が多かったことが挙げられる。 新規相談16件に対し、利用に繋がったのは4件、受入れ自体は可能であったが遠方であり送迎対応困難なため利用に繋がらなかったのは5件であった。 職員が補充できたこともあり、支援対応困難を理由に新規を断ることなく、全スタッフが前向きに受け入れの姿勢を持つことができたことは良かった点である。 感染症対策を講じたこと、日中活動や季節の行事を実施し、サービス提供できたことは利用者様からも大変喜ばれ評価して頂いた。生涯活動は、お祭りへの出店や店頭に置かせて頂いた。ご家族やSNSを通じて他県へ作品が渡るなど活動の幅を広げることができ、利用者様の生きがいにつながっている。 今後、新規獲得に向けては他機関へ出向き営業活動を行うこと、みなみ独自の魅力を知って頂く機会を増やし認知度を上げることに努める。	昨年度より収入が上っているが、一年間を通してコロナの影響を受け、目標値に届かない結果となった。 10月は、職員のクラスターにより3日間営業を停止し、利用者様にご迷惑をかける結果となり、収入も大きく減少した。12月には利用者様の感染が複数あり、罹患していない利用者様の中にも、自粛をする方も多数おり大幅な収入減となった。4名の方が入居している共同住宅の通所利用自粛も年間を通して、複数回、長期に渡ったことにも影響を受けた。 日々のレク活動やイベント行事に力を入れ、利用者様の満足度を高め、もっと通所したい、みなみが楽しいと感じていただける様、職員一人一人が知恵を出し合い、取り組むことが出来た点は良かった。行事の際は、臨時休所も多数あり、日々のレクに加え年度末も1回のイベント行事を実施するなど、選ばれ、必要とされるみなみになるよう努める。 常に個別対応を必要とする利用者様も増加傾向にあり、更に多職種連携を図り、チームとして取り組んでいくこと、ボランティアの活用も行っていく。 地域の障がいのある方々のニーズや状況も変化しており、目変化を捉えながら、新規獲得に向け営業活動を継続し、目標値に届くよう努める。

2022年度 児童発達支援・放課後等デイサービス事業総括

主管 障がい地域支援課

事業方針	
常に、基本理念を念頭に置き、「安心して通って頂く」「ご家族に寄り添う」「不安を与えない」事を信念として行きたい。子ども達とご家族との信頼関係に繋がることなく常に家族は何を必要としているのか？私たちが何をすべきか？を模索し続けニーズに添ったサービスを提供していく。 2021.9.18「医療的ケア児支援法」が施行され医療的ケア児の支援が「努力義務」から「責務」になった事に伴い、自治体も医療的ケア児の支援事業を強化し始めている中、「より安心・安全な環境で医療的ケアを提供できる場」「重い障がいや医療的ケアがあっても自由に活動できる場」が「みなみ」である事をご家族や地域の方に認知頂き、よりみなみが頼られる存在になる事を目指して行く。 スタッフ自身が健康で風通しの良い環境の中で仕事ができるよう各々の心掛けやスキルアップ、情報共有、効率の良い働き方等を検討し合いながら、新しい発想を活かしたサービスを提供し、より“みなみ”を利用したいと思っていただけた支援に努めて行きたい。	
重点項目	
1) 子ども達、ご家族のニーズの模索し職員で共有を図る。 ・安心・安全に過ごせる環境を作り、子ども達やご家族の生活の安定を図る。 ・子ども達、ご家族に寄り添いながら必要な支援を共に考える。 2) より安心・安全な環境での医療的ケアに努める。 ・多様な障がいに対応出来る様、職員一人ひとりの知識向上や他機関との密な連携を図って行く。 ・発作や体調など様子の把握に努め、緊急時は迅速な対応やご家族への連絡など安全、安心でできる環境の維持を図る。 3) スタッフのチームワークワークを強化する。 ・職員間の情報共有の機会を通し、働きやすい環境作りやチーム力の強化を図る。 ・未来を見据えた事業体制を検討し、継続的な事業の運営に努める。	
【上半期評価】	【最終評価】
常に意識して取り組んだ事はご家族に寄り添いコミュニケーションを取るという事でした。その成果が実感できる言葉を「ご家族から頂き、励みを更にパワーに変えより良いケアが提供できている」と感じます。スタッフ間の情報共有やチーム力が強化され個々のスキルが上がって来ている為、この環境を維持し未来を見据えた継続の取り組みをしていきたいと思います。 稼働率については、常にご利用キヤンセルを見込めたスケジュールで来ましたが、コロナの影響や体調不良が多く目標達成には届かない結果となっております。地域サービス（日中一時）未契約の市のご家族の要望が強く、みなみと共に声を上げようやく市を動かすまでになりました。前向きに進んで行きたいと考えています。	今年は、感染症の影響を大きく受け突発的なキヤンセルが続いた上に子ども達の体調不良が多く稼働率については、目標達成に到らない結果となっております。上半期と同様スタッフ一同ご家族に寄り添い、困っているレスパイト的にできる範囲でお受入れする事を徹底的に行なったことでご家族とのコミュニケーションを今まで以上に取る事が出来たことは、今後にも活かしていきたいと思っております。 地域サービス（日中一時）未契約の市とは、まだ暫く契約までには至らない状態が続いていますが、ご利用回数を増やしていく等工夫しご家族に不安を与えないように配慮しながら、いつでも契約できる準備を整えておきたいと思っております。 来年度は、チーム力をより強化して業務の見直し検討していきたいと思っております。

2022年度 障がい者生活支援センターみらい事業総括

主管 障がい者生活支援センターみらい

事業方針	
毎月の職員ミーティングの際に事業計画の遂行状況の検証を行いながら、業務に取り組み、昨年もコロナ禍が続く中、オンラインの活用等で期待以上の成果は得られた。2022年度は成果の得られた取り組みとの継続性を意識し、法人理念に基づき、地域で暮らす、障がい児・者への相談支援に利用者本位の立場で取り組んでいく。 業務の効率化を図るため、取り組んでいるチーム分け（計画相談や障がい児相談中心のAチーム、委託相談・障がい者（成人）中心のBチーム）は継続して行く。Aチームはサービス等利用計画書の作成時期管理を徹底し、確実なサービス更新、モニタリングの遂行を心がけ、Bチームは社会参加、社会経験を広げる機会としてこの交流会等の開催を続けて行く。他者とかわる機会を持つ中で孤立感を解消し、趣味や特技を表現する機会を持つ事で楽しさを感じ、自己肯定感や自信を持つ事が出来る支援を行う。そうした機会を具現化出来る様、地域の中にある既存社会資源の活用や他機関、地域住民との連携を強化し、新たな社会資源の発見、創造を進めて行きたい。Bチーム事業ネーミング：『あなたとコネクト事業』『ちいきとコネクト事業』	した。（点字ボード・ラゲイ・視覚障がい当事者会「めねつと」・麻生教室・スロ使用方講座・社会保険労務士等）。今年度 Zoom 契約により、年間 50 回以上、オンライン会議（主催）を開催できた。また事務作業の効率化について、複合機（コピーとファックス）の他、スキャー使用で紙からデータ保存へ移行中）はリース終了後数年経過し、故障も多い事から新規リース導入を検討したい。

重点項目	
- 職員個々やチームでの相談支援力の向上を図る（お客様の役に立てるように・信頼は接し方から） - 職員間での連携力を発展させ、他機関、地域住民との連携する力の向上を目指す。 - 研修等により知識や理解を深め、利用者本位を基本とした質の高いサービス等利用計画書を作成する。 - 相談者への丁寧な対応、柔軟な対応、長期化する課題に対して、継続的な関わりを行う。 - チームみらいの充実を図る（力の出るほうれんそう・信頼は接し方から） - 多様な障がいや生活課題、悩みに対応する中で、職員一人ひとりが抱え込み、孤立する事のない様情報共有やケア対応の体制を作る（ソフト面） - 事務作業（相談・実績記録、計画書作成等）の効率化を図れる環境を整備し、直接的な相談支援の時間の確保に努める。（ハード面） - 災害時や感染症に強い防災対策を検討し、事業の継続を目指す。 『あなたとコネクト事業』の充実を目指す（お客様に喜んでもらえる様に・お客様の役に立てる様に） - 現在の事業の周知を行い、相談支援を身近に感じて頂ける様インスタグラム等の活用や他機関との連携に努める。（繋がりやすい相談支援、情報） - こちらの交流会や当事者会のサポート、オンラインやハイブリット形式等、多様なツールを駆使して交流活動を広げていく。 『ちいきとコネクト事業』を拡げる（地域にもとめられる資源として・地域の資源の活動とつながり） - 社会資源の活用や新たな資源の発見、相談者がみらいや社会資源に繋がりがやすい体制を作る。 - 一人ひとりの表現する力を発見し、発揮できる場や機会をサポートする。	
【上半期評価】	【最終評価】
・月1回のみらい会議で事業計画内容の進捗状況を確認。実行出来ていない点や改善点を協議している。また相談員個々が孤立、疲弊しない様、困難ケースの検討等、体制づくりを心がけた。 ・有料 Zoom の導入・Line の活用が、円滑な連絡・連携に役立ち、効率化が図れている。 ・SNS を含めた周知活動の成果も感じられるが、マンネリ化しないように内容の工夫をしながら下半期も取り組む。	・相談支援（一般相談・計画相談）については2チームに分けるだけ効率的に行えるような取り組みを継続しているが、①関わる人数が増えている、②精神的に不安定な方が多い、③家庭環境も困難な状況にある方が多い、④関わる機関が多様であることから、相談員の負担が多い状況となっている。相談員間のバランスの見直しや相談員の配置を増やしていくことが課題となっている。 ・地域での事業展開については今年度、地域で開催した「フートは自由だ！展」を初開催して多くの地域資源とつながりが出来た。また年間通して公的サービス以外の資源との関わりが増えて積極的な活用につなが

2022年度 広報 兼 個人情報委員会 事業総括

主管 法人本部

(ねらみ)	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
目的	4	委員会開催 役割分担、委員会推進内容についての検討と確認	4	委員活動の各委員の理解は得られている。家庭向け情報紙作成など役割分担を明確にする。
	5	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認	4	家庭向け情報紙の作成案の整理が若干遅れた。ブログ掲載写真の注意など委員会内で周知。
	6	委員会開催 進行状況の確認	3	家庭向け情報紙作成が遅延したため状況を整理確認。
計画	7	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認	3	家庭向け情報紙作成状況、初回送付分の編集内容を最終確認のうえ調整。
	8	委員会開催 進行状況の確認	4	ホームページ、パンフレット見直し箇所を再確認。
	9	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認 個人情報管理規定の見直し	4	コロナ感染対策のため委員会実施せず。家庭向け情報紙の作成は担当者以外が協力して作成した。
評価	10	委員会開催 次号広報誌の構成など掲載内容確認、原稿締切日程の検討、次年度事業計画、予算要請作成検討	4	広報紙作成ページ構成や原稿締切日は確認できたが、掲載内容は次年度まで。
	11	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況の確認 個人情報管理規定の周知	3	家庭向け情報紙編集の発行が予定に沿って実施できた。パンフレット変更箇所を確認。
	12	委員会開催 次号広報誌の進行状況、住所録の確認	2	家庭向け情報紙の発行が遅れあり。また広報誌の各委員担当ページの作成も遅延。
備考	1	委員会開催 情報紙および広報誌制作、ホームページ管理状況、次年度事業計画確認	3	家庭向け情報紙の作成遅延あり。他委員で協力調整する。広報誌も各担当ページの作成遅れあり。進捗状況を確認。
	2	委員会開催 広報誌『さくらの丘』発行、評価検討	3	広報誌の訂正や変更調整に時間がかかり、計画通り発行が出来ない状況。送付先名簿の最終確認実施。
	3	委員会開催 委員会事業内容の分析・評価	4	広報誌『さくらの丘』発行。および家庭向け情報紙、今年度作成分を発送する。

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2022年度 防災対策委員会 事業総括 (障がい者施設)

主管 法人本部

(ねらみ)	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
目的	1	防火対策委員会の定例開催（毎月第2 水曜日）	4	ZOOM 開催で行った。開催月以外も開催(みなみ)
	2	避難訓練、夜間想定訓練、夜間緊急訓練(6月 11月)	3	開催した利用者の避難訓練が実施できていない
	3	防災機器の取り扱い理解	4	避難器具、消火栓使用訓練を行う。
計画	4	防火総合訓練の立案と消防署への届け出	4	消防署と相談し通報と避難器具使用訓練のみ行う。
	5	防火対象物定期点検実施と消防署への届け出	4	カーテン防火タグ欠損箇所直り合わせ予定
	6	非常食用食料品・物品の確認、備蓄調整	4	食料品委員会と合同で開催した(リハセ)
評価	7	非常時の職員駆けつけや非常時職員通報等の検討	3	設備時の自動通報対応の検討継続
	8	停電時等の対応の検討	4	非常時発電機の使用更新検討
	9	非常用備品の管理とメンテナンス	4	定期的に動作確認を行っている
備考	10	非常時の備蓄燃料の確保	5	指定数量の範囲で非常時、定期的に人殺済
	11	非常時の感染対策	2	想定しているが備品や受け入れ態勢未整備
	12	非常時の地域住民との協力体制の確立	4	竹山町内会との連絡・応援体制同意識済み

非常時の感染対策については、外部受け入れの際のスペースの確保、感染予防備品の整備等、施設改修計画時の提案等も引き続き検討していきたい。

町内会との連絡・応援体制の構築

緊急時自動通報が誤報だった場合の職員周知の方法を引き続き検討していく。

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2022年度 カイゴみらい委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計画	1	委員会の開催 毎月第3火曜日	3	委員会開催日程を毎月第2水曜日に変更、趣意の都合で開催できなかった月もある。活動内容について質疑し活動目的を明確にする必要がある。就職相談会、福祉のリアリティーをセミナーと参加・ボランティア活動の両方から見直し、説明会の場での必要。HP のブログを委員会とネットワーク管理者が協力し更新頻度を増やせる様に進めていたが実現は出来ていない。パンフレット等の修正・見直しが必要などがある。合同委員会は開催できていない。
	2	就職相談会・セミナーへの参加・協力	3	Google を活用することで委員が情報共有しやすくなった。就職相談会等で使用する機器を見直す必要がある。
	3	学生へのアプローチ（パンフレット・HP・SNS 等）	2	ここ5年以内の中継採用者を対象にアンケートを実施し情報収集を行った。
	4	高齢との情報共有・合同委員会の開催	2	中継採用者対象のアンケートの情報をもとに、今後HP に採用ページの掲載を検討している。
	5	ICT を活用した情報共有方法の提案	3	
	6	「辞めない職場作り」「働きやすい職場作り」の提案	3	
	7	中途採用者へのアプローチ（パンフレット・HP・SNS 等）	3	
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
備考	※就職相談会等に参加した際、施設説明や紹介動画でPCを使用していますが、会場によってはコンセン トが無い、動作が遅い、会場が遠いところではPCを使っている説明が困難な状況がありました。 委員会だけではなく施設として外部に持ち出し可能なタブレットの導入を検討して頂くことで、就職相談 会だけではなく病院訪問等でも活用できるのではないかと考えます。			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

2022年度 レクリエーション委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
具体的な取り組み	1	○毎月第一木曜日委員会を開催する	4	ほぼ毎月開催出来た
	2	○施設内外でのレクリエーションの計画	3	コロナ禍もあり毎月という訳には いかなかったが、1ヶ月置きにミ ニレク等の行事を開催出来た。施 設外での行事は感染状況や付帯 職員の確保などが難しく実現する ことが出来なかった。
	3	○季節に応じた行事の計画	4	5月～お花見 7月～ジンギスカ ン 8月～夏祭りを実施できた。 下半期は10月にハロウィン振 舞会、12月に年忘れ会食会、2月 にバレンタインパーティーを開 くことが出来、多くのお客様に 参加して頂くことが出来た。 飲食に関わる行事はお客様の反 応も良く、参加率も高かった。 新型コロナウイルスの影響が大き く、また北広島、札幌の感染人数 も落ちることがなかったため、 なかなか実施には至らなかった。
	4	○コロナ禍における外出行事の検討・計画	2	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
備考				

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
1. 全くできていない

2022年度 快適送迎検討委員会事業総括

主管 法人本部

重点項目	月	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計画	4	・乗車前酒気帯り確認の導入・実施	4	10月から導入・実施できた。
	5	・車輦算定評価実施	4	各事業所で車輦管理を行っている
	6	・法人合同委員会の開催	2	合同委員会は開催できなかったが情報交換は行っている
	7	・交通安全啓発活動	3	ポスターによる啓発は実施している
	8			
	9			
	10	・車輦算定評価実施	4	定期の評価を実施し管理できている。
	11	・冬期交通安全啓発活動	4	ポスターによる注意喚起を実施した。
	12			
	1			
備考	2	・冬期交通安全啓発活動	3	メールによる注意喚起を実施した。
	3	・法人合同委員会の開催	3	3月に合同委員会は開催でき情報交換を行った。

評価基準： 6. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

1. お客様に安心して乗車して頂く送迎車の運行及び車輦の管理を行う。
 2. 職員に対し安全運転への啓発活動を行う。
 3. 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まない為に、運転業務に係る職員の健康管理や、送迎車の消毒や換気、乗車前の利用者の健康状態の管理を行う。

2022年度 研修委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	項目	事業内容	実績	
			評価	評価内容
計画	1	・定期委員会（毎月第3水曜日 16:30～） →感染予防と業務効率化のため各拠点（リハセンターとみなみ）でのオンラインリモート会議	4	Zoom 活用し定期開催できた。 オンラインでの実施に慣れ、きて移動時間の短縮など図れている。職員不足の現状もあり参加する委員が決まっているので少しでも実施時間や曜日など参加しやすい調整が必要と思われる。
	2	・資格取得にむけた情報提供（5月） →社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員（申請日や試験日、受験資格要件等）	4	タイムリーに必要な情報を提供することができた。周りでも資格取得にむけて自己学習を行っている職員も見られ自己研鑽の意識をつける機会になったと思われる。資格取得予定者は社会福祉士センター2名、みなみ1名、介護福祉士センター2名、みなみ0名、介護支援専門員センター1名、みなみ3名。研修をそのまま中止せず、代替えとしてでも研修ができて良かった。ケアガイドラン（ケアスタンダード）の理解については95.9%（70/73名）の職員がよく理解できた。理解できなかったが3名（うち直接接遇1名、問診録2名）であった。リハセンターとみなみでオンラインで緊急集合研修、不参加が視認できるような録画。
	3	・施設職員研修会代替え研修（11月～12月） →療養部クラスター発生に伴い予定していた施設職員研修会（グループワーク研修）は中止。代替えとして動画視聴研修を実施。身障者のケアガイドラン解説動画を基に当施設サービスとの重複箇所について、チームケアの観点でどう取り組めば改善できるかを各々職員が検討。 →研修の目的達成度（職員の研修理解）を数値化 →グループワークの一環とまとめの作成と職員への周知 →職員研修会（3月29日）18時～19時 →次年度事業計画報告 →感染予防対策 →職員の理解度を数値化、次年度の取り組みをまとめ	4	
	4			
備考				

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要）
 1. 全くできていない

本委員会は倫理綱領を遵守し、基本理念に基づいたサービス提供が図れるよう、感染予防対策を徹底しながら、職員の資質向上および専門職としての知識向上、チームケアの結束によるサービスの質向上を重点に取り組んでいきたい。

2022年度 食事検討委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	「食べることは生きること」を念頭におき、サービスを利用する人の食事のあり方等、多職種連携の下で口から食べる事のあり方を検討する事を目的とする。		
	1. 多職種連携のもと“食”に関するニーズを再発掘し、それらの中から利用者本位のサービスにつながるよう課題の対応策を協議し改善を図る 2. 食に関する情報提供や啓発を行う 3. 感染症や災害等の不測の事態下でも安定した食事提供ができるよう体制をととのえる		
担当職員	木戸和美・濱本さなえ・水留直樹・松岡真友・笠原清香・西田健徳・中川明日香		
計画	項目	事業内容	実績
	1	ニーズ再発掘に関わる事項全般の協議	評価 4 ニーズ・食環境に関するアンケート実施。次年度に向けた課題提起の足掛かりとなる活動ができた。
	2	「たべもの記念日」の実施による利用者への啓発	評価 4 定期開催できているテーマに幅を持たせる事で、今まで行っていなかった提供を行うことができた。
	3	食や嚥下に関する職員向けの情報交換	評価 4 嚥下に関する職員向け情報を発信する事ができた。
	4	不測の事態下でも安定した食事提供を行うための整備	評価 4 非常食の食地訓練にはいならなかったものの、職員への周知場面を設けることができた。引き続き課題の調査を行っていく
	5	食事環境に関する協議	評価 4 1に同じ
	6	食事摂取基準の周知	評価 4 実施できた
	7		
考 備			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた）
 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直が必要）
 1. 全くできていない

1. 高齢者施設運営管理

(1) 職員の状況

ア. 職員の配置状況

職員配置一覧

四恩園 - 1

2023年3月31日現在

地域サポートセンター四恩園 施設長 神部健史													地域サポートセンターともに
所在地	富々岡509-31 四恩園					里見町6丁目5-1 デイホームさとみ	白樺町1丁目8-2 北広島団地地域交流ホームふれて						
事業	特養					デイ	さとみ	かたる	みなみ	ふれて			
管理者	1	神部健史				(1)《玉邑亜矢》	(1)《深田なつ恵》	(1)《吉田匡貴》		(1)《林晃市》			
管理責任者													
管理人													
計画作成担当													
事務員	4	田村啓之	野尻真美子	中田由美	小倉美佐保	0		1	大日向伸也			(1)	小野崎ひとみ
	出向	前川忍				[1]	二橋久美子					[1]	和田裕
	(1)	山形翔太											
生活相談員	1	清水孝修				0	1	深田なつ恵	2	吉田匡貴	坂本春花		
	(0)					(3)	《富岡啓範》	《吉田舞》	[0]	《1》	《川原規仁》		
相談員・支援員													
作業療法士						1	玉邑亜矢						
理学療法士												1	三浦和紀
介護支援専門員	(2)	《清水孝修》	《長谷川智彦》									[1]	横井内幸恵
主任ケアマネ												1	林晃市
社会福祉士								1	菅原喜代子			5	吉田忠司
機能訓練指導員	(1)	《玉邑亜矢》				(5)	《福岡睦子》	《早坂ひとみ》	[1]	小松好美	瀧澤照美		佐々木祐輔
							《荒居留美子》	《平輝子》			(2)	《岡崎よし枝》	《松島千恵子》
医師	(1)	《對馬伸泰》					《桑原眞差栄》						毛利秀景
看護師	2	布施優子	山崎里恵			(5)	福岡睦子	早坂ひとみ	1	岡崎よし枝			前本睦実
	1	長谷川倫子					荒居留美子	平輝子	[1]	松島千恵子		2	池田千佳
栄養士	(1)	中川敦子					桑原眞差栄			(1)	《菅原喜代子》		神元尚美
介護職員	8	長谷川智彦	横尾真素枝	鈴木優子	横内あゆ美	5	富岡啓範	吉田舞	[3]	徳永眞由美	3	川原規仁	田中こず恵
		渡辺雄太	石田あゆみ	長澤泉穂	福田麻璃花		加藤道子	小山彩花		赤坂洋子		赤瀬江美	
	(5)	藤川輝幸	吉野和代	曾山美奈子	南桂子		本田卓也			稲田知子	(1)	《坂本春花》	
		辻林風花				(1)	新岡君香						
	(2)	伊藤まゆみ	菅原正樹			(0)							
	[12]	相原茜	谷本るり子	柳原祐美	深田育子	[4]	越美穂	村上亜由美					
		木下真梨子	佐々木健了	笠井愛	長南みやび		佐々木知里	吉田麻衣					
		菊川きよ子	品田智恵子	戸田美智子	小池三樹子				(1)	《深田なつ恵》			
	[2]	《ケアアシスタント》	原田良一	前百々音		[0]	《ケアアシスタント》				[0]	《ケアアシスタント》	
	[3]	《フロアアシスタント》	川辺美智子	亀本広美	山本熱子	[1]	《フロアアシスタント》	畑宮妙子					
施設管理員 運転手	1	神原英明				(1)	田畑博幸						
						[1]	米沼善信			[2]	葛西憲司	竹内孝司	
調理員	1	大森卓哉				2	土池康介	小野寺一	[2]	尾野麗子	1	荒関哲平	
	(1)	腰丸宏美				(1)	冬澤たみ子			森麻衣			
	[1]	山口勢津子				(0)							
管理当直者	[5]	塩谷正雄	村井佑	藤田陸	浅野武美								
		田村勤											
清掃員	[1]	山岸今日子											
正職員A	19					8		1		9		9	0
正職員B	(7)					(1)		(0)		(0)		(0)	(1)
継続雇用職員	[0]					[0]		[0]		[0]		[0]	[0]
嘱託職員	(3)					(2)		(0)		(0)		(0)	(0)
パート職員	[24]					[12]		[6]		[6]		[1]	[1]
合計	53					23		7		15		10	2
うち兼務	(4)					(9)		(2)		(6)		(1)	(0)
<備考>													
四恩園 - 1													
正職員A 46名													
正職員B 9名													
継続雇用職員 0名													
嘱託職員 5名													
パート職員 50名													
合計 110名													
うち兼務 22名													

職 員 配 置 一 覧

四恩園 - 2

2023年3月31日現在

地域サポートセンターともに 施設長 向山 篤															
緑陽町1丁目2															
北広島団地地域サポートセンターともに															
事業	ヘルプ				居宅		訪問		サ高住		複合型		グループホーム		
管理者	1	吉永美香			1	新沼右文	《1》	《吉永美香》	1	平野佐緒利	1	奥山智直		1	皆木有子
管理責任者															
管理人															
計画作成担当														2	横山美恵子 畑中 悠
事務員	1	山口由美子								1	向山 篤	1	齊藤玲子		
生活相談員															
相談員・支援員										《3》	菊地新子				
作業療法士											両谷えつ				
理学療法士											小野雅彦				
介護支援専門員					7	伊東賢志朗				《4》	相澤百合子	《1》	《奥山智直》		
主任ケアマネ						早川彩子					清島美穂	1	秋田 梢		
社会福祉士						泉 正人					佐藤久子				
看護師						松沢 恵	2	鈴木直美			岡田修子	《1》	笹森省子		<西町> <東町>
						加藤洋美		加藤 綾				《1》	清野綾子	3	恩田不美代 土田 隆史
介護職員	2	① 梅村 紹子 ④ 渡辺 苑美				松崎千絵						《1》	魚谷真由美		田島里津子
	《6》	② 石田 泉 ③ ドサントス千春 ③ 岸本 浩美				粥川ひとみ	《1》	平田 邦子							
		④ 福田美穂 ② 曾根美幸 ④ 朝倉香織					《1》	北井実恵							
訪問介護員						《1》	中谷紀子								
	《4》	《平野佐緒利》 《菊地新子》 《両谷えつ》													
		《佐藤久子》													
	《1》	① 足田由紀恵													
	《4》	① 池下 淳子 須田 育子 竹谷 紀子													
		桜庭 朋子													
	《2》	② 小田 環 齋藤真貴子													
	《3》	③ 新井喜美子 中村 和代 米山 雅世													
施設管理員 運転手	《1》	移 黒澤 友博													
調理員															
管理当直者	《1》	高橋 裕													
清掃員															
正職員A	4	巡:巡回(夜勤)			8		2		3		8		7		
正職員B	《6》	移:移送サービス運転手			《0》		《0》		《0》		《0》		《6》		
継続雇用職員	《0》				《1》		《0》		《0》		《1》		《0》		
嘱託職員	《0》				《0》		《1》		《3》		《3》		《1》		
パート職員	《15》				《0》		《1》		《7》		《16》		《17》		
合計	25				9		4		13		28		31		
うち兼務	《4》				《0》		《1》		《0》		《1》		《2》		
<備考>															
四恩園 - 2 正職員A 32名 四恩園合計 正職員A 78名															
正職員B 12名 正職員B 21名															
継続雇用職員 2名 継続雇用職員 2名															
嘱託職員 8名 嘱託職員 13名															
パート職員A 56名 パート職員 106名															
合計 110名 合計 220名															
うち兼務 8名 うち兼務 30名															

イ. 役付職員の状況

2023年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
サポートセンター四恩園施設長	神 部 健 史	施設サービス課係長	横尾真素枝
サポートセンターともに施設長	向 山 篤	給食サービス課係長	土 池 康 介
管理課長	大日向伸也	通所介護課係長	吉 田 匡 貴
給食サービス課長	西 野 聡	高齢者地域支援課係長	吉 田 忠 司
施設サービス課長	清 水 孝 修	複合型サービス課係長	秋 田 梢
通所介護課長	玉 邑 亜 矢	会計課経理係主任	田 村 啓 之
高齢者地域支援課長	林 晃 市	管理課施設係主任	神 原 英 明
居宅介護支援課長	新 沼 右 文	施設サービス課主任	鈴 木 優 子
訪問介護課長	吉 永 美 香	高齢者地域支援課主任	佐々木祐輔
サービス付き高齢者向け住宅課長	平野佐緒利	居宅介護支援課主任	伊東賢志朗
複合型サービス課長	奥 山 智 直	給食サービス課主任	石 川 太 貴
グループホーム課長	皆 木 有 子	グループホーム課主任	恩田不美代
施設サービス課係長	長谷川智彦	グループホーム課主任	畑 中 悠

ウ. 年齢

2023年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						合計
	男	女	正職員 A	正職員 B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	
20歳未満	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
30歳未満	3	14	7	2	0	0	8	0	0	14	2	0	1	17
40歳未満	9	8	12	2	0	0	3	2	1	13	1	0	0	17
50歳未満	16	33	28	4	0	0	17	3	6	23	10	5	2	49
60歳未満	6	44	26	10	0	0	14	5	3	26	6	7	3	50
70歳未満	6	43	5	3	2	9	30	2	8	22	8	7	2	49
80歳未満	14	19	0	0	0	4	29	1	4	9	1	2	16	33
90歳未満	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	4
合計	57	163	78	21	2	13	106	13	22	108	28	21	28	220
平均年齢	54歳7ヶ月	54歳5ヶ月	46歳7ヶ月	49歳2ヶ月	62歳9ヶ月	68歳0ヶ月	59歳5ヶ月	52歳7ヶ月	58歳3ヶ月	49歳11ヶ月	53歳1ヶ月	57歳8ヶ月	68歳10ヶ月	54歳5ヶ月

エ. 勤続年数

2023年3月31日現在

区分	性別		職員区分別					職種別						合計
	男	女	正職員 A	正職員 B	継続雇用職員	嘱託職員	パート職員	事務	調理	介護	相談	医療	その他	
3年未満	13	36	11	5	0	3	30	1	4	27	6	4	7	49
5年未満	6	20	7	2	0	1	15	0	2	14	2	1	7	26
10年未満	19	43	18	5	0	6	34	2	8	25	12	6	9	62
20年未満	12	42	24	8	1	3	18	4	6	28	4	7	5	54
30年未満	7	22	18	1	1	0	9	6	2	14	4	3	0	29
40年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	57	163	78	21	2	13	106	13	22	108	28	21	28	220
平均年数	9年4ヶ月	9年10ヶ月	12年5ヶ月	9年9ヶ月	21年6ヶ月	7年1ヶ月	7年10ヶ月	16年5ヶ月	9年9ヶ月	9年5ヶ月	9年3ヶ月	11年9ヶ月	6年9ヶ月	9年9ヶ月

オ. 職員の異動状況

2023年3月31日現在

区分	2022. 4. 1現在	2022. 4. 2～2023. 3. 31		2023. 3. 31現在
		中途採用	退職	
正職員A	79	1	2	78
正職員B	21	2	2	21
継続雇用	2	0	0	2
嘱託職員	12	1	0	13
パート職員	108	18	20	106
合計	222	22	24	220

カ. 居住地

2023年3月31日現在

	北広島市	札幌市	江別市	恵庭市	千歳市	その他	合計
正職員A	46	20	3	6	0	3	78
正職員B	21	0	0	0	0	0	21
継続雇用職員	1	0	0	1	0	0	2
嘱託職員	9	3	0	0	0	1	13
パート職員	97	5	0	1	1	2	106
合計	174	28	3	8	1	6	220

キ. 資格等取得状況

2023年3月31日現在

	管理課	給食サービス課	施設サービス課	通所介護課デイ	通所介護課さとり	通所介護課かたる	高齢者地域支援課	居宅介護支援課	訪問介護課	訪問看護課	サービス付き高齢者向け住宅課	複合型サービス課	グループホーム課	合計
社会福祉士	2	0	3	2	0	3	7	3	0	1	1	2	0	24
精神保健福祉士	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
介護福祉士	1	0	18	8	4	6	5	8	19	0	5	8	14	96
介護支援専門員	2	0	4	2	0	4	7	9	4	2	4	5	3	46
保健師	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4
看護師	0	0	1	2	1	2	2	0	1	4	0	2	0	15
准看護師	0	0	1	5	0	2	0	0	0	1	0	1	0	10
作業療法士	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栄養士	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
調理師	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
認知症指導者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
認知症リーダー研修	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	10
認知症実践者研修	0	0	6	5	1	2	0	1	2	0	1	5	8	31
社会福祉士実習指導者	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	6
介護福祉士実習指導者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
主任介護支援専門員	0	0	1	0	0	0	4	4	0	0	4	4	0	17
実務者研修	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	9
ヘルパー1級	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	8
ヘルパー2級・初任者研修	8	3	12	6	3	1	1	5	20	0	2	2	13	76

(2)職員研修状況

ア. 外部研修実施状況

2022年度

地区	月日	開催地	研修会名称	参加者名
道外			なし	
道内	5月9日 ～ 5月29日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(前期)eラーニング	ドスサントス千春
	6月1日 ～ 11月30日	オンライン	令和3年度介護報酬改定対応「介護施設における安全対策担当者養成研修」(Eラーニング)	神部健史
	6月2日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(前期)ZOOM研修	ドスサントス千春
	6月2日 ～ 6月16日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(中期)eラーニング①	ドスサントス千春
	6月3日	札幌市	令和4年度 札幌市・石狩管内老人福祉施設職員合同研修会	神部健史 向山 篤 新沼右文 清水孝修 林 晃市 吉田忠司
	6月8日 ～ 7月29日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 eラーニング3	中谷紀子
	6月11日 ～ 7月13日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅰ eラーニング1	松崎千絵
	6月17日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(中期)ZOOM研修	ドスサントス千春
	6月17日 ～ 6月24日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(中期)eラーニング②	ドスサントス千春
	6月27日	札幌市	副安全運転管理者講習	奥山智直
	6月20日 ～ 7月18日	オンライン	令和4年度認定調査員(新規)研修会 eラーニング	柳原祐美 深田育子
	7月11日 ～ 7月15日	札幌市	2022年度北海道認知症グループホーム協会 認知症介護実践研修(実践者研修) 講義・演習	深田なつ恵
	7月20日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅰ ZOOM研修1	松崎千絵
	7月20日 ～ 9月6日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 専門研修Ⅰ eラーニング2	松崎千絵
	7月21日 ～ 7月22日	オンライン	令和3年度北海道介護支援専門員 実務研修(後期)ZOOM研修	ドスサントス千春
	7月28日 7月29日	札幌市	令和4年度新任介護職員研修(1)	永井亜美
	7月30日 ～ 10月23日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員更新研修 eラーニング・個人ワーク	粥川ひとみ

地区	月日	開催地	研修会名称	参加者名
道内	8月5日 8月6日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 ZOOM研修3	中谷紀子
	8月23日 ～ 8月24日	札幌市 オンライン	令和4年度全道老人福祉施設研究大会	神部健史 向山施設長 清水孝修 玉邑亜矢 長谷川智彦
	8月24日	札幌市	令和4年度北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編)	福田麻璃花
	8月24日	札幌市	就職氷河期世代のための企業説明会	坂本春花
	8月24日	札幌市	2022年度北海道認知症グループホーム協会 認知症介護実践研修(実践者研修) 自施設実習評価	深田なつ恵
	8月24日 8月25日	札幌市	2022年度北海道認知症グループホーム協会 認知症対応型サービス事業管理者 研修 講義・演習	深田なつ恵
	8月26日	オンライン	コミュニケーション研修～デキる「ハウ・レン・ソウ」	田中こず恵
	9月5日 ～ 10月24日	オンライン	メンタルヘルス研修	長谷川智彦
	9月12日	札幌市	副安全運転管理者講習	吉田匡貴 神原英明
	9月12日 ～ 9月16日	札幌市	2022年度北海道認知症グループホーム協会 認知症介護実践研修(実践リーダー 研修) 講義・演習	秋田 梢
	9月13日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 専門研修 I ZOOM研修2	松崎千絵
	9月29日 9月30日	札幌市	令和4年度社会福祉法人ほくろう福祉協会 認知症介護実践研修(実践者研修) 講義・演習 前期	田島里津子
	10月13日 ～ 12月13日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 eラーニング1・2	伊東賢志朗
	10月25日	札幌市	2022年度北海道認知症グループホーム協会 認知症介護実践研修(実践リーダー 研修)結果報告・自施設実習評価	秋田 梢
	11月4日	札幌市	2022年度北海道生活困窮者支援 情報交換シンポジウム	伊東賢志朗 佐々木祐輔
	11月5日 11月6日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員 更新研修 Zoom研修	粥川ひとみ
	11月10日 11月11日	札幌市	令和4年度社会福祉法人ほくろう福祉協会 認知症介護実践研修(実践者研修) 講義・演習 後期	田島里津子
	11月10日 ～ 1月10日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 eラーニング1・2	吉田忠司 佐々木祐輔
	11月14日 11月15日 11月16日 11月17日 11月18日	洞爺湖町	令和4年度社会福祉法人幸清会認知症介護実践リーダー研修 講義・演習	畑中 悠
	11月15日 ～ 1月6日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 eラーニング3	池田千佳
	11月17日	オンライン	外国人介護人材受入オンライン研修	清水孝修 皆木有子

地区	月日	開催地	研修会名称	参加者名
道内	11月22日 ～ 1月16日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 eラーニング3	横井内幸恵
	11月24日	札幌市	令和4年度社会福祉法人ほくろう福祉協会認知症介護実践リーダー研修 実習のまとめ	福田美穂
	12月6日 12月7日 12月20日 12月21日	札幌市	令和4年度社会福祉法人幸清会 認知症介護実践研修(実践者研修)講義・演習	土田隆史
	12月14日	オンライン	外国人介護人材定着のためのオンライン研修	清水孝修 皆木有子
	12月16日	札幌市	令和4年度社会福祉法人ほくろう福祉協会 認知症介護実践研修(実践者研修)実習のまとめ	田島里津子
	12月19日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 ZOOM研修1	伊東賢志朗
	12月19日 ～ 1月5日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 eラーニング3	伊東賢志朗
	1月11日 1月12日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 ZOOM研修2	伊東賢志朗
	1月16日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 ZOOM研修1	吉田忠司 佐々木祐輔
	1月16日 ～ 1月31日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 eラーニング3	吉田忠司 佐々木祐輔
	1月23日 1月24日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 ZOOM研修3	池田千佳
	1月23日 1月24日	オンライン	令和4年度北海道介護支援専門員 更新研修 ZOOM研修3	横井内幸恵
	2月2日	札幌市	令和3年度 老人福祉施設長研究セミナー	神部健史 向山 篤 新沼右文
		オンライン		清水孝修
	2月2日	札幌市	令和4年度社会福祉法人幸清会認知症介護実践研修(実践者研修)実習報告	土田隆史
	2月5日 2月6日	オンライン	令和4年度北海道主任介護支援専門員研修 ZOOM研修2	吉田忠司 佐々木祐輔
	2月10日	札幌市	令和4年度 第2回キャラバンメイト養成研修	三浦和紀
	2月28日 ～ 4月28日	オンライン	令和4年度介護人材確保総合セミナー	清水孝修
	3月5日	札幌市	令和4年度 福祉のしごと就職フェア	高谷里奈
	3月17日	洞爺湖町	令和4年度社会福祉法人幸清会 認知症介護実践リーダー研修実習報告	畑中 悠
	3月28日 ～ 6月16日	オンライン	デイサービス事業継続・経営改善セミナー	吉田匡貴 林 晃市 深田なつ恵

2. 高齢者施設事業実施状況

居住系サービス利用者状況（特別養護老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・グループホーム）

1. 特別養護老人ホーム四恩園

1) 施設サービス利用者状況

ア. 在籍者人数

2023年3月31日現在

項 目	男	女	合 計
人 数	5	45	50

イ. 年齢別

2023年3月31日現在

年 齢 \ 区 分	男	女	計
50～59歳	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	3	3
75歳～79歳	0	3	3
80歳～84歳	1	9	10
85歳～89歳	2	7	9
90歳～94歳	2	11	13
95歳～99歳	0	9	9
100歳以上	0	3	3
計	5	45	50
平 均 年 齢	87.4	88.7	88.62

※最高102歳

ウ. 利用経路

2023年度3月31日現在

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
12	1	0	0	13

*短期入所、通所介護等在宅サービス利用しながら入所待機され空室後速やかな入所受入実施

エ. 退所理由

2023年度3月31日現在

居宅へ	病院へ	老人保健施設へ	その他（看取り）	計
1	5	0	8 (5)	14

*入院すると見舞うことができない、過剰な医療を望まない、住み慣れた場所で最期までとの理由で看取りケアの希望増加傾向

オ. 在所期間

2023年度3月31日現在

年 数 \ 区 分	男	女	計
1 年 未 満	5	8	13
2 年 未 満	0	7	7
3 年 未 満	0	7	7
4 年 未 満	0	8	8
5 年 未 満	0	8	8
5 年 以 上	0	6	6
10 年 以 上	0	1	1
計	5	45	50
平 均	年6ヵ月	5年7ヵ月	3年2ヵ月

*入所が原則、要介護3以上となり、重度化傾向顕著。在所期間が短期化している

カ. 保険者別

2023年3月31日現在

実施機関名	男	女	計
北 広 島 市	5	41	46
札 幌 市 北 区	0	1	1
滝 川 市	0	1	1
赤 平 市	0	1	1
紋 別 市	0	1	1
計	5	45	50

キ. 月別施設受診状況表（施設外受診）

2023年3月31日現在

	入 所 者				ショート		往 診（ショート）			計 （ショート）
	協力医 療機関 受 診	他病院 受 診	入 院	退 院	受 診	入 院	輪厚三愛	やまと 皮膚科	他	
4 月	18	21	2	1	2	0	0	14 (1)	0	58 (1)
5 月	23	9	2	1	5	0	0	17 (1)	0	57 (1)
6 月	20	15	1	1	12	0	0	14	0	63
7 月	15	10	0	0	2	0	0	18 (3)	0	45 (3)
8 月	16	13	0	0	5	1	0	15 (2)	0	50 (2)
9 月	11	19	0	0	2	0	0	22 (2)	0	54 (2)
10 月	20	15	1	0	6	0	0	21 (3)	0	63 (3)
11 月	19	12	2	1	0	0	0	7 (2)	0	41 (2)
12 月	15	17	2	1	6	0	0	21 (1)	0	62 (1)

1 月	11	21	2	1	6	0	0	15	0	56
2 月	19	15	0	1	6	0	2	11 (2)	0	48 (2)
3 月	22	19	3	2	1	1	1	10	0	59
計	209	186	15	9	53	2	3	185 (17)	0	656 (17)

※()数字は、受診・往診者の数中のショートステイ利用者数状況

ク. 特別養護老人ホーム四恩園身体状況

2023年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0
介護3	15	0	0	1	14	0	0	5	9	1	0	0
介護4	28	0	0	0	28	0	0	4	23	1	0	0
介護5	5	0	0	0	5	0	0	0	2	3	0	0
合計	50	0	0	2	48	0	0	10	35	5	0	0
%	100	0	0	4	96	0	0	20	70	10	0	0
合計	50	50名					50名					

<参考>

障害自立度	J	何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	認知症自立度	I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない		II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる
	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、常に介護を必要とする
				M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

2) 施設サービス行事等実施状況

ア. 行事实績一覧

特別養護老人ホーム四恩園 (ショートステイ含む)

2022年度

月	日	曜日	行 事 名	参 加 人 数				計
				利用者	職員	ボランティア	家族	
5	25	火	お花見食事会	59	10	0	0	69
7	29	木	夏祭り食事会	57	10	0	0	67
9	16	木	敬老会食事会	55	11	5	0	71
12	24	金	クリスマス食事会	55	10	0	0	65
1	1	土	新年交礼会	54	9	1	0	64
計				280	50	6	0	336

※誕生日のお祝いは個別に企画

3) ボランティア受入状況

ア. 定期ボランティア

2022年度

月 日	内 容	団 体 名
月1回	華 道 ク ラ ブ	感染対策のため活動休止
月1回	書 道 ク ラ ブ	
月1回	音 楽 ク ラ ブ	
月1回	車椅子清掃、加湿器清掃、花壇整備	

イ. 月別ボランティア内容

2022年度

月	内 容	人 数	団 体 名 等
4	感染対策による活動休止	0	
5		0	
6		0	
7		0	
8		0	
9	敬老食事会	5	実習大学生による記念品
10	感染対策による活動休止	0	
11		0	
12	退職職員ボランティア	2	
1	新年交礼会	1	元家族会会長
2	職員紹介ボランティア	1	
3	感染対策による活動休止	0	
計		9	

4) 家族ボランティア報告

2022年度

月	日	事 業	家族等参加者数
		花壇整備、加湿器清掃	感染対策のため活動休止

2. グループホーム四恩園

1) サービス利用者状況

ア. 在籍者人数調

2023年3月31日現在

項 目	男	女	合 計
人 数	1	17	18

イ. 年齢別

2023年3月31日現在

年 齢 \ 区 分	男	女	計
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	0	0
75歳～79歳	0	2	2
80歳～84歳	0	2	2

85歳～89歳	0	3	3
90歳～94歳	1	5	6
95歳～99歳	0	4	4
100歳以上	0	1	1
計	1	17	18
平均年齢	90.0	90.4	90.3

ウ. 利用経路

2023年3月31日現在

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
2	1	2	4	9

エ. 退所理由

2023年3月31日現在

居宅へ	病院へ	特別養護老人ホームへ	その他（看取り）	計
0	2	1	6（看取り）	9

オ. 在所期間

2023年3月31日現在

年 数 \ 区 分	男	女	計
1 年 未 満	0	8	8
2 年 未 満	1	2	3
3 年 未 満	0	3	3
4 年 未 満	0	1	1
5 年 未 満	0	0	0
5 年 以 上	0	3	3
10 年 以 上	0	0	0
計	1	17	18
平 均	1.8 ヲ月	4 年 3 ヲ月	2 年 5 ヲ月

カ. グループホーム四恩園身体状況

2023年3月31日現在

		障害自立度					認知症自立度					
		自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし
介護1	3	0	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0
介護2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
介護3	6	0	3	3	0	0	0	2	4	0	0	0
介護4	7	0	0	3	4	0	0	1	5	1	0	0
介護5	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	18	0	6	7	5	0	1	5	11	1	0	0
%	100	0	33	39	28	0	5.5	28	61	5.5	0	0
合計	18	18名					18名					

2)行事実績一覧

2023年3月31日現在

月	日	曜日	行 事 名
4	21	木	レクリエーション会
5	5	木	お花見
8	25	木	夏祭り
9	23	金	家族の集い・敬老会
12	24	土	クリスマス会
12	31	土	年越し
1	1	日	新年の集い
2	3	金	節分
3	3	金	雛祭り

3. サービス付き高齢者向け住宅しおん

1) 利用者状況

ア. 在籍者人数

2023年3月31日現在

項 目	男	女	合 計
人 数	8	25	33

イ. 年齢別

2023年3月31日現在

区 分 年 齢	男	女	計
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	1	1
75歳～79歳	0	0	0
80歳～84歳	0	5	5
85歳～89歳	4	4	8
90歳～94歳	3	11	14
95歳～99歳	1	2	3
100歳以上	0	2	2
計	8	25	33
平均年齢	89.9	89.7	89.8

ウ. 入居経路

2023年3月31日現在

居宅より	病院より	介護保険施設より	その他	計
5	0	0	1	6

※その他は他サービス付き高齢者向け住宅より転居されてきたケース

エ. 退去理由

2023年3月31日現在

居宅へ	病院へ	介護保険施設へ	その他	計
1	1	5	1	9

※その他は逝去

オ. 入居期間

2023年3月31日現在

年 数 \ 区 分	男	女	計
1 年 未 満	3	3	6
2 年 未 満	1	3	4
3 年 未 満	0	5	5
4 年 未 満	0	4	4
5 年 未 満	1	2	3
5 年 以 上	3	8	11
10 年 以 上	0	0	0
計	8	25	33
平 均	4年1ヵ月	4年2ヵ月	4年1ヵ月

カ. 介護サービス利用状況

2023年3月31日現在

なし	通所介護・リハ	訪問介護	訪問看護・リハ	複合型	その他	合計
2	15	23	9	4	3	56

※その他は訪問マッサージ、訪問入浴など ※重複あり

2) 行事実施状況

ア. 行事实績一覧

2023年3月31日現在

月	日	曜日	行 事 名	参 加 人 数				計
				お客様	職員	ボランティア	家族	
5	13	金	花見・買い物外出	5	3	0	0	8
6	24	金	買い物外出	3	2	0	0	5
7	19	火	双葉小花火鑑賞	8	2	0	0	10
8	25	木	ともに夏祭り	27	4	0	6	37
9	18	日	敬老祝賀会	31	5	0	5	41
12	24	土	クリスマス食事会	32	5	0	0	37
12	31	土	年越し夕食会	32	4	0	0	36
計				138	25	0	11	174

3. 高齢者施設月別利用者、稼働率状況

1) 特養・短期利用者実績 (施設サービスク 特養定員 50 名、短期入所 10 名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計(平均)
入所登録(月末入院者)	50名(入院1名)	49名(入院0名)	49名(入院0名)	50名(入院0名)	50名(入院0名)	49名(入院0名)	297名
入所稼働率	97.8	96.3	98.8	98.5	100.0	99.3	98.5
入所・退所者数	入所1名・退所1名	入所1名・退所2名	入所1名・退所2名	入所1名・退所0名	入所0名・退所0名	入所0名・退所1名	入所4名・退所6名
月延べ入院者数(日数)	26名	49名	7名	0名	0名	0名	82名
短期実人員・1日平均	15名222名・7.4名	17名205名・6.6名	18名223名・7.4名	20名292名・9.4名	16名273名・8.8名	18名262名・8.7名	104名1477名8.1名
特養＋短期稼働率	93.8	91.3	94.3	97.7	98.0	97.3	(95.4)
待機者数(各1日付)	74	75	78	76	74	73	75
入所平均介護度	3.56	3.56	3.52	3.55	3.64	3.66	(3.58)
平均年齢	87.74	87.98	88.10	88.0	88.3	88.40	(88.1)
家族面会者総数	77名	73名	29件(53名)	31件(55名)	36件(57名)	33件(55名)	617名

入退所相談調整、入院者0名期間もあり稼働の維持に努められた

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計(平均)
入所登録(月末入院者)	49名(入院1名)	49名(入院1名)	48名(入院1名)	48名(入院1名)	48名(入院0名)	49名(入院1名)	588名
入所稼働率	98.5	97.9	95.8	97.9	98.9	96.7	98.1
入所・退所者数	入所1名・退所1名	入所1名・退所1名	入所2名・退所2名	入所1名・退所1名	入所0名・退所2名	入所2名・退所1名	入所11名・退所14名
月延べ入院者数(日数)	11名	22名	46名	17名	1名	36名	215名
短期実人員・1日平均	19名247名・8.0名	18名235名・7.8名	17名・255名・8.2名	17名・249名・8.0名	15名・180名・6.4名	16名・170名・5.5名	206名2813名・7.7名
特養＋短期稼働率	95.3	94.6	93.5	95.0	93.2	89.7	(94.5)
待機者数(各1日付)	73	72	72	67	67	66名	72名
入所平均介護度	3.68	3.66	3.69	3.66	3.68	3.68	(3.63)
平均年齢	88.38	88.50	88.41	88.58	88.4	88.52	(88.3)
家族面会者総数	34件(53名)	44件(60名)	43件(73名)	48件(61名)	38件(61名)	40件(70名)	995名

終末期看取りにて退所後短期利用からの入所受入にて全体的には稼働減となるも1年を通じ稼働安定

2) 北広島デイサービスセンター四恩園 利用者実績(通所介護課 定員50名; 月間延べ750名未満)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計(平均)
平均利用数	19.8名/日	19.8名/日	19.7名/日	20.4名/日	19.2名/日	21.2名/日	20.0名/日
月間延利用数	516名 68.8%	515名 68.7%	512名 68.3%	531名 70.8%	500名 66.7%	551名 73.5%	520.8名 69.4%
月間実利用数	61名	64名	63名	69名	69名	67名	65.5名
中重度者数	22	24	24	24	25	24	23.8
男女比	21:40	21:43	18:45	20:49	20:49	20:47	20:46
平均要介護度	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.1	2.2
月間延利用(年度平均)	516名 68.8%	515名 68.8%	514名 68.5%	519名 69.2%	515名 68.8%	521名 69.5%	520.8名 69.4%

・コロナ禍での運営が続いており、お客様、職員の中からも陽性報告があったが、事業所内での感染拡大は起きなかった。日々体調変化の早期発見・対応、感染対策の継続・更新に心がけていた成果であると考える。

・毎月の行事等予定表をカラーにし、写真を多く載せる形にしたことについてはお客様・ご家族から高評価をいただいている。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計(平均)
平均利用数	20.3名/日	19.9名/日	19.7名/日	17.7名/日	19.4名/日	19.8名/日	19.8名/日
月間延利用数	527名 70.3%	518名 69.0%	512名 68.3%	461名 61.4%	465名 62%	515名 68.7%	515名 68.7%
月間実利用数	68名	67名	65名	65名	65名	62名	65名
中重度者数	25	26	24	25	25	25	24
男女数	22:46	22:45	19:46	20:45	20:45	18:44	18:45
平均要介護度	2.1	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
月間延利用(年度平均)	522名 69.6%	521名 69.5%	520名 69.3%	514名 68.5%	510名 68%	510名 68%	515名 68.7%

・夏祭り、もちまつりについて、他事業所のお客様にも参加いただけるように企画を進め、その中で他部署の職員との連携を経験することができた。

・ご家族への情報発信は継続できているが、地域に向けての取り組みは不十分であるため、次年度はどのような手段で、何を発信していくのかという点から考え直していきたい。

3) デイホームさとみ 利用実績 (通所介護課 定員 10 名)

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計 (平均)
平均利用数	3.1 名/日	3.0 名/日	2.9 名/日	3.2 名/日	3.7 名/日	3.7 名/日	(3.27 名)
月間延利用数	80 名 30.8%	78 名 30.0%	76 名 29.0%	84 名 35.0%	95 名 36.0%	95 名 36.0%	(84.6 名)
月間実利用数	8 名	8 名	8 名	8 名	9 名	12 名	(8.83 名)
平均要介護度	2.5	2.9	2.9	3.0	2.3	2.3	(2.65)

上半期後半より利用日の増回や新規相談も増加。また、他事業所でコロナウイルス感染症にて休業になり急遽契約ご利用のお客様のケースもあった。9 月、ご利用のお客様のコロナウイルス感染があり休業にはならなかったが濃厚接触者のお客様に休んでいただくことになった。

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計 (平均)
平均利用数	4.3 名/日	4.0 名/日	3.7 名/日	2.7 名/日	3.0 名/日	3.1 名/日	3.3 名/日
月間延利用数	113 名 43.0%	104 名 40.0%	95 名 35.0%	70 名 28.0%	72 名 30.0%	81 名 30.0%	86.9 名 33.7%
月間実利用数	11 名	11 名	11 名	8 名	9 名	10 名	9.4 名
平均要介護度	2.3	2.3	2.4	2.0	1.9	1.9	2.39

10 月から 12 月新規お客様はいなかったがご利用のお客様の体調変化やお休みもほとんどなく安定。12 月後半から 2 月にかけて入院、他サービスへの移行で減少。2 月・3 月新規契約あり少しずつ増加傾向。年間を通して毎月の利用数の変動が多かった。

4) デイホームかたる 利用者実績(通所介護課 定員 33 名 ; 月間延べ 750 名未満)

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計 (平均)
平均利用数	21.3 名/日	21.9 名/日	22.7 名/日	22.6 名/日	23.6 名/日	24.7 名/日	(22.8 名/日)
月間延利用数	534 名 71.2%	590 名 78.7%	592 名 78.9%	584 名 77.8%	638 名 85.0%	641 名 85.5%	(596.5 名 79.5%)
月間実利用数	79 名	85 名	90 名	91 名	95 名	95 名	(89.1 名)
中重度者数	10	9	11	12	14	13	(11.5)
男女比	17 : 62	18 : 67	21 : 69	23 : 68	27 : 68	28 : 67	(25.6 : 66.8)
平均要介護度	1.13	1.09	1.57	1.18	1.25	1.24	(1.18)
月間延利用(年度平均)	558 名 74.4%	562 名 74.9%	572 名 76.2%	596 名 79.3%	608 名 81.1%	609 名 81.2%	(609 名 81.2%)

上半期評価：4 月頃に新型コロナウイルスの流行等から欠席者数が増加したもの、その後利用再開や新規利用希望者の増加により少しずつ稼働率が上昇した。

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計 (平均)
平均利用数	24.4 名/日	21.5 名/日	22.7 名/日	22.0 名/日	23.8 名/日	23.0 名/日	(22.9 名/日)
月間延利用数	635 名 84.7%	517 名 68.9%	590 名 78.7%	594 名 79.2%	573 名 76.4%	622 名 82.9%	(592.5 名 79%)
月間実利用数	95 名	95 名	93 名	91 名	96 名	93 名	(91.5 名)
中重度者数	13	13	10	11	13	11	(11.7)
男女比	28 : 67	27 : 68	25 : 68	26 : 65	24 : 72	24 : 69	(25.6 : 67.5)
平均要介護度	1.25	1.24	1.18	1.18	1.23	1.18	(1.19)
月間延利用(年度平均)	602 名 80.2%	591 名 78.8%	591 名 78.8%	591 名 78.8%	601 名 80.2%	593 名 79.0%	593 名 79.0%

年間評価：11 月に事業所内で新型コロナウイルス感染(クラスター)が発生し、2 日間営業を休止している。北広島市全体でも感染者数が増加し、欠席される方が多い時期であった。2023 年 2 月以降は、利用再開・新規利用希望者の数が増加し稼働率が上昇した。

5) 北広島グループホーム四恩園 利用者実績 (グループホーム課 定員 18 名)

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計 (平均)
グループホーム (定員 18 名)	99.4%	96.6%	98.5%	96.4%	100%	100%	98.5%
月延べ利用者数 (入院日数)	537 (0)	539 (0)	532 (0)	538 (0)	558 (0)	540 (0)	540 名 (0 日)
平均要介護度	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.7	(3.7)
平均年齢	91	92	91	90	91	91	(92 歳)
待機者数 (各月 1 日付)	28	30	22	21	21	21	(23.8 名)
入所者数 (退居者数)	0 (1)	1 (2)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 名 (4 名)
面会件数 (人数)	15 件 (29 名) 10 件 (19 名)	20 件 (33 名) 20 件 (38 名)	25 件 (39 名) 20 件 (32 名)	19 件 (28 名) 24 件 (37 名)	18 件 (28 名) 19 件 (31 名)	15 件 (28 名) 22 件 (32 名)	面会者合計 西町 112 件 (延 185 名) 東町 115 件 (延 189 名)

2022 年度上半期は感染症等もなく、面会も西町東町はほぼ同じくらいの件数だった。入院も 0 件で経過している。

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計 (平均)
グループホーム (定員 18 名)	96.4%	98.3%	92.8%	93.7%	95.4%	99.6%	97.3%
月延べ利用者数 (入院日数)	538 (17)	531 (0)	518 (0)	523 (28)	488 (0)	556 (2)	(533.1 名) 計 47 日
平均要介護度	3.7	3.5	3.3	3.3	3.1	3.1	(3.5)
平均年齢	91	90.2	90.0	90.0	90.1	90.3	(90.6 歳)
待機者数 (各月 1 日付)	21	19	17	17	17	18	21 名
入所者数 (退所者数)	0 (2)	2 (0)	1 (2)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	9 名 (9 名)
面会件数 (人数)	0 件 (0 名) 0 件 (0 名)	13 件 (17 名) 9 件 (11 名)	18 件 (27 名) 24 件 (33 名)	4 件 (7 名) 4 件 (11 名)	14 件 (35 名) 10 件 (14 名)	23 件 (39 名) 8 件 (10 名)	面会者合計 西町 184 件 (延 310 名) 東町 170 件 (延 268 名)

下半期は 10 月、1 月と西町、東町ともに新型コロナウイルス感染症ありゾーニング等の対応行っていた。感染症の影響で、10 月、1 月面会件数も少なく経過しており、イベントはできるだけご家族も同席できるよう努めていた。今年度は、入退居も例年より多く、9 室の入れ替わりがあった。

6) 北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園 (訪問介護課)

	4月件数 (実人数)	5月件数 (実人数)	6月件数 (実人数)	7月件数 (実人数)	8月件数 (実人数)	9月件数 (実人数)	上半期合計 (平均)
介護保険	350件 (55名)	376件 (54名)	396件 (55名)	396件 (56名)	415件 (58名)	395件 (55名)	388件 (55.5名)
介護予防	166件 (28名)	161件 (30名)	134件 (29名)	130件 (30名)	150件 (32名)	143件 (33名)	147.3件 (30.3名)
障害福祉	344件 (25名)	381件 (25名)	356件 (24名)	344件 (24名)	330件 (24名)	320件 (22名)	345.8件 (24名)
複数介助	45件	44件	48件	42件	47件	36件	(43.6件)
合計	905件	962件	934件	912件	942件	894件	(924.8件)
定期巡回 (訪問回数)	434回 (8人)	455回 (7人)	537回 (9人)	485回 (7人)	496回 (7人)	569回 (9人)	(496回 7.8名)
ゆたかさぶらす	5件	5件	4件	5件	3件	8件	5件

上半期 介護保険新規16名、自立支援新規0名 ・終了介護保険10名、自立支援1名

	10月件数 (実人数)	11月件数 (実人数)	12月件数 (実人数)	1月件数 (実人数)	2月件数 (実人数)	3月件数 (実人数)	年度合計 (平均)
介護保険	402件 (60名)	360件 (59名)	368件 (59名)	341件 (50名)	333件 (49名)	413件 (53名)	379件 (53.1名)
介護予防	138件 (31名)	136件 (30名)	163件 (30名)	130件 (32名)	131件 (32名)	153件 (33名)	144件 (31.5名)
障害福祉	365件 (24名)	343件 (24名)	359件 (24名)	313件 (22名)	291件 (22名)	295件 (20名)	(334.8件 22.8名)
複数介助	47件	42件	47件	40件	42件	41件	(42.2件)
合計	952件	881件	937件	824件	797件	902件	858件
定期巡回 (訪問回数)	695回 (11人)	575回 (9人)	624回 (10人)	626回 (10人)	569回 (10人)	671回 (11人)	550回 (9.0人)
ゆたかさぶらす	15件	11件	15件	8件	10件	16件	(7.2件)

下半期 介護保険新規10名、自立支援0名 ・終了介護保険9名、自立支援5名

7) 北広島訪問看護ステーション四恩園 (訪問看護課)

	4月件数 (実人数)	5月件数 (実人数)	6月件数 (実人数)	7月件数 (実人数)	8月件数 (実人数)	9月件数 (実人数)	上半期合計 (平均)
介護保険 (利用数)	113件 (29名)	114件 (30名)	121件 (31名)	7月件数	8月件数	9月件数	121件 (29.8名)
介護予防 (利用数)	27件 (10名)	24件 (8名)	22件 (7名)	124件 (31名)	119件 (30名)	137件 (28名)	19.5件 (7.5名)
合計	140件	138件	143件	15件 (7名)	13件 (5名)	16件 (8名)	141件
医療保険 (利用数)	54件 (8名)	66件 (11名)	68件 (9名)	139件	139件	156件	62件 (9.1名)
総合計	194件 (44名)	204件 (44名)	211件 (47名)	51件 (8名)	57件 (8名)	53件 (9名)	(199.8件)
うち定期巡回 (利用数)	7件 (3名)	11件 (3名)	11件 (4名)	190件 (46名)	189件 (45名)	190件 (44名)	11.3件 (3.2名)

上半期：介護保険新規11名、医療保険新規2名 (新型コロナウイルス感染対応1件) ・終了介護保険12名、医療保険 (看取り) 2名

	10月件数 (実人数)	11月件数 (実人数)	12月件数 (実人数)	1月件数 (実人数)	2月件数 (実人数)	3月件数 (実人数)	年度合計 (平均)
介護保険 (利用数)	119件 (29名)	126件 (28名)	134件 (32名)	130件 (32名)	112件 (30名)	122件 (30名)	122.4件 (29.9名)
介護予防 (利用数)	18件 (9名)	21件 (10名)	25件 (10名)	22件 (9名)	28件 (10名)	29件 (10名)	21.7件 (8.6名)
合計	137件	147件	159件	152件	140件	151件	144.3件
医療保険 (利用数)	65件 (11名)	53件 (8名)	56件 (11名)	70件 (11名)	76件 (11名)	58件 (9名)	(62.5件 9.6名)
総合計	202件 (48名)	200件 (48名)	215件 (53名)	222件 (52名)	216件 (49名)	216件 (49名)	(205.8件)
うち定期巡回 (利用数)	16件 (4名)	14件 (4名)	19件 (7名)	15件 (6名)	18件 (6名)	14件 (6名)	13.7件 (4.4名)

下半期：介護保険新規8名、医療保険新規8名 (新型コロナウイルス感染医療対応5件) ・終了介護保険8件、医療保険 (看取り) 2件

8) 北広島複合型サービス四恩園 実績報告 (複合型サービス課 登録26名)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計 (平均)
実績数	21名	20名	19名	20名	20名	20名	20.0名
新規登録	1名	0名	1名	2名	0名	1名	5名
登録終了	1名	0名	2名	0名	1名	1名	5名
平均介護度	3.4	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2	(3.2)
延べ利用者数	872名	850名	765名	714名	673名	693名	4,567名 (761.1名)
平均利用者数	16.3名	15.8名	15.3名	14.4名	13.7名	14.5名	15.0名
平均年齢	86.4歳	86.1歳	85.5歳	85.4歳	85.5歳	85.5歳	(85.7歳)
面会数	29名	33名	35名	34名	16名	16名	163名

・感染対策をしっかりと実施した中で、8/25にはともに夏祭りを開催した。久しぶりの大きな行事ということもあり、お客様も大変喜ばれていた。その他にも、9/3にはふれてフェスティバルに参加、9/20は複合敬老祭を実施した。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計 (平均)
実績数	23名	22名	21名	22名	22名	22名	21.0名
新規登録	3名	0名	2名	1名	0名	1名	12名
登録終了	1名	2名	0名	1名	0名	1名	10名
平均介護度	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	(3.1)
延べ利用者数	804名	618名	686名	714名	684名	749名	8,822 (735.1名)
平均利用者数	16.1名	12.8名	14.4名	15.0名	15.6名	16.2名	15.0名
平均年齢	86.1歳	85.5歳	84.9歳	84.7歳	85.1歳	85.9歳	(85.5歳)
面会数	4名	3名	2名	2名	5名	13名	192名

・11/1(火)午前、お客様1名熱発。感染対応開始。主治医指示で抗原検査実施し陽性。翌11/2(水)医療機関入院。同日より通所サービスの営業を中止。その後、職員2名・お客様1名が陽性となり自宅療養。11/8(月)より通所サービス通常営業再開となる。

9) サービス付き高齢者向け住宅しおん (サービス付き高齢者住宅課 31 室)

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期合計(平均)
入居登録(31 室)	34 名	34 名	32 名	33 名	33 名	33 名	199 名(33.1 名)
入院者他不在者	5 名(100 日)	5 名(90 日)	3 名(69 日)	1 名(7 日)	1 名(10 日)	2 名(50 日)	17 名 326 日
退去者/入居者	0 名/2 名	0 名/0 名	2 名/1 名	1 名/2 名	0 名/0 名	0 名/0 名	3 名/3 名
稼働率	90.1%	91.5%	93.0%	99.3%	99.0%	95.1%	(94.6%)
平均年齢	89.0 歳	89.3 歳	89.9 歳	89.9 歳	89.3 歳	89.4 歳	(89.5 歳)
平均要介護度	1.7	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6	(1.7)
待機者(すぐ)	47 名(4 名)	45 名(3 名)	35 名(3 名)	38 名(8 名)	39 名(8 名)	43 名(9 名)	(41.2 名)
面会数	56 件(79 名)	56 件(72 名)	59 件(76 名)	71 件(97 名)	61 件(76 名)	56 件(69 名)	(78.1 名)

項目	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年度合計(平均)
入居登録(31 室)	33 名	33 名	33 名	33 名	34 名	34 名	399 名(33.3 名)
入院者他不在者	1 名(31 日)	1 名(30 日)	1 名(20 日)	2 名(43 日)	0 名(0 日)	1 名(16 日)	23 名 466 日
退去者/入居者	0 名/0 名	1 名/1 名	1 名/1 名	0 名/0 名	1 名/1 名	0 名/0 名	6 名/6 名
稼働率	95.1%	96.6%	98.0%	95.7%	98.8%	98.5%	(95.9%)
平均年齢	89.4 歳	89.6 歳	89.7 歳	89.8 歳	89.7 歳	89.7 歳	(89.6 歳)
平均要介護度	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	(1.6)
待機者(すぐ)	43 名(7 名)	42 名(6 名)	43 名(6 名)	43 名(6 名)	43 名(4 名)	43 名(4 名)	(42.0 名)
面会数	37 件(46 名)	34 件(42 名)	63 件(71 名)	67 件(78 名)	70 件(87 名)	75 件(91 名)	(73.7 名)

※面会者数については、事務所で把握している分のみ。

ご夫婦の利用は 2 組。退居後、次の方に入居いただくまでの期間を極力短くするよう対応している。

入院等については、同じお客様が体調変化を繰り返しており、1 回あたりの入院日数が長くなりはじめているため、稼働率の減少につながっている。

建物内に新型コロナウイルス感染症に罹患したお客様等がいた時期については面会者数も減少傾向。

10) みなみ高齢者支援センター 実績報告 (高齢者地域支援課)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 (平均)
相談件数	637件	659件	681件	606件	585件	658件	3,826 (638件)
(実件数)	311件	334件	319件	318件	318件	316件	1,916 (319件)
新規相談件数	25件	19件	15件	23件	23件	33件	138 (23件)
給付件数 (合計)	285件	287件	292件	288件	293件	297件	1,742 (290件)
予防給付件数	104件	105件	112件	108件	111件	111件	651 (109件)
予防給付件数 (再)	43件	43件	40件	41件	44件	44件	255 (43件)
総合事業件数	123件	123件	123件	121件	123件	125件	738 (123件)
総合事業件数 (再)	15件	16件	17件	18件	15件	17件	98 (16件)

上期相談件数が平均 638 件となり、予防給付件数が 232 件で計画値の水準を維持することが出来た。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計 (平均)
相談件数	652件	643件	703件	657件	625件	759件	7,865 (655件)
(実件数)	342件	327件	349件	336件	323件	376件	3,969 (331件)
新規相談件数	21件	31件	26件	27件	25件	27件	295 (25件)
給付件数 (合計)	304件	303件	299件	299件	302件	303件	3,552 (296件)
予防給付件数	113件	110件	109件	106件	107件	110件	1,306 (109件)
予防給付件数 (再)	46件	44件	45件	44件	44件	45件	523 (44件)
総合事業件数	128件	130件	126件	131件	131件	129件	1,563 (126件)
総合事業件数 (再)	17件	19件	19件	18件	20件	19件	210 (18件)

年間を通じて相談件数が月平均 655 件となった。年間の予防給付件数が 235 件となり、相談件数が増加となった。

11) 北広島居宅介護支援事業所四恩園 利用実績 (居宅介護支援課)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計 (平均)
総合事業	15	13	12	13	12	12	77 (12.8)
要支援 1	17	14	12	13	13	9	78 (13.0)
要支援 2	13	14	15	12	13	13	80 (13.3)
要介護 1	149	144	155	161	157	163	929 (154.8)
要介護 2	61	60	58	61	65	66	371 (61.8)
要介護 3	40	39	40	39	40	41	239 (39.8)
要介護 4	22	20	20	20	22	24	128 (21.3)
要介護 5	19	16	17	14	14	16	96 (16)
合計 (1人当たり)	318.5 (35.4)	303.5 (33.7)	310.5 (34.5)	317.0 (35.2)	322.0 (35.7)	323.0 (35.8)	1894.5 (315.7)
初回	21	9	9	16	13	12	80 (13.3)

4月、7月に他事業所の閉鎖 (市内、近隣市町村) による影響により多くのご依頼をいただきました。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計 (平均)
総合事業	12	15	16	14	17	17	168 (14.0)
要支援 1	9	7	7	8	10	11	130 (10.8)
要支援 2	13	13	13	11	12	12	152 (12.6)
要介護 1	163	163	168	165	159	161	1908 (159.0)
要介護 2	64	62	57	59	59	64	736 (61.3)
要介護 3	41	40	41	41	39	39	480 (40.0)
要介護 4	25	25	23	22	20	16	259 (21.5)
要介護 5	15	14	14	15	13	14	181 (15.0)
合計 (1人当たり)	326.0 (36.2)	324.5 (36.0)	324.0 (36.0)	319.5 (35.5)	312.5 (34.7)	316.0 (35.1)	3816.5 (318.0)
初回	9	11	12	12	12	15	151 (12.5)

新規の依頼数 151 件は過去最高となった (2021 年度: 122 件、2020 年度: 97 件)。他事業所の閉鎖やケアマネジャーの退職に伴うご紹介が多く、その後も、市内のケアマネジャーの人数不足の影響で多くのご依頼があった。増員によるケアマネジャーの確保が急務である。

地域交流事業

地域交流ホームふれて来場者数

		年代												来場目的				何で知った			居住地																					
		乳児	小学生	中学生	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	来場者計	喫茶	イベント	ミニ講座	タイ	ふれて通信	ホームページ	友人	その他	栄	北進	広葉	輝美	南	白樺	荏葉	青葉	高台	里見	泉	松葉	緑陽	山手	その他市内	市外		
4月	男性	0	0	0	0	0	0	0	2	1	10	8	0	0	21	13	0	0	8	0	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	1	0	0	0	0	2	0	2	14	42	3	0	64	24	3	0	41	0	8	0	28	3	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	合計	0	1	0	0	0	0	2	2	3	24	50	3	0	85	37	3	0	49	0	12	0	38	3	3	0	0	0	1	1	1	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0	
5月	男性	0	0	0	0	0	0	1	2	3	17	38	1	0	64	28	0	14	22	0	8	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	
	女性	0	0	3	0	0	0	1	0	2	81	118	1	0	210	85	3	23	100	0	17	0	114	0	0	0	1	0	0	3	1	1	0	2	0	3	2	6	2	0	0	
	合計	0	0	3	0	0	0	1	3	4	98	156	2	0	274	113	3	37	122	0	25	0	147	0	0	0	1	0	0	3	1	2	2	7	0	3	2	6	2	0	0	
6月	男性	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14	30	3	0	58	30	0	25	5	0	9	0	36	0	1	0	0	0	2	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女性	0	0	5	0	0	0	1	0	1	44	133	2	0	186	40	5	32	96	0	18	0	100	0	9	0	0	3	0	15	16	0	0	5	4	2	0	0	0	0		
	合計	0	0	5	0	0	0	1	1	10	58	163	5	0	244	70	5	57	101	0	27	0	136	0	10	0	0	3	0	17	23	0	6	5	4	2	0	0	0	0		
7月	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	39	9	0	90	61	15	4	11	0	2	0	50	0	0	0	0	5	5	0	18	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	
	女性	0	0	16	0	0	0	0	0	2	44	120	7	0	189	94	18	12	60	0	30	0	115	1	3	1	0	1	2	42	23	0	3	1	13	7	0	4	1	1		
	合計	0	0	29	0	0	0	0	0	12	63	159	16	0	279	155	33	16	71	0	32	0	165	1	3	1	0	1	2	47	28	0	21	1	13	7	2	5	2	1		
8月	男性	0	1	24	0	0	0	1	0	3	25	41	10	0	118	59	10	35	15	0	14	0	57	0	0	0	0	2	15	10	0	16	4	0	1	1	2	2	1	0	0	
	女性	0	0	54	0	0	0	1	0	6	1	79	76	9	0	227	79	40	63	51	0	8	0	123	0	3	0	0	0	39	18	0	0	7	2	23	5	9	3	0		
	合計	0	1	78	0	0	0	2	0	9	1	104	117	19	0	345	138	50	98	66	0	22	0	180	0	3	0	0	2	54	28	0	16	11	2	24	6	11	5	1		
9月	男性	5	30	51	10	10	22	51	50	129	141	172	23	0	755	60	1	642	32	0	14	0	34	0	1	0	0	0	8	4	0	15	2	0	0	0	1	0	0	0		
	女性	5	30	56	10	10	21	50	52	117	182	209	24	0	826	89	6	656	94	0	22	0	77	2	0	0	0	1	36	21	0	5	6	2	3	1	2	3	1			
	合計	10	60	107	20	20	43	101	102	246	323	381	47	0	1581	149	7	1298	126	0	36	0	111	2	1	0	0	1	44	25	0	20	8	2	3	1	3	3	1			

10月	男性	2	5	15	0	0	0	0	0	0	1	5	1	12	45	62	7	0	155	56	0	47	58	0	25	0	72	0	1	0	0	0	1	0	0	1	24	5	0	21	3	0	1	2	4	0	3
	女性	2	5	22	1	0	0	0	0	0	4	5	12	4	4	65	107	12	0	243	61	1	68	117	0	44	0	115	0	0	1	1	0	4	48	19	0	5	6	3	6	3	7	10	3		
	合計	4	10	37	1	0	0	4	6	17	5	16	110	169	19	0	338	117	1	115	175	0	69	0	187	0	1	1	1	1	1	1	0	5	72	24	0	26	9	3	7	5	11	10	6		
11月	男性	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	15	7	0	40	27	5	0	9	0	22	0	12	0	2	1	0	0	0	7	0	0	18	1	5	0	0	1	0	1	0	1	0	
	女性	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	8	18	57	6	0	94	37	5	0	46	0	74	0	15	0	3	1	3	0	4	29	8	0	8	0	5	1	5	2	1	5	2	1			
	合計	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	21	33	64	6	0	134	64	10	0	55	0	96	0	27	0	5	2	3	0	4	36	8	0	26	9	5	5	1	5	3	1	5	3	1		
12月	男性	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	21	35	3	0	71	50	0	10	14	0	11	0	44	0	1	0	0	0	6	21	4	0	9	10	0	0	0	1	2	0	1	2	0	
	女性	1	0	17	0	0	0	0	0	2	0	5	52	72	3	0	152	66	8	21	68	0	33	0	95	0	1	4	1	0	8	36	14	1	5	17	1	9	4	7	5	0	1	5	0		
	合計	1	0	19	0	0	0	0	0	2	0	15	73	107	6	0	223	116	8	31	82	0	44	0	139	0	2	4	1	0	14	57	18	1	14	27	1	9	4	8	7	0	1	5	0		
1月	男性	0	2	10	0	0	0	0	1	4	3	9	28	25	3	0	85	31	0	43	14	0	1	0	56	0	0	0	0	0	9	19	8	0	8	10	3	1	0	0	6	0	1	0	6	0	
	女性	0	2	10	0	0	0	0	12	1	9	39	55	6	0	134	30	0	52	55	0	5	0	104	0	2	5	0	0	10	49	13	0	0	8	3	5	1	3	7	0	1	3	7	0		
	合計	0	4	20	0	0	0	0	1	16	4	18	67	80	9	0	219	61	0	95	69	0	6	0	160	0	2	5	0	0	19	68	21	0	8	18	6	6	1	3	13	0	1	3	13	0	
2月	男性	0	0	0	0	0	0	1	15	1	5	0	9	33	46	11	0	121	35	0	49	35	0	12	0	35	0	0	1	0	0	2	12	6	1	11	10	0	0	0	0	3	0	1	0	3	0
	女性	0	4	0	0	0	0	10	2	17	1	4	52	66	15	0	171	19	18	40	92	0	8	0	110	0	1	7	1	0	3	46	16	1	2	20	3	2	3	12	3	0	1	2	3	0	
	合計	0	4	0	0	0	1	25	3	22	1	13	85	112	26	0	292	54	18	89	127	0	20	0	145	0	1	8	1	0	5	58	22	2	13	30	3	2	3	12	6	0	1	2	6	0	
3月	男性	1	5	10	0	0	0	0	0	2	0	16	49	52	1	0	136	51	0	40	24	0	14	0	54	0	2	0	0	0	3	12	3	0	18	14	0	0	0	0	3	1	1	1	1	1	
	女性	0	5	10	0	0	0	0	2	5	1	13	104	108	14	0	262	58	3	42	117	0	39	0	129	0	1	8	0	1	7	66	17	0	10	13	0	8	4	4	7	0	1	2	7	0	
	合計	1	10	20	0	0	0	0	2	7	1	29	153	160	15	0	598	109	3	82	141	0	53	0	183	0	3	8	0	1	10	78	20	0	28	27	0	8	4	7	8	1	1	2	8	1	
合計	男性	8	43	130	10	10	11	38	55	72	60	234	417	555	71	0	1714	501	31	909	247	0	136	0	403	0	8	2	0	0	23	125	52	4	145	59	8	3	5	12	16	5	1	5	5		
	女性	8	47	198	11	10	10	41	61	107	59	167	774	1163	102	0	2768	682	110	1009	937	0	306	0	1125	6	26	27	7	5	40	410	167	4	39	93	31	74	24	59	43	6	1	6	6		
	合計	16	90	328	21	20	21	79	116	179	119	401	1191	1718	173	0	4472	1183	141	1918	1184	0	442	0	1618	6	34	29	7	5	63	535	219	8	184	152	39	77	29	71	59	11	1	11			

ふれてイベント実績

月	日	イベント種類	来場数	イベント内容
4	14	ふれてミニ講座	7	ミニ講座『肩こりサヨナラ！楽々肩に！』
	28	ふれてミニ講座	7	ミニ講座『みんなで撃退！詐欺電話！』
		スマホ相談	5	スマホ・パソコン相談
	毎週	ミニ講座	49	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ミニ講座	60	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金） zoom参加者含む
5	6	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	10	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	14	ワークショップ	20	ちーむでとるワークショップ
	19	ふれてミニ講座	16	ミニ講座『食べてるのに栄養不足？～糖質編～』
	28	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『食べてるのに栄養不足？～タンパク質編～』
6	毎週	スマホ相談	7	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	49	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	60	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金）
	3	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	6	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
7	7	イベント	45	映画上映会『みとりし』
	9	ふれてミニ講座	22	ミニ講座『姿勢美人で印象アップ！』
	14	ふれてミニ講座	5	泉町1.3丁目婦人部茶話会『スマホ相談』
	23	ふれてミニ講座	21	ミニ講座『正しいブラッシングの仕方』
		スマホ相談	4	スマホ・パソコン相談
8	毎週	ふれてミニ講座	101	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	47	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金）
	1	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	5	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	14	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『アルコール？除菌スプレー？正しい消毒の仕方』
9	15	イベント	16	心結カフェ『介護について語り合う会』
	28	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『ヘルパーのお手軽クッキング』
		スマホ相談	5	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	77	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	61	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金）
8	4	ふれてミニ講座	4	ミニ講座『デイサービスセンター四恩園の紹介』
	5	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	9	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	19	心結の会	12	心結カフェ『介護について語り合う会』
		スマホ相談	2	スマホ・パソコン相談
9	毎週	ふれてミニ講座	63	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ミニ講座	55	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金）
	1	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『エンディングノートのおすすめ』
	3	イベント	1200	ふれてフェスティバル
	6	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ダーツ』
9	8	ふれてミニ講座	12	ミニ講座『重いの人の生活を知ろう』
	16	イベント	70	吉川よしひろさんチエロコンサート
	16	心結の会	16	心結カフェ『介護について語り合う会』
	29	ふれてミニ講座	15	ミニ講座『障がい当事者が伝える喜怒哀楽』
		スマホ相談	3	スマホ・パソコン相談
9	毎週	ふれてミニ講座	97	いきいき百歳体操（毎週、月・木）
	毎週	ふれてミニ講座	66	ふれてコンディショントレーニング（毎週、月～金）

10	6	ふれてミニ講座 レクレッシュ	15	ミニ講座『視覚障がい者が伝えたいこと』 レクレッシュ『スカットボール』
	7	イベント	0	オンラインお茶会
	13	イベント	13	ふれてそばの日
	20	心結の会	8	心結カフェ『介護について語り合う会』
	21	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『手作り味噌』
	26	ふれてミニ講座	12	ミニ講座『最新の福祉用具』
	27	イベント	15	ふれてハロウィン
	28	スマホ相談	60	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	6	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
	毎週	ふれてミニ講座	119	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月～金)
11	4	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	8	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	18	心結の会	15	心結カフェ『介護について語り合う会』
	24	ふれてミニ講座	6	ミニ講座『菓の飲み忘れについて』
		スマホ相談	3	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	97	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
	毎週	ふれてミニ講座	63	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月～金)
	2	レクレッシュ	6	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	6	レクレッシュ	6	レクレッシュ『スカットボール』
	8	ふれてミニ講座	13	ミニ講座『通達の管理について』
12	16	心結の会	16	心結カフェ『介護について語り合う会』
	23	イベント	15	ふれてクリスマス
		スマホ相談	4	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	92	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
	毎週	ふれてミニ講座	28	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月～金)
	10	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	15	イベント	60	ふれて子ども冬フェス
	20	心結の会	15	心結カフェ『介護について語り合う会』
	26	ふれてミニ講座	12	ミニ講座『デイホームさとみの紹介』
	28	ワークショップ	20	ちーむとるワークショップ
1		スマホ相談	2	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	92	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
	毎週	ふれてミニ講座	28	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月～金)
	3	レクレッシュ	0	レクレッシュ『スカットボール』
	7	レクレッシュ	0	レクレッシュ『輪投げ』
	7	ふれてミニ講座	40	ミニ講座『認知症の人の気持ち』
	11	イベント	78	雪かき交流まつり
	17	心結の会	18	心結カフェ『介護について語り合う会』
		スマホ相談	9	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	70	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
2	毎週	ふれてミニ講座	50	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月・木)
	3	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ラダーゲッター』
	7	レクレッシュ	0	レクレッシュ『ボーリング』
	9	ランチ会	16	ランチ会『さけ弁当』
	9	ふれてミニ講座	18	ミニ講座『介護技術』
	17	イベント	2	ママカフェ
	17	心結の会	20	心結カフェ『介護について語り合う会』
	19	こども食堂	40	子ども食堂
		スマホ相談	14	スマホ・パソコン相談
	毎週	ふれてミニ講座	123	いきいき百歳体操 (毎週、月・木)
3	毎週	ふれてミニ講座	38	ふれてコンディショントレーニング (毎週、月～金)
			3785	

地域交流スペース利用状況(ともに)

(令和4年度)

＜団体利用＞

134

月	団体数	活動室1	活動室2	活動室3	活動室4・5	体育館	グラウンド	まーぶる		ともにの つとい	合計
								大人	子供		
4	3	0	0	6	20	30	0	0	0	25	81
5	6	34	0	16	10	79	30	0	0	26	195
6	4	5	0	8	11	0	35	0	0	133	192
7	8	21	0	14	48	139	38	0	0	43	303
8	6	11	0	14	19	27	30	0	0	40	141
9	6	12	0	7	13	47	22	0	0	33	134
10	10	7	0	7	46	94	31	0	0	0	185
11	16	10	0	0	0	301	7	0	0	14	332
12	13	4	0	14	53	114	0	0	0	67	252
1	11	13	0	13	14	115	0	0	0	0	155
2	15	46	0	22	0	137	0	0	0	17	222
3	36	30	0	17	138	586	0	0	0	43	814
		193	0	138	372	1,669	193	0	0	441	3,006

＜宿泊利用＞

(人)

月	団体数	人数
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	1	25
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	1	67
	2	92

＜個人利用、一般＞

(総人数)

月	利用日数	体育館 活動室	グラウンド	喫茶	キッズ	面会	その他 業者等	体操		販売		合計
								健康体操	ウェルネス	つむら	ヤクルト	地味食堂
4		1	0	66	0	133	241	お客様 一般	162 5	0 0	0 0	0
5		9	0	88	2	231	236	お客様 一般	144 2	0 0	125 2	0
6		2	0	132	1	227	241	お客様 一般	173 22	17 26	140 2	0
7		27	0	180	11	250	298	お客様 一般	168 34	38 34	90 3	0
8		62	0	118	20	200	263	お客様 一般	194 26	50 27	100 3	27
9		55	0	115	8	192	310	お客様 一般	154 31	47 35	60 2	36
10		42	0	41	2	66	206	お客様 一般	119 13	20 15	60 0	24
11		146	0	87	62	125	212	お客様 一般	101 10	33 7	100 0	29
12		77	0	91	21	145	267	お客様 一般	104 11	45 14	105 3	45
1		68	0	80	8	123	237	お客様 一般	120 23	43 18	105 2	28
2		104	0	128	3	166	243	お客様 一般	146 35	75 46	119 2	33
3		240	0	193	24	213	320	お客様 一般	166 39	77 48	116 0	43
	0	833	0	1,319	162	2,071	3,074	お客様 一般	1,751 251	445 270	1,181 22	286 672

総来場者数は15,599人であり、コロナ禍前と比べ半数以下であった。その差の多くは体育館や活動室を利用していた団体の利用減少にある。団

ともにイベント報告

日時	内容
4/14	ミニ講座「肩こりサヨナラ！楽々肩に！」(7名)
4/28	ミニ講座「みんなで撃退！詐欺電話！」(7名)
4月	スマホ・パソコン相談(5名)
5/12	ミニ講座「食べてるのに栄養不足？～糖質編～」(16名)
5/26	ミニ講座「食べてるのに栄養不足？～たんぱく質編」(15名)
5月	スマホ・パソコン相談(7名)
6/9	ミニ講座「姿勢美人で印象アップ！」(22名)
6/15	ともにの集い「チェロ演奏」(133名)
6/23	ミニ講座「正しいブラッシングの仕方」(21名)
6月	スマホ・パソコン相談(4名)
7/20	ともにの集い(43名)
7/25	ともに地域食堂(117名)
8/17	ともにの集い(40名)
8/24	ともに地域食堂(90名)
8/25	ともに夏祭り
9/1	ミニ講座『エンディングノートのすすめ』(13名)
9/8	ミニ講座『車椅子の人の生活を知ろう』(12名)
9/21	ともにの集い(33名)
9/30	ともに地域食堂(92名)
10/6	ミニ講座『視覚障がい者が伝えたいこと』
10/12	ともにの集い
10/13	ミニ講座『家族が急用！どうしよう』
10/27	ミニ講座『介護がここまで楽になる』
10/24	ともに地域食堂(84名)
11/10	ミニ講座『鼻水と咳の秘密』
11/16	ともにの集い
11/24	ミニ講座『薬剤の副作用を知ろう』
11/24	ともに地域食堂(75名)
12/21	ともに地域食堂(108名)
12/22	ミニ講座『マスクの下は大丈夫』
12/24	ともにの集い(67名)

日時	内容
1/20	ともに地域食堂（110 名）
1/12	ミニ講座『定期巡回の紹介』
2/20	ともに地域食堂（114 名）
1/12	ミニ講座『定期巡回の紹介』
2/15	ともにの集い（17 名）
2/25	ともに地域の学芸会（430 名）
3/27	ともに地域食堂（149 名）
3/27	ともに子ども春フェス（85 名）
3/23	ミニ講座『家族に急用どうしよう』（14 名）
3/15	ともにの集い（43 名）

4. 高齢者施設事業方針・計画・各委員会事業評価

2022年度 管理課 事業総括

主管 管理課

事業方針	
近年における自然災害、感染症は人々の生活を脅かし、特に新型コロナウイルスについては、当法人が長年にわたって築いてきた地域との繋がりを希薄化させ、大きなダメージを及ぼした。 先行きの見えない状況の中にあっても、地域やお客様に喜ばれる、役に立てるサービスの提供は必要不可欠であるため、管理課として現場の第一線で働く職員にとっても働きがいを感じられる職場づくりを目指し、安定した運営ができるよう後方支援を行なっていく。	
重点事業項目	
1. 各拠点の情報収集と連携による安定運営 - 各拠点の活動が活発化することによる他拠点の活動内容に対する意識の希薄化を防止するためにチーム会議等による情報共有を図りながら、各拠点、事業の課題を把握しながら、その解決に向けた取り組みの実践と新たな地域交流事業の試行 2. 人材確保と育成、定着 - 次年度採用予定の外国人介護職受け入れのための準備と人材確保、定着に向けた新たな方法について法人本部、カイゴみらい委員会等との連携を図っていく。 3. 自然災害、感染症に備えた事業継続のためのリスクマネジメント - 感染対策委員会との連携による感染症予防、防災対策委員会との連携による自然災害への備え、BCPの作成、快速送迎委員会との連携による車両事故ゼロ、サービス検討委員会との連携による介護事故予防への取組。	
【上半期評価】	【最終評価】
経営会議～幹部会議～チーム会議の一連の流れを作ることと係長以上の幹部職員との情報の共有を図ることができた。四恩園ではデイホームさとみ管理職の交代をきつかけにサポートセンター四恩園会議を開催、ともにお願いもサポートセンターともに会議を開催、各拠点の一体感や早期の課題解決に取り組むことができた。外国人の採用に向けては研修の参加にとどまっていた。下半期は、より具体的な受け入れに向けた準備、受け入れ後の支援体制を構築していきたい。ハローワーク等への求人を出しているものの応募が少なく、職員からの紹介も減っており、人材不足が解消できていない。コロナウイルスによる職員の自宅待機に伴い、各事業所への積極的な応援体制をとることができた。ワクチン接種、抗原検査と多岐に渡るが、スムーズな実施ができた。BCPの作成に取り組むことはできておらず下半期以降、次年度上半期に向けた重点的な取り組みの1つとした。	法人・高齢者施設・拠点・課・係における情報共有についてはICTをうまく活用し、スムーズに行うことができていた。また、問題や課題の解決については、時間を有するものも少なくないため、優先順位をつけ取り組んでいる。ふれて・とにもにおける地域交流事業については、ふれてフェスティバル、ふれて雪かき交流祭、ともに地域の学芸会を中心に再開され、毎月開催のともに地域食卓については多くの方々が来場され、コロナ前の活気を取り戻している。人材確保については、長期助成者の退職者が目立っており、下半期に新たな採用があったため、職員数についてはほぼ横ばいとなっている。外国人採用については準備を進めていく。新型コロナについては上半期感染が目立ったが、スムーズな対応に努めることが出来ている。BCPの作成については法人本部、防災対策委員会と連携を取りながら新年度重点的に取り組んでいく。

2022年度 施設係 事業総括

主管 管理課 施設係

事業方針	
基本理念に基づいてお客様はもとより地域社会への貢献を担う法人職員として各事業が安全、円滑、快適に運営できるように主にハード面における管理業務を主軸とし事業の運営に寄与するものとする。	
重点事業項目	
1) 施設内、設備機器及び備品等の保守点検、法定点検整備、メンテナンス、修繕の実施 2) 施設ご利用のお客様及び職員の送迎、並びに各車輛の法定点検、メンテナンス、修繕の実施 3) 敷地内、及び各拠点の屋外環境整備（除雪、草刈、花壇整備等）の実施 4) その他施設に関わる業務、行事、催し等の補助、及び用務全般	
【上半期評価】	【最終評価】
上半期の評価として施設係として一番成果を上げたのはふれての屋上、基礎部塗装であると振り返る。問題の雨漏りも改善し忙しい中時間をやり取り協力して勝ち取った成功ではあるが、サッシ廻りの漏水や2F屋上塗装等課題は尽きない。四恩園においても同様に経年による問題が次々と発生し、大規模改修を片側においての対応に苦慮している。その他ガラス清掃、ワックスかけ等コロナ化で滞っていた事業についても実施できた事は良い傾向であった。車両については順次更新予定のところだが計画、管理システムの整備等がネックとなっており、思うように進んでいないのは残念であるが委員会の運営と共に使命感をもって取り組みたい。	下半期の振り返りとしてボイラーの修繕費用が予定外の支出として大きなものになってしまったが「お風呂がぬるい」や「床暖がきかない」等の問題は改善できたので良かったものと振り返る。電気料金の値上げ対応についても館内照明LED化工事を随時進めており施設係の角度から節電に取り組んでいるところである。その他車両の更新については程度の良い新古車が見つかりデイホームさとみへの納車準備を進めている次第である。1年を通した振り返りとして大きな事故もなくコロナも危惧された程の拡大もないまま取組の兆しが見えていることから一先ず安堵している。しかしながら先にも触れたような機械設備に突如として発生的かつ致命的な不具合がどこで起きていない状態である事は全国的な市場の品薄状態で早急な対応が困難になる事が予想される為次年度では予防的な取り組みをしていきたい。

2022年度 給食サービス課 事業総括

主管 給食サービス課四恩園

事業方針	
1. お客様満足に向けて各拠点（四恩園・ともに・かたる）のニーズを図り、各拠点ごとの特色を活かし、①生活食（身体・基礎・健康促進・予防）、②治療食（回復・維持）、③行事食（心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝）の三つを柱としてお客様本位の提供に努める。 2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう清掃・衛生管理・健康管理の強化に努める。 3. 地域の行事への参加、つながりに努める。 4. 栄養相談、食事の感心を高め体調不良軽減につながるよう努める。 5. 人材確保、機器導入、マニュアルの作成など業務の効率化を図る。 6. 大規模改修工事に向けて機器の情報収集や改修工事前後の動きを検討する。	重点事業項目 1) 各拠点の特色を活かした食事、行事に取り組む。 2) 清掃・衛生管理、健康管理、機器・設備管理の周知、徹底。 3) 地域の祭、拠点の行事などに参加し、地域の方々となつながら給食サービス課を知ってもらう。 4) お客様の体調管理、行事食などでお客様の気分の高揚につながるような食事を提供していく。 5) 病気、怪我など長期欠勤により人員不足となった場合の対策。機器の導入、職員のスキルアップ、作業の効率化など意見を交換していく。 6) 大規模改修工事に向けて職員・業者間と打ち合わせをしていく。
【上半期評価】	【最終評価】
職員の異動があったが、以前も働いていたこともあり順応は早かった。 面談や普段の業務の中で問題提起や相談などが挙がるが最終的に人手不足という答えにたどり着く。全員が質を落とさない、落とさないことを前向きに話す、それも限界にきているかもしれないと考えることがあった。	職員数が少ないなかでも、いくつかの行事と今までに無かったメニューにも挑戦した一年だった。 下半期の半ばにパート職員が一人辞めてから他の職員の負担が増え疲れ感が見えるがみんな頑張ってくれている。 3月からはメニューも見直し、来年度はなるべく無理のないようにしていきたい。

2022年度 特別養護老人ホーム・短期入所四恩園 事業総括

主管 施設サービス課

事業方針	
四恩園を利用されるお客様とご家族、サービスを提供する職員相互の「想いのカタチ」を創造し、お客様、ご家族の幸せと職員のモチベーション保持に繋がる好循環を生み出し、安全な生活環境の下、将来に向けた施設基盤・組織規律・事業継続の施設風土を築きます。	重点事業項目 1. 感染予防の時代に対応し、向き合う一人に優しいケア体制づくりを実現します。 ・生活支援と感染対策を両立し心のこもった「温かい手」、明るく優しい「笑顔と言葉」、個別に配慮した「丁寧な対応」を基本理念に照らしお客様と居心地と衛生ケアにこだわります。 ・お客様、職員双方にとって安心できる日常ケア、権利擁護に向けた認知症ケア、終末期ケアに努め、職員の介護技術向上と適切な福祉機器を活用した生活空間の提供を目指します。 2. 施設サービス事業の継続に柔軟に対応できる方策の立案検討と分析評価を実施します。 ・施設サービス機能のサステナブル（持続可能事業）と安定した稼働経営、加算や事業所運営の随時評価、BCP（事業継続計画）策定と検計修正、事故リスクの分析評価改善に取り組みます。 ・将来的に予測される施設内の設備修繕、事業所内の ICT 機能、効率的な備品活用の拡大を適宜実施し、事業所内における必要な改修の検討を行います。 3. 自ら考え、自らの実施事業の現状評価と分析対応に資する職員体制づくりを実現します。 ・施設サービス課職員一人ひとりが事業運営に係わりの意識を持ち、適宜現状の分析と事業方針・重点事項の実施状況を職員自らの視点で捉え、改善できる職員体制を築きます。 ・働きやすく、働き甲斐のある施設サービス課職員の人材育成。考課、資格取得におけるスキル向上支援体制と休暇取得の充実。報連相の意識を高め職員連携に感謝の気持ちを持ちます。
【上半期評価】	【最終評価】
感染予防に資する中、また限られた職員体制の中、所長・医師・看護・介護・相談等課内の連携を意識し入退所相談稼働の維持に努めた。入院者0期間を継続した中で病床の期間を維持できた日々は緊張と法人貢献に充実感が繋がった。また看取り対応、想定される入院退所への対応を課内連携にて実施継続。他課への感染対応支援、課内感染対策等職員休暇、退職職員から課内の日常ケア支援が十分に提供できる状況には至らないが個々職員は課内支援提供に必死に向き合っている状況。 人員減の中協力し休暇の取得、新しい役割への取り組み、お客様の慶寿の家族参加・市長来園など時事にに応じた支援に当たることがお客様、職員共に喜びにつながった機会となり下半期もお客様に喜んでもらえる支援を提供していきたい。	入退所調整は各月継続的に展開し、新規入所を含め稼働維持に努めるも入院、看取り対応での退所者もあった。課内職員ご家族の協力理解感染対策の実施において感染に至らず経過できたことは稼働維持及びお客様、ご家族が安心して四恩園で生活を任される要因となった。新しく福祉機器の導入や福祉機器の導入による支援方法の更新、外部給食や地域食堂参加による食への楽しみと新年度には感染予防を継続した外出交流実現への期待も持てる時間となった。実習生受入、インターン、新採用職員との出会いから職員教育育成の機会を通じ、発展的な勤務形態、休息休暇取得、多職種連携の重要性を再認識。新年度の体制に向けて新たな能力の開発・発掘、チーム職及び個々人への変化への挑戦と共に汗を流す者同士感謝の気持ちを継続していきたい。

2022年度 デイサービスセンター四恩園 事業総括

主管 通所介護課

事業方針	
新型コロナウイルス感染症の流行が続く中で、また、法人内に軽度者を対象とした通所サービスを提供する事業所が増え、当中事業所をご利用いただくお客様は軽度者中心から中重度者（要介護3以上、認知症Ⅲa以上）中心に移行しつつある。心身機能が中重度化したお客様の在宅生活を支えるためにはお客様の状態や変化をできるだけ早期に正しくとらえ、その状態や変化に合ったケアを提供すること、すなわち、専門的な知識と科学的根拠に基づいたケアの技術が必要不可欠であると考えている。 北広島デイサービスセンター四恩園は、これまで目指してきたお客様お一人一人が「自然に心と身体が動く」ケアを提供することで心身機能の安定と笑顔を引き出し、お客様はもちろん、介護するご家族や地域をも元気にできる事業所になることに加え、専門的な知識と科学的根拠に基づいたケアを提供すること、さらに感染症や災害への対策の整備により、お客様とご家族ができる限り在宅・地域での生活を継続できることを支えられる事業所となることを目指していく。	
重点事業項目	
1) お客様お一人一人が「自然に心と身体が動く」プログラムと環境作りの継続・更新 ・機能訓練・科学的介護の視点による評価とプログラムの継続・更新 ・体調変化の早期発見・対応、感染症対策の継続・更新 ・施設の改修整備に向けた準備と安心・安全・効率性向上のための用具および機器の検討 2) 介護するご家族や地域を元気にするための取り組み ・ICTの活用によるご家族や地域へ情報発信 ・災害時等にも必要なケアを提供できるための事業継続計画(BCP)の策定 3) 専門的な知識と科学的根拠に基づく評価とケアが提供し続けられる職員の育成 ・職員一人一人が自分ごととして学び実践できる職場環境作り ・加算や事業所運営の評価、リスクマネジメントシートの活用による専門性の向上	
【上半期評価】	【最終評価】
コロナ禍での運営が続いており、お客様、職員の中からも陽性報告があったが、事業所内での感染拡大は起きなかった。日々体調変化の早期発見・対応、感染対策の継続・更新に心がけていた成果であると考え、毎月の行事等予定表をカラーにし、写真を多く載せる形にしたことについてはお客様・ご家族から高評価をいただいている。職員の学びや育成という視点が不十分になっていたことは否めない状況であるため、下半期はその点を重視していきたいと考えている。BCPの作成についても下半期中に取り組みでいきたい。	夏祭り、もちまつりについて、他事業所のお客様にも参加いただけたように企画を進め、その中で他部署の職員との連携を経験することができた。ウイズコロナ、アフターコロナに向け、次年度はさらに多くのお客様・事業所間連携に取り組んでいきたい。 毎月の行事予定表の内容を工夫することで、ご家族への情報発信は継続できているが、地域に向けての取り組みは不十分であるため、次年度はどのような手段で、何を発信していくのかという点から考え直していきたい。 行事の企画、管理業務の一部を一般職員が取り組むことでの職員育成を試みているが結果はまだ見えていない状況。

2022年度 デイホームさとみ 事業総括

主管 通所介護課

事業方針	
デイホームさとみは、一軒家というなじみやすい環境、お客様一人一人の認知機能とお客様・ご家族の価値観に合わせた個別対応で、お客様がやりたいこと、できることを無理のないペースで続けられること、お客様とご家族が日々穏やかに、安心した在宅生活を送れることを目指している。少人数の利点を生かし、行きたい所・見たい風景・食べたいものを個別に対応することも引き続き推進していきたい。 介護保険制度改正と新型コロナウイルス感染症の流行、施設の老朽化への対応困難等により、一軒家、定員10名規模で運営している小規模型の通所介護事業所の閉鎖が相次いでいる。認知症対応型共同住宅介護（グループホーム）の入居者数が増え、認知症加算が算定されている通常規模型の通所介護事業所も増えてきている。一軒家、小規模、単独型の認知症対応型通所介護事業所であるデイホームさとみについても、ハード面、ソフト面双方からその機能を見つめなおすことにも取り組む必要があると考えている。	
重点事業項目	
1) 一軒家、少人数という環境を生かした個別対応などの機能の継続・強化 ・お客様一人一人への個別対応、心配りと優しい接し方の継続・強化 ・相談援助機能と事業所間連携の強化 ・地域との連携、地域への啓発活動 2) 施設・設備の老朽化対策 ・施設・設備の点検と修繕 ・事業継続計画(BCP)の策定に向けた検討 3) 次世代育成 ・開設時から取り組みの理論化、見える化と継承	
【上半期評価】	【最終評価】
4月より、管理者の変更、他パート職員のモチベーションの変化、通所課長、係長含め施設全体からのサポート強化がみられた。8月に1名退職で勤務の変動があった。4・5・6月、お客様の變動ないが、ショートステイ、入浴等で減少傾向。7・8・9月は増え、新規相談から受給、他事業所のコロナウイルス感染で休業となり、臨時でさとみご利用のお客様の、新規契約などで5名増え、登録者12名となる。9月末、利用中のお客様のコロナウイルス感染あり、休業にはならなかったものの、その日ご利用のお客様は濃厚接触者となり、休んでいただくことになった。感染対策の徹底の見直し、再確認を行った。	10月から12月までお客様の安定みられるが、1月入院・他への移行等で減少。2月新規・増回のお客様いるも、3月減少傾向で最終、11月退職員いたが、四恩園との連携、サポートにより変わらぬケアの継続が行えた。少人数を生かしたさとの個別対応、心配りと優しい接し方で、お客様が日々穏やかに過ごされ安心した生活を送っていた1年だった。コロナウイルス感染の対応も緩和されつつ、施設内では対策が厳しい状況だったが、外出行事・3年ぶりのもちつきや、お客様が初めての挑戦を行い、親睦的に活動できた。お客様が行きたい、ご家族が安心して行かせたいと思っていたさとみとして次年度も更に個別対応を継続・強化していきたい。今年度は地域との連携、啓発活動があまり行えなかったの引き続き次年度の課題とした。

2022年度 デイホームかたる 事業総括

主管 通所介護課

事業方針	
デイホームかたるは、在宅支援の観点でお客様の自立支援と在宅生活の継続を援助します。在宅の生活環境や身体状況に応じた規模のあるサービス、お客様個々の要望に基づいて、意欲が高まるアクティビティの充実を図り、活力のある生活を提供します。軽度者に焦点を当て、介護予防や保健的なニーズのあるお客様層も通える場となりえるようなデイサービスを目指していきたい。 地域の社会資源を活用し、地域交流ホームふれてやポランティア、各相談機関と連携をとりながらICTを活用した地域への情報発信などを進め、「オンラインデイサービス」も継続・更新し、地域に役立てるサービスを目指していく。 上記、内容を実践することで、法人の運営している通所介護の機能分化を進め、拠点の強みを活かし、お客様の「元気でいたい」、「学びたい」、「自分勝手に過ごしたい」という願いを叶える事業を目指していきたい。	
重点事業項目	
1) 願いが叶うデイサービスの実現に向けた、活動意欲が高まるプログラムの継続・更新 ・LIFEを活用し科学的介護の視点を持ち、生活歴に着目して意欲の高まる目標設定と評価 ・体調変化の早期発見・対応、感染症対策の継続・更新 ・事業所評価加算の算定要件を満たし、稼働率85%以上を目標と設定 2) お客様と地域、事業所と地域がつながり、支え合える関係づくり ・お客様を介護保険に限定せず、予防や保健が必要な方までを対象としたサービスを検討 ・ICTを活用によるご家族や地域への情報発信 ・オンラインデイサービスの継続・更新、パンフレット、ホームページの更新 3) 職員のスキルアップ、チームワークを高めて、働きやすい職場環境作り ・職員一人一人が考える力を持ち、お客様の役に立てるよう実行できる能力の獲得 ・報道相の徹底、定期的な接遇の見直し ・リスクマネジメントシートの活用による専門性の向上	
【上半期評価】	【最終評価】
・お客様の外出したいお気持ちを考慮し、感染対策をしながら前年度中止した外出行事を実施できた。感染対策を実施する中で、お客様の平常時の状態を常に意識できるようにになった。 ・地域との関わりとして、新しい層が増えはいいない。維持に重点を置き、広げる意識が足りなかった。パンフレットは下半期の作成し、次年度より魅力ある事業であることの宣伝に活用したい。 ・職員が揃わずに、職員が少ない状況での営業が長く続く中、密な連携や自覚性、考えることの重要性を再確認できた。日ごろから意識高く持つ努力をしなければ、必要な時に発端されないため、今後重点的に取り組んでいきたい。	・下半期にふれてイベント再開により、お客様の活動、交流の場が増えた。11月クオスターとなり、12月予定していた室内行事に関しては、準備等職員体制を維持できず中止している。感染対策として常時換気、座席変更を実施。事業所評価加算については、取得要件を満たせず、次年度も算定不可となった。 ・新規獲得に向けた周知活動に関しては、新しい情報発信、パンフレット、ホームページの更新をする予定でしたが、実施出来ていない。パンフレットに関しては写真と文章作成し完成に向けて継続中。 ・働きやすい職場環境作りとして、勤務時間外のサービス残業となつている部分、残業としての部分について変更。必要な業務に関しては時間外手当を支給し、責任を果たしてもらえようように対応。毎日とはいかないが、1時間程度時間削減できている。

2022年度 北広島市みなみ高齢者支援センター 事業総括

主管 高齢者地域支援課

事業方針	
・2022年度は、北広島市地区を担当圏域とする地域包括支援センターとして、地域包括ケアシステムの構築を目指し、「個を地域で支える援助」と「個を支える地域を作る援助」を両輪で実践します。近年は我が事・丸ごと地域共生社会実現本部の設置や重層的支援体制整備事業などから、支え手や受け手という考え方の徹底・年齢による縦割り区別の撤廃など新たな考え方が台頭しつつあり、自助・互助・共助・公助全ての資源をフル活用できるネットワーク作りやマネジメントスキル・コーディネーションスキルが求められるようになりまし。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らして続けることのできるまろづくりを目指し、個別支援と地域づくりの実践に努めます。 ・新型コロナウイルス流行から2年経過し、ワクチン接種や新薬の開発など進みつつありますが、いまだに地域住民への影響は多大なものがあります。コロナ禍からと言って何もしていないのではなく、アフターコロナに向けたチャレンジを図り、フレイルの進行予防やさまざまな連携を深める取り組みを実施します。	
重点事業項目	
1) 「変化に応じた地域包括支援センターの円滑な運営と実践」(個別支援と各種事業運営の実行) ・地域包括支援センターに期待されている役割の遂行、地域情勢の変化に応じた各種事業の実行 ・寄せられる個々の相談における対応力を強化 2) 「フレイル予防を図り、健康寿命を延伸出来る取り組みの活性化」 ・実施方法(オンラインとオフライン)のバリエーションを増大 ・根拠ある取り組みの仕組み作りを前進と多機関連携 3) 「ソーシャルワークのスキルアップとネットワークの拡大」 ・定期的な学習の積み重ねとコンサルテーション ・Winwinの関係作りの進展	
【上半期評価】	【最終評価】
2022年度における上半期は、前年度と同程度の相談対応など業務量を少ない職員人数で実施。優先すべき業務と後に回せる業務を精査し、北広島市地区の総合相談窓口としての機能・役割を果たす事に努めた。職員体制が変更となった影響もあり、業務の役割分担(三職種・専門職・プランナー)もまだ確立できていない状況だが、チームアプローチで職員同士カバーし合いながら、大きな課題を事なく遂行出来ていると評価する。新たなチャレンジの取り組みが停滞しており課題となっている。下半期に向けて感染状況等加味しながら、地域に求められる地域包括支援センターとしての役割を全うできるよう努める。	2022年度は、前年度と比較し、新型コロナウイルスの影響が薄まった1年と言えるところではない。特に大きいのは、地域で行われているイベントやサロン等の活動が活性化している点である。前年度は個別の相談対応中心の業務が主だったが、今年度は個別の相談・地域活動への参加という動きが多く、職員数少ない中での運営だった為、チームマネジメントの面で個々の職員もやりくり苦慮する一年だった。 次年度は職員も一新される事から、まずは地域包括支援センターとしての目的や役割を果たせるよう業務分担・職員個々の役割再確認を行う。法人拠点行事等にも積極的に参加し、地域に求められる資源として認知いただけるよう努める。

2022年度 地域交流ホームふれて 事業総括

主管 地域交流ホームふれて

事業方針	
「人と人のつながり（ふれて かつた）から生きることの喜びを知ろう！！」 人が生きることの究極の目的は、一人ひとりの人格が尊重され尊厳が保持されることであります。ふれては、子供・高齢者・障がい児者など、地域住民一人ひとりがつながることによって、お互いを尊重し尊厳をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるようその実現を目指します。	
重点事業項目	
1) 共生の理念のもと、地域のつながりを増やし、積極的に交流できる場にします。 （2022年度目標：オンラインで田地区の枠組みを超えた新たなつながりの場をつくる） 2) ふれて市民スタッフを増やし組織化します。 3) 地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場にします。 4) 情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場にします。 5) 北広島団地地区の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います。 6) 新型コロナウイルスの流行に伴い、来場者へ感染拡大防止のケアを行います。	
【上半期評価】	【最終評価】
※共生の理念による交流 感染対策の体制を整え、4月より再開しました。久々の開館に地域の方からは「ふれてが開くのを待ってたよ。」「みんなの顔が見れた嬉しかったよ。」「やっぱりふれてがいいね。」等たくさん喜びの声を聞くことができました。9月末での来場者数が2,807名でひと月の平均来場者数が467名となりました。開館時もオンライン体験及びミニ講座は対面と同時進行で進めることにより、インターネットを活用したつながりの輪を継続していきましました。 3年ぶりにふれてフェスティバルを開催し、1,200名の来場がありました。子どもから高齢者まで世代を超えた交流が	※共生の理念による交流 感染対策の体制を整え、下半期は常時開館することができました。1月末での年間来場者数が1,191名で、月平均は297名、コロナ禍以前の月平均800名まではいきませんが、イベント等の再開を通じて少しずつ活気が戻ってきているのを感じています。 喫茶コーナーの運営やイベントの再開への検討・実施など、市民スタッフの主体的活動と、ICTを活用したかたのコンディショナル体験及びミニ講座の発信など、ふれての機能がまた少しづつ地域に周知されてきていると考えます。

実現し、今後もふれてを活用して下さる地域の方一人ひとりが顔の見えるつながりをつくることのできるよう、そしてそのつながりがお互いを支え合えるように市民スタッフを中心に取り組んでいきます。 ※市民スタッフの組織化 新たなスタッフの加入がなかったが、活動の再開に伴い、地域の方との再会や生活リズムの変化など喜びの声が多くあり、市民スタッフにとってもふれてとの関わりがフレイル予防等につながりやすくなる取り組みのコーディネートをしていきます。 ※地域力の向上 ちーむでとるでの活動は、田地区内に56名のベンチ設置を行いました。ベンチ利用者の声を白樺高等学校の生徒へ届けました。今後の関係性づくりの継続してしていきます。 ※情報発信と相談対応 毎月1回発行しているふれて通信とブログを活用し、市民スタッフの楽しそうな活動の様子やイベント参加者の声を掲載し、募集も行っています。またスマホ・タブレット活用での啓発をしています。上半期の相談件数は30件でした。相談をきっかけに、オンライン体験やミニ講座へつながっていき、インターネットもスマホ・タブレットの保有人数を増やしていき、インターネットを活用したつながりづくりの構築を進めていきます。 ※建物管理と環境整備 ふれて及びササセセンターの環境整備については、ふれて市民スタッフ、四恩園各事業所の協力・連携により計画通り実施できました。	※市民スタッフの組織化 新たなスタッフの加入がなかったが、活動の再開に伴い、地域の方との再会や生活リズムの変化など喜びの声が多くあり、市民スタッフにとってもふれてとの関わりがフレイル予防等につながりやすくなる取り組みのコーディネートをしていきます。 ※地域力の向上 ちーむでとるでの活動は、星陵道都大学生・白樺2丁目自治会との連携で2年ぶりに『雪かき交流まつり』を開催することができました。今後もふれてを拠点とした取り組みを継続し、住民の積極的参加による、地域のひとと人とのつながりづくりを進めていきます。 ※情報発信と相談対応 毎月1回発行しているふれて通信とブログを活用し、市民スタッフの楽しそうな活動の様子やイベント参加者の声を掲載し、募集も行っています。またスマホ・タブレット活用での啓発をしています。下半期の相談件数は15件でした。相談をきっかけに、オンライン体験やミニ講座へつながっていき、インターネットもスマホ・タブレットの保有人数を増やしていき、インターネットを活用したつながりづくりの構築を進めていきます。 ※建物管理と環境整備 ふれて及びササセセンターの環境整備については、ふれて市民スタッフ、四恩園各事業所の協力・連携により計画通り実施できました。
---	--

2022年度 北広島居宅介護支援事業所四恩園 事業総括

主管 居宅介護支援課

事業方針	
～きたひろの「ほどよいおせっかい」で孤立させない～ 北広島市の人口は、令和4年には約58000人だが、2045年には約43000人と約16000人の減少が予測されている。年齢性別では、90歳以上の女性が全体の中で一番多く、人口の減少による関係性の希薄化による、8050問題、擁護者による高齢者への虐待のような形で表面化するなど、生活のしづらさを発信できず孤立する状態がよりいっそう深刻になるものと危惧する。 そうした状況においては、支援を必要としているにもかかわらず助けを求めない人への、支援者からの積極的な働きかけ(アウトリーチ)が大変重要になると考えている。支援を必要とする人の発信や申請を待つだけではなく、支援者側から積極的に情報を届ける、自らSOSを出せない人に積極的に支援の入り口をつくる働きかけを大切にしていきたい。 しかしながら、そうした状況に置かれている人の中には、支援に対して大きな抵抗感を持つ人もおり、支援者の一方的な関わりは、より一層支援への抵抗感を植え付けかねない。支援を必要とする人が、支援者に肯定されている、「自分をわかってもらっている(わかってくれている)」と感じることと、このでできる、北広島というまちの実態にあった「ほどよいおせっかい」はどのようなものか、実践の蓄積から考えていきたい。また、定期的に実施している「ミニ講座」もこうした貴重な情報を発信する機会、支援の入り口をつくる機会として位置づけたい。	
重点項目	
1. 目の前の人を一人にしないケアマネジメントの実践	
2. 安定経営と業務改善の取り組み	
3. ひとりひとりが様々な課題を抱えながら暮らすことのできる地域の基盤づくり	
4. 目の前の人を一人にしないソーシャルワーク・ケア育成	
【上半期評価】	【最終評価】
・認知症で独居。支援が必要に見えるが支援を拒んでいるアウトルーチを要するケースについて、「自分でやりたい」「でもできなくなってきた」という葛藤を受け止めながらサポートした。 ・アウトルーチでの「ほどよいおせっかい」には、定期巡回がきつかけとしてよいツールとなっている。 ・ケア支援で、認知症の方の家族の集に参加しているご家族が「つとよい」に出ると、こうしななければならぬと正論を言われて、自分ができないことが辛くなる」と思いを吐露された。 ⇒そのご家族のおかれている状況を理解して、どのような言葉がその家族には響くのか考えなければならぬ。ミニ講座や家族の集いなどに反映させたい。 ・市内の介護住で、長年住んでいたが支払いが困難となって退去するケースが目立ち始めた。物価・燃料費の高騰も背景にはあると思われる。 ・上半期の新規数は78件。例年より50%ほど多かった。他事業所の閉鎖による引継ぎが影響した。 ・主任を配置し、職内の役割を再編成した(8名、各役割の作成、スーパービジョン、社会福祉や相談の価値を職員へ伝えるなど)ことで成長につながっている。	・道内の施設内虐待等の報道を受けて、基本理念にある「人」としての尊厳「ノーマライゼーション」「バーンセンタードケア」について学び、各職員がそれらの価値についてどう考えているかを言語化した。 ・関わりから把握したニーズ：コロナ禍の閉塞感、(町内会活動等)減少による影響、苦しい生計、コロナ情報等へのアクセス(WEB上の情報にアクセスできない)コロナ禍で病院での見取りは希望しない傾向、急性期の入院先が逼迫、在宅医療志向による訪問入院不足介護タスク不足による通院困難、ケアマネの支援終了で、引きこもりなど孤立した状況にある家族のさらなる孤立、引き継ぎ先がない、親の介護と育児のダブルケア・下半期の新規(9～2月)は、55件(月平均11件)と平均を上回った。相次ぐ居宅介護支援事業所の閉鎖や退職により依頼が多く、今後この傾向は継続すると見込んでいる。

2022年度 北広島グループホーム四恩園 事業総括

主管 グループホーム課

事業方針	
グループホームでは、一人ひとりの生活に安心と喜びが持てるよう支援していく。 それぞれの生活や価値観、個性、身体的・精神的状態、認知機能の力など、あらゆる情報や場面から創造力を生かし、意思決定できる場であることを大切に、独自性を尊重した日常生活・社会生活が送れるよう努めていく。 個人の保たれている能力を発揮し、個々の意思を表出できるよう、中核となる職員を中心に継続的なアプローチを実践しチームとして意思実現に取り組んでいく。	
重点項目	
1. 認知症ケアにおける根拠に基づいた支援の展開。	・法人理念、倫理綱領を基本とし、専門職としての知識、技術を探め、アセスメントの視点を広げ評価することでチームにおける意思決定プロセスを共有し、中核となる職員が中心となりケアの展開ができる視点をもつ。 ・定期的なカンファレンスを効果的に展開し、地域資源を活用した実現できるケアの充実を図っていく。 ・行動・心理症状(BPSD)の発生要因を分析し、課題やあり方について客観的・論理的に考察し、実践場面の対応力の充実。 ・資格取得や研修参加など自己研鑽することで職員同士が相互に関わり合いチーム力を高める。 ・看取りへの対応について、ガイドラインをもとに意思決定支援を継続的に進めていく。 ・地域で暮らし続けることを大切に、地域の行事、イベントの参加、ご家族との交流を含め、関わりがとぎれることなく生活できるよう努めていく。
2. 感染対策を行ないながら安全・安心な日常生活の継続。	・基本的な感染対策、マニュアルをもとに、早期発見・対応により蔓延防止に努める。 ・職員一人ひとりが、健康管理・感染予防に努めることで働きやすい環境の継続。 ・感染対策を行ないながらご家族や地域など、社会性を大切にしたい関わりを実現していく。
【上半期評価】	【最終評価】
1. 根拠に基づいた支援を深まるまでに至っていない。研修の中で意思決定プロセスを共有するに留まり、今後の展開やアセスメント力を高めるまでの取り組みができていない。	1. 下半期は、各フロアで新型コロナウイルス発症により、職員が集まって会議や研修が実施出来なかった。各自が目標とした資格取得や自己研鑽に努めた。個人ワークや個別の研修のみで留まっていた。改めて次年度にて、実際の事例やグループワークを通しての共通理解し、支援の展開に努めていきたい。
基本に戻り、改めて専門職としての知識や技術を振り返し、指導できる職員の育成に努めていきたい。個別資格取得に取り組んでおり自己研鑽を継続していきたい。	2. 各自マニュアルや動画でのカウンセリングや演習では学んでいたが、実際に新型コロナウイルスが発症した際の対応について、フロアごとの動きも一部違いがあり随時追加、変更を行う。カウンセリングも個別に再度指導おこなった。
地域との関わりは縮小しながらも始めていたことをこれからも感染症リスクに配慮し実施していきたい。	2. 全体での研修は実施していたが、個別での取り組みが必要であると感じている。個々に見直しできるようにマニュアルやチェックシート等活用し取り組んでいきたい。

2022年度 北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園 事業総括

主管 訪問介護課

事業方針	
お客様一人ひとりの「その人らしい生き方」を在宅で継続するために、尊厳を守りその方の持てる力を 見つけ生活の中でサポートできる介護を、基本理念に基づき実践します。	
訪問サービスを安心・安全に継続し、感染等不測の事態にも対応できる体制を整え、切れ目のない支援 を提供します。ヘルパー人員が減少傾向にあり、在宅生活を支える訪問介護の魅力や医療と福祉の両輪 でお客様を支える重要な職種であることを伝え、新人ヘルパーの獲得と育成を行います。	
重点事業項目	
<重点項目> 1. 「その人らしい生活とはなにか」をチームで統一したケアで実践します。 ・サービス提供責任者を中心としたケース会議を計画手に実施、モニタリングを行う。 2. 認知症ケアの充実をはかる。認知症実践者リーダー研修に参加、認知症ケアの研修を行う ・訪問サービスを安全に継続する体制をつくる。 ・緊急事態の時に実践できるように周知・訓練を行う。 ・訪問時の感染対策ができるように研修・訓練をする。 ・災害時想定した訪問（調理・日常の準備等）の研修・訓練をする。 3. ヘルパーの質の向上に努める。 ・個人研修・全体研修の充実を図る。 ・オンラインを活用した研修、内部講師の研修を取り入れていく ・事例発表をまとめる。 定期巡回随時対応型訪問介護看護の事例をまとめ、介護の振り返りを行う 4. 保険外の巡回サービスを検討する。 ・緊急通報や巡回サービスなど介護保険対象外の利用を検討する。	
【上半期評価】	【最終評価】
ケース会議の頻度は少なく計画通りには実施できず、ケアの実施でき ていないが優先度の高いケースは実施できていた。感 染が広がったこともあり集合研修はできていない。感 染者が出た時の部署内 BCP は作成途中ではあった が、話し合いをしていただいたためスムーズに動いてい た。研修では災害想定、感染対応を実施し振り返り をする。定期巡回利用者は10名と目 立って増加はなかった。居宅・医療機関に少しづつ周 知できていた。新たな保険外サービスについては検 討できていない。	ケース会議は計画通りには実施できなかったが、ケアの緊 急性に合わせた会議はオンライン・文書など工夫して実施で きた。ヒヤリハット報告から展開したケースもあった。感 染により派遣調整を行っていたが、事前に優先度を整理し リーダーの情報共有ができていたため混乱はなかった。個 人研修発表や定期巡回事例発表を実施できた。定期巡回利 用者は月10名で推移しているが、短期利用も含め市内居 宅事業所の周知は広がった。ヘルパーの退職が続き、新人 ヘルパー採用は0であった。今後の夜勤体制維持も含め、 訪問介護の魅力を発信する手段を次年度の課題とする。 保険外サービスの検討は着手できなかった。

2022年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん 事業総括

主管 サービス付き高齢者向け住宅課

事業方針	
お客様的人生の大切な思い出や人との関りを尊重し、その思い出に寄り添い、自分らしく過ごせるよう、 希望があれば看取りまでも支援する。 専門職の連携と法人内のシームレスな支援を実施。 しおんに住むことで地域とのつながりや交流、イベントなどの生活の楽しみ、食べる楽しみを提供する。 日常的な健康観察と運動機会の提供、主治医や支援者、ご家族との連携により、体調管理をおこない、 元気に生活を楽しめるよう支援する。	
重点事業項目	
1. 日々の暮らしの中で安心・安全を実感できる住宅にする。 ・感染対策の徹底、食事・安否確認・運動・生活相談など日常生活をサポートする。 ・主治医や訪問看護をはじめ他部署、他事業所との連携を強化。 ・快適な住環境を目指し、建物管理や環境整備を行う。 ・ケアマネとの連携にてオプションサービスを提供し、安心して住宅に住み続けられるよう支援する。 2. ケアマネの質の向上を図る。（接遇マナーの向上。基本的な介護技術、認知症の知識を習得する。） ・人と人とのつながりから、生きる喜びや幸せを感じられる生活を支援する。 ・お客様同士、職員、ご家族、市民スタッフや地域住民とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を構 築する。 ・家族とのつながりや安心感を提供するため、ご家族との情報共有を図る。 3. 自立支援を促し、健康寿命を延ばす。 ・お客様の感染対策を徹底し感染予防に努める。 ・全体での健康体操や必要に応じて個別の対応を行う。 ・主治医、訪問看護、ご家族との連携を強化し、適切な医療サービスを利用できるよう支援し、体調管理 に注力する。	
【上半期評価】	【最終評価】
感染予防に努めつつも、お客様の生活の質の向上、廃 用性機能低下の予防といった観点から、家族地域との 交流機会をつくり、生きがいある生活をサポートして いる。厨房職員との連携で食生活の充実に取り組んで いる。 ケアマネと連携し、オプション対応や新たなサービス ニーズの掘り起こし提案を行っている。その人によさ わしい生活の場へスムーズに移行できるよう、シーム レスな支援に努めている。主治医や訪問看護、かかり つけ薬局との連携を取っている。入居者の急変を受け、 緊急事態対応の研修を行っているが、予定の研修につ いては見合わせられたままとなっている。	ウィズコロナの生活の中で、感染予防に努めつつ、お客様の 生活の質の向上、暮の創出、廃用性機能低下の防止に取り組 んできた。感染対策で外出や面会の制限が続いている他事業 所が多い中、地域交流事業や家族の参加を得てのイベント実 施など、お客様・ご家族から感謝や満足の声を多数貰った。 ケアマネをはじめ介護サービス事業者、主治医、かかりつけ 薬局、ともに職員との連携を持ち対応。お客様の生活、新た なニーズを把握することで、家族やケアマネと相談し、介護 保険サービスやオプションサービスで、住宅での生活が継続 できるよう努めた。空きがでても待機者を複数抱えており、 空室を作ることなく運営が継続できたことは良かったと考 える。お客様の意向調査と、それに基づく新たなサービス向 上をはかり、住宅での取り組みや法人内連携などについて、 ご家族への周知の機会を作るといった課題が残る。

2022年度 地域サポートセンターともに 事業総括

主管 地域サポートセンターともに

事業方針	
～ 誰もが生涯現役、住民主体の活動と介護予防 ～ 私たちは更なる人と人のつながりがから生きることの喜びを創造し笑顔があふれる支え合いのまち（共生社会）をつくるための挑戦を続けていく。 コロナ収束からの地域活動再開に向けて、新たな市民スタッフの募集と喫茶運営、貸館、地域のお茶の間、出張保育を徐々に再開するとともに、新たにシルバー世代を中心とした活動・就労による体育館を使った介護予防事業の検討と、ともに調理場を主とした地域食堂のスタートについて、地域の方々（市民スタッフ）・行政とともに三位一体で積極的に取り組んでいく。	
重点事業項目	
北広島市において、平成22年3月につくられた北広島団地活性化計画の基本方針に3つの理念がある。 一つは「北広島団地に住み続けられること」、二つ目は「将来、住民となる次世代のこと」、三つ目は「北広島団地の魅力アップ」。私たちはこれらの理念のもと、四つ目に「生涯現役、シルバー世代の活動と就労」、五つ目に「ICTを活用したつながりづくりとフレイル予防」を加え、地域サポートセンターともにが持つ特性を有効に活用し、事業計画に示す20項目の取り組みを実践する。 ※ 5月再開に向けた検討 1)北広島団地に住み続けられること (賑わいや交流の場づくり、地域コミュニティの再生、安心して暮らせる環境づくり) 2)将来、住民となる次世代のこと (住み替えの支援、子育て世代の転入促進) 3)北広島団地(さんぽ街)の魅力アップ (まちの魅力づくり、地域資源の活用、情報の発信) 4)生涯現役、シルバー世代の活動と就労 5)ICTを活用したつながりづくりとフレイル予防	【上半期評価】 ≫ 北広島団地に住み続けられること 1/8-4/10 コロナによる休館。それ以外は通常通り活用出来た。Zoom などオンラインを活用した体験ミニ講座などの交流、市民スタッフによる農園、今年より地域食堂を開始しお客様・市民スタッフ・地域住民と交流することができた。又、フレイル予防のため、サ高住お客様はコンディショントレーニングを実施。又 Zoom によるオンライン体験(ふれて、かたをとの連携)を継続できた。 【最終評価】 ≫ 北広島団地に住み続けられること 10/2-10/19, 11/2-11/8 コロナによる休館。それ以外は通常通り活用出来た。体験ミニ講座などの交流、市民スタッフによる農園、今年より地域食堂を開始しお客様・市民スタッフ・地域住民と交流することができた。又、フレイル予防のため、サ高住お客様はコンディショントレーニングを実施。又 Zoom によるオンライン体験(ふれて、かたをとの連携)を継続できた。

≫ 将来、住民となる次世代のこと 1/8-4/10 コロナによる休館。それ以外は通常通り活用出来た。法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできている。又、各事業所によるタブレットを活用した業務効率化・多職種連携を実践している。 ≫ 北広島団地(さんぽ街)の魅力アップ 通信は毎月発行。ホームページを活用し各事業所情報の発信準備している。又、2月には地域の学芸会の開催。春には中学野球部による合宿も実施する。 ≫ 生涯現役 シルバー世代の活動と就労 予定通り生涯現役事業を実施している。ワークショップを開催しながら、住民・企業アンケートや先進地視察、住民ワークショップ、シンポジウムを開催できた。 ≫ ICTを活用したつながりづくりとフレイル予防 Zoom を活用したオンラインミニ講座、コンディショントレーニングを予定通り実施。シルバー世代の ICT 活用を増やすため、個別相談も25件実施できた。	≫ 将来、住民となる次世代のこと 10/2-10/19, 11/2-11/8 コロナによる休館。それ以外は通常通り活用出来た。法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできている。又、各事業所によるタブレットを活用した業務効率化・多職種連携を実践している。 ≫ 北広島団地(さんぽ街)の魅力アップ 通信は毎月発行。ホームページを活用し各事業所情報の発信準備している。又、2月には地域の学芸会の開催。春には中学野球部による合宿も実施する。 ≫ 生涯現役 シルバー世代の活動と就労 予定通り生涯現役事業を実施している。ワークショップを開催しながら、住民・企業アンケートや先進地視察、住民ワークショップ、シンポジウムを開催できた。 ≫ ICTを活用したつながりづくりとフレイル予防 Zoom を活用したオンラインミニ講座、コンディショントレーニングを予定通り実施。シルバー世代の ICT 活用を増やすため、個別相談も30件実施できた。
--	---

2022年 感染対策・衛生委員会 事業総括

主管 障害施設・高齢者施設合同

重点項目	事業内容		実績	
	月	事業内容	評価	評価内容
計画		1. すべての職員が感染症に対する適切な判断と迅速な行動を行うことができる。 ・標準予防策(スタンダードプリコーション)を理解し実践できる。 ・統一した感染マニュアルを活用できる ・全ての職員が COVID-19 感染対策を周知徹底ができる。 2. 安全で安心な生活(職場)環境を整備する。 ・職員の身体的精神的な健康の増進に努め、働きやすい職場風土をつくる。		
	4	COVID-19 感染対策の見直し、職員検診日程調整 研修内容の決定(年2回) 定例委員会 4/15	4	定例委員会 4/22 参加11名 研修計画立案
	5	COVID-19 感染対策の周知、マニュアルの点検換点ごとの対応の確認 定例委員会 5/20	4	定例委員会 5/20 参加10名 各拠点におけるミーティング 検討5/13
	6	COVID-19 感染対策の周知、マニュアル点検 春季職員検診実施・振り返り定例委員会 6/17	4	定例委員会 6/17 参加10名 委員会作成動画を使用した 感染研修予定
	7	COVID-19 感染対策の周知、研修① 定例委員会 7/15	4	定例委員会 7/15 参加11名 各イベント開催 他の確認
	8	COVID-19 感染対策の周知 定例委員会 8/19 感染対策巡回①	4	定例委員会 8/19 参加12名 感染研修終了。 コロナワクチン4回目終了 8月30日から療養部クラスター発生で委員会中止 各拠点でガイディング 再研修
	9	COVID-19 感染対策の周知・感染対策巡回② 秋季職員検診の実施 定例委員会 9/16	3	

10	1	0	感染対策研修② (ICT を使用) インフルエンザ予防接種の徹底確認 定例委員会 10/21	4	定例委員会 10/21 参加 13 名 GH 西町 クラスタ、通所みなみクラスタの振り返り報告 定例委員会 10/18 参加 11 名 コロナワクチン接種(5回目) ストレステック WEB 入力開始	
	1		COVID-19 感染対策の周知・インフルエンザ予防接種時期決定 ストレステックについて 定例委員会 11/18	4	定例委員会 11/18 参加 11 名 コロナワクチン接種(5回目) ストレステック WEB 入力開始	
	1	2	COVID-19 感染対策の周知・手洗い巡回実施① 定例委員会 12/16	4	定例委員会 12/16 参加 11 名 研修を動画視聴形式に決定	
	1		COVID-19 感染対策の周知・手洗い巡回実施② 定例委員会 1/20	4	定例委員会 1/20 参加 12 名 マニュアルの見直し	
	2		COVID-19 感染対策の周知・手洗い巡回結果報告・今年度の反省 定例委員会 2/17	4	定例委員会 2/17 参加 11 名 研修振り返り、マスク着用に ついて議論	
	3		次年度計画立案 定例委員会 3/17			
備考			・各拠点の部署における感染状況を把握し委員会で報告する。 ・感染対策等の助言を各部署へ伝達する。 ・障害施設、高齢者施設の拠点における部署ごとの感染研修の助言を行う。			

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた) 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2022年度 防災対策委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	本委員会は、火災発生や自然災害に備えるとともに、発生した被害を最小限にとどめられるよう防災訓練の企画、立案を行い、その結果を踏まえ課題を抽出し、チーフ会議、幹部会議へ諮問する役割を持つ。また災害時に使用する機器の定期的管理を行うことでスムーズな活用が出来るようにすることを目的とする。		
委員	項目	事業内容	実績
計画	1	訓練の実施について ・防火訓練 ・地震訓練 ・連絡網訓練（情報伝達訓練） ・夜間休日想定訓練	評価 評価内容 4 防火訓練・緊急連絡網については9月に実施。地震訓練を3月中旬に調整中。
	2	設備、資機材、備蓄品の管理について ・防災設備 ・食料、飲料水 ・備品、資機材	4 災害時の食料確保について、クックデリ株式会社による試食会を開催。導入を進めていく。
	3	研修（防災教育）について ・会場研修 ・オンライン研修 ・課内研修 ・外部研修	1 新年度、研修委員会と連携し、職員向け研修を開催してまいりたい。
備考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2022年 食事検討委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	1日3回の食事の機会は「生きている喜びを感じること」、「食べることは生きること」を念頭に置き、四恩園のサービスマンを利用する人の栄養摂取情報や食事のあり方等、他職種連携の下で口から食べる食事のあり方を検討する事を目的とする。 1.経口摂取が困難な人への日常の食事のあり方、食事の姿勢や環境、口腔ケアに関する検討 2.施設・在宅高齢者、要介護者の食事に関する情報提供や啓発活動に関すること 3.施設内の行事食に関すること、お客様の嗜好に関すること、食に関する研修の企画、立案 4.各拠点給食サービスマンとの連携により給食提供支援の負担軽減を図る		
委員	委員長：西野聡 委員：長谷川倫子 土池康介 如中悠 田中こずえ 荒閑哲平 横内あゆみ		
計画	事業内容	実績	評価内容
	1 各拠点給食サービスマン課状況把握及び食事提供方法の検討		地域食堂の報告、反省。
	2 施設・在宅お客様の食事摂取と栄養状況把握		行事食の検討、実施。新メニューの考案、実施。
	3 食事提供環境、口腔ケアの取り組み検討		各部署のお客様の状況把握。
	4 外部給食提供の資源確認と各給食拠点への情報提供		
	5 各拠点食事提供方法の確認と感染・非常時対策		
	6 障がい施設委員会との情報交換・研修企画		地域食堂の報告、反省。行事食の検討、実施。新メニューの考案、実施。各部署のお客様の状況把握。今後、障がい施設委員会との情報交換をしていきます。
備考			

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分ではない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2022年度 研修委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	サービス向上委員会が目指す職員像「倫理綱領を遵守しながら基本理念の具現化できるサービスが提供できるようになるために自己研鑽できる職員」に向けて、職員の知識・技術・価値(倫理)を高められるよう、取り組みの計画化と研修を実行する。 1. 法人サービス向上委員会と連携し、各種研修等をバックアップ 2. 高齢施設研修委員会主催研修の定期的な開催 3. 障害施設研修委員会との足並みをそろえた取り組みの実施			
	[委員長]林 晃市 [委員]皆木 有子、泉 正人、吉田 忠司、三浦 和紀			
計画	月	事業内容	評価	実績
	1	□法人サービス向上委員会と連携し、各種研修等をバックアップ ・研修の体系化と計画化の提案 ・研修実施時の準備や後片付け実施	4	サービス向上委員会へ参加継続中。新規採用職員研修や管理職研修を中心にバックアップを実施。また、次年度の取り組みに向けて意見交換を実施した。
	2	□高齢施設研修委員会主催研修会の定期的な開催 ・2022年度研修計画(案)の策定 ・サービスの質の向上に向けた研修会の実施(年2回以上) ・外部研修のお知らせ実施等	2	2022年度の取り組みは、結果として毎月の委員会の開催、次年度に向けた研修計画の聞き取り(各部署・各委員会委員長へ)程度で、ベリアゴーズを活用した研修会はコロナ禍によるグループワーク実施の改題解決に至らず実行には至らなかった。
	3	□障害施設研修委員会と足並みをそろえた取り組みの実施 ・障害施設研修委員会との意見交換会を複数回企画	2	委員会同士での意見交換は実施出来ていない。委員長同士は、サービス向上委員会時ににおいて進捗の確認を実施していた。
備考				

2022年度 広報・個人情報保護委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	1) 施設における事業の透明性を図り、サービス利用者に限らず広く地域全体へ法人の取り組みの広報活動を行う。 2) 個人情報、法人情報の適切な活用、管理方法を検討し提案を行う。			
委員	[委員長] 佐々木祐輔 [委員] 玉邑矢失 鈴木優子 伊東賢志朗 早川彩子 松沢 恵 松崎千絵			
	項目	事業内容	評価	実績 評価内容
	1	☐ 機関紙の発行 定期的に（年3回）機関誌を発行する。そのための記事・写真の収集、編集を行う。	4	5月末に第53号発行、2023年1月中旬に第54号発行。第55号発行は年度内に作成の予定。
	2	☐ ウェブサイトの運営及び活用 随時更新及び保守作業。 各事業所ページの効果的な活用を検討し作成する。	4	ブログの更新等は随時実施中。各事業所ページとチラシ作成についても、順番通りではないが随時進めている
計画	3	☐ 個人情報保護・情報セキュリティマネジメント マルウェア、セキュリティ、個人情報保護、ネットリテラシーなどICT機器やインターネットに関する知識啓蒙。 対策ガイドライン・インシデント報告提案。	4	エモットウィルス他、疑わしきメールやホームページについて引き続き報告連絡や注意喚起の体制を維持している。
	4	☐ 研修の企画、立案 セキュリティ・ネットリテラシーに関する研修を行う。（障がい施設との合同研修）	3	個人情報やプライバシーの研修について、まず委員会内で開催した。次年度法人の研修として企画したい。
備考				

2022年度 カイゴみらい委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	事業内容		
	項目	事業内容	実績
委員	本委員会は若手職員を中心に人材確保の方法について検討する。 小、中、高校生や福祉専門職養成機関に限らない幅広く社会福祉、介護福祉の魅力を伝えるための企画、立案し、実行する。 1. 社会福祉、介護福祉の仕事の啓発活動。(若年層：小、中、高校生を含む) 2. 事業紹介、相談会に関すること。(オンライン開催の検討と実施) 3. 広報活動に関する企画立案・実施・ホームページの活用。 【委員長】 高 谷 里 奈 【委員】 石 田 あ ゆ み、渡 辺 苑 美、坂 本 春 花、前 本 睦 実		
	1	定例委員会 毎月1回	4
	2	幅広く福祉の魅力を伝える広報活動・啓発活動への企画、実施 (ホームページの工夫と活用・出前講座等)	3
	3	若年層へ福祉に興味関心を抱いてもらう企画、実施 (ホームページ・オンライン相談会)	2
	4	各就職相談会・就学セミナーへの積極的な参加 (開催される相談会に応じた参加の工夫)	4
計画	5	専門学校・大学への就職相談会への積極的な参加 (委員会メンバーの卒業生・実習先等)	3

備 考	6	魅力溢れるオンライン就職相談会の開催 (対象者に望まれる内容の工夫、資料や映像を数点作成)	3	参加者が若年層・シニア世代まで広がっており、幅広い世代に対応出来る力が求められている。全員が自身の仕事の魅力ややりがいをもって再確認する必要があると感じたため、思いの共有機会を設けた。作成したパワーポイントを使用し、相談会で活用することが出来た。フォローアップ活動が出来るようになってきた。入職者の中でも特に若者に焦点を当てて新規採用職員との茶話会などを企画して、悩みや相談をざっくりばらんな雰囲気の中で話が出来る様な機会を検討したい。
	7	※入職後のフォローアップ (入職後も継続的な関わりを続けていく)	1	

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)

3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)

1. 全くできていない

2022年度 快適送迎委員会 事業総括

主管 法人本部

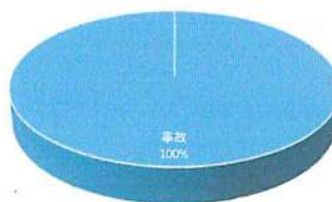
重点項目	実 績			
	月	事 業 内 容	評価	評価内容
計画	4	定例委員会 顔合わせ	4	実施済
	5	定例委員会 所有車輛評価①	3	委員会未実施 車輛評価実施
	6	定例委員会 車輛購入・リース計画作成	2	未実施
	7	定例委員会 配布物検討	4	実施済
	8	定例委員会 所有車輛評価②	1	未実施
	9	法人合同委員会 冬タイヤ購入確認	4	実施済
	10	定例委員会 上半期振り返り	2	委員会未実施 安全啓蒙ポスター配布
	11	定例委員会 法人全体研修(オフイスブレイン)	2	委員会未実施 全体研修未実施
	12	定例委員会 配布物検討	3	委員会未実施 安全啓蒙ポスター配布
	1	定例委員会 所有車輛評価③	4	実施済
備考	2	定例委員会 下半期振り返り 事業計画作成	4	実施済
	3	法人合同委員会 夏タイヤ購入確認	4	実施済

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)
 1. 全くできていない

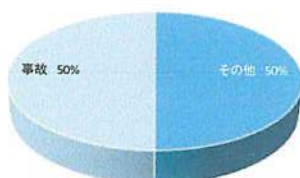
5. 高齢者施設リスクマネジメント結果(2022. 4月～2023. 3月)

	事故	ヒヤリハット	苦情	その他	計
特養・短期	15	0	0	0	15
管理	0	0	0	0	0
デイ四恩園	1	0	0	1	2
さとみ	0	0	0	0	0
かたる	4	2	0	0	6
地域高齢者支援	0	1	1	0	2
ふれて	0	0	0	0	0
ともに	0	0	0	0	0
居宅	0	0	0	1	0
GH	4	0	0	0	4
複合	12	8	2	0	22
ヘルプ	5	9	0	0	14
訪問看護	4	1	0	0	5
サ高住	2	0	0	1	3
計	47	21	3	3	73

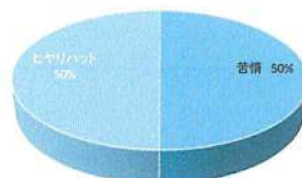
特養・短期



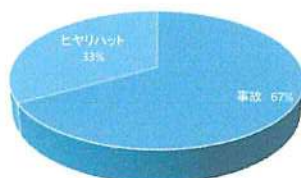
デイ四恩園



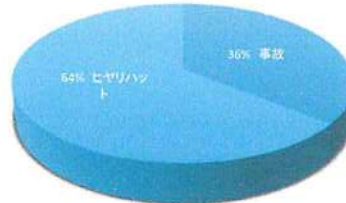
高齢者地域支援



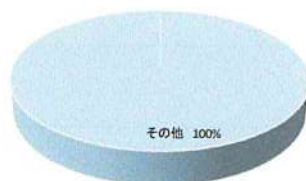
かたる



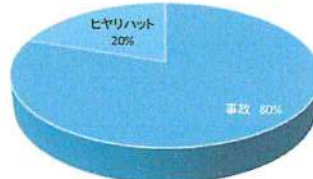
ヘルプ



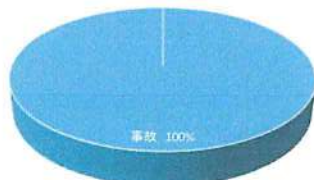
居宅介護支援



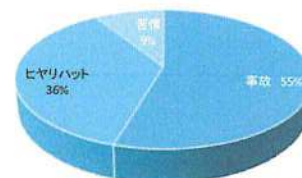
訪問看護



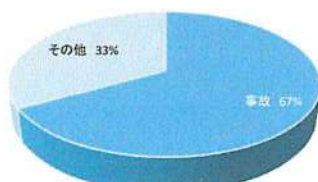
GH



複合型サービス



サービス付き高齢者住宅



介護事故、ヒヤリハット、苦情、要望の定義が明確になっていない。そのため、ヒヤリハットがゼロという事業所もあり、日ごろの危機管理の希薄さも感じられる。サービス提供にリスクゼロはあり得ないことを肝に銘じ、次年度の取り組みたい。